

高知県英語教育推進のためのガイドライン

～これからの小中高を通じた英語教育の改善・充実のために～



平成27年3月

高知県教育委員会

はじめに

政治や経済、文化をはじめ、社会の様々な分野でグローバル化が急速に進展する現代社会において、子どもたちが地球上のあらゆる人々と協働して地球規模の平和と幸福を追求することが重要な教育課題となってきております。

このような文脈において、国際共通語としての英語は、グローバル社会を生き抜く子どもたちの視野や将来の可能性を大きく広げるための重要なツールであり、我が国の国際競争力を高めていくうえでの重要な要素となっています。

本県におきましても、「高知県教育振興基本計画」の基本理念として、「郷土を愛し世界にはばたく、心豊かでたくましく創造性に満ちた子どもたちの育成」、「学ぶ目的や意義を自覚し、自ら学ぶ力をもった人間の育成」を掲げ、グローバル社会の中で夢や志をもって自立し、意欲的に学び続けることのできる子どもたちの育成を目指してきました。また、現在、進めている高等学校再編計画においてもグローバル教育の視点を重視しており、本県においても英語教育の重要性や必要性はますます高まっていくものと考えています。

そのため、本年度、「高知県英語教育推進のためのガイドライン検討委員会」を立ち上げ、次期学習指導要領の英語教育に求められている小学校の教科化や中・高等学校の指導内容の高度化などを視野に入れながら、まずは、本県の英語教育が目指す児童生徒や教員の姿、英語教育の現状分析と課題の整理、課題解決のための行動指針をとりまとめ、平成26年9月に、学校や市町村教育委員会に示したところです。

このたび、小・中・高等学校を通じた学習到達目標、モデルカリキュラムとともに、具体的な取組を併せて、『高知県英語教育推進のためのガイドライン』を策定いたしました。今後、本『ガイドライン』を基に、本県の英語教育の充実を図ってまいりたいと考えています。

最後に、子どもたちの英語によるコミュニケーション能力を育むためには、英語へのモチベーションを高めていくことや、英語の学習環境を整えていくことが重要であり、そのためには、学校・家庭・地域が連携して取り組んで行かなければなりません。

学校や市町村教育委員会におかれましては、本『ガイドライン』を英語教育推進の一助としていただき、次代を担う子どもたちのグローバル教育を充実させていただきますようお願いいたします。

高知県教育長 田村 壮児

目次

はじめに

1	英語教育を取り巻く状況	1
2	本県の英語教育が目指す児童生徒・教員	3
	(1) 目指す児童生徒	
	(2) 目指す教員	
3	本県の英語教育の現状	5
	(1) 児童生徒の学力や学習の状況	5
	①小学生（学習への意識）	
	②中学生（学習への意識）	
	③中学生（学力の状況）	
	ア 到達把握調査結果から	
	イ 高知県学力定着状況調査結果から	
	ウ 生徒の英語力の状況	
	④高校生	
	(2) 教員	9
	①授業における指導の状況	
	ア 英語担当教員の英語の使用状況	
	イ 生徒の英語による言語活動の状況	
	ウ 外国語表現の能力における評価の状況（「話すこと」及び「書くこと」）	
	エ 「CAN・DO リスト」形式の学習到達目標の設定状況	
	②授業以外の取組	
	③教員の英語力の状況	
4	これまでの取組と成果・課題	15
	(1) 児童生徒の学力の定着状況の把握	15
	(2) 英語の学習環境の整備	17
	①教材等	
	②ALT 等外部人材の活用	
	③ICT の活用	
	(3) 教員研修	23
	(4) 教科マネジメントとリーダー教員の育成	25
	(5) 指定校研究	27
	(6) まとめ	30

資料 1	県及び国の取組の経過	・ ・ ・ ・ ・	3 1
資料 2	県及び国の取組の経過における詳細	・ ・ ・ ・ ・	3 2
5	本県が取り組む行動指針	・ ・ ・ ・ ・	3 3
6	本県が取り組む具体的な取組		
	(1) 行動指針 1	・ ・ ・ ・ ・	3 5
	(2) 行動指針 2	・ ・ ・ ・ ・	3 7
	(3) 行動指針 3	・ ・ ・ ・ ・	3 9
	(4) 行動指針 4	・ ・ ・ ・ ・	4 1
	(5) 行動指針 5	・ ・ ・ ・ ・	4 3
	(6) 行動指針 6	・ ・ ・ ・ ・	4 5
資料 3	本県が取り組む具体的な取組	・ ・ ・ ・ ・	4 7
資料 4	主な取組指標の達成年度	・ ・ ・ ・ ・	5 1
7	小中高を通じた学習到達目標	・ ・ ・ ・ ・	5 3
8	小中高を通じたカリキュラム		
	・ 小学校第 5 学年	・ ・ ・ ・ ・	5 7
	・ 小学校第 6 学年	・ ・ ・ ・ ・	5 9
	・ 中学校第 1 学年 (東京書籍)	・ ・ ・ ・ ・	6 1
	・ 中学校第 2 学年 (東京書籍)	・ ・ ・ ・ ・	6 3
	・ 中学校第 3 学年 (東京書籍)	・ ・ ・ ・ ・	6 5
	・ 中学校第 1 学年 (開隆堂)	・ ・ ・ ・ ・	6 7
	・ 中学校第 2 学年 (開隆堂)	・ ・ ・ ・ ・	6 9
	・ 中学校第 3 学年 (開隆堂)	・ ・ ・ ・ ・	7 1
	・ 高等学校第 1 学年 (啓林館)	・ ・ ・ ・ ・	7 3
	・ 高等学校第 1 学年 (啓林館)	・ ・ ・ ・ ・	7 7

1 英語教育を取り巻く状況

○ 政治、経済、文化をはじめ、社会の様々な分野でグローバル化が急速に進展し、ヒト、カネ、情報などが国を越えて一層流動する時代を迎えている。そのような中、地球規模で物事をとらえ、地球上のあらゆる人々と協力し、地球規模の平和と幸福を追求することが不可欠となっている。

そのため、英語をはじめとした外国語は、グローバル社会を生きる我が国の子どもたちの可能性を大きく広げる重要なツールであるとともに、日本の国際競争力を高めていく上での重要な要素となっている。

○ 平成15年度に、文部科学省は、5か年計画の『英語が使える日本人』の育成のための行動計画」を策定して、英語教育の改善の目標や方向性を明らかにするとともに、その実現のために国として取り組むべき施策を具体的に取りまとめた。

平成23年度には、小学校の学習指導要領が全面実施され、第5・6学年に外国語活動が導入されたことにより、小・中・高等学校を通じて、コミュニケーション能力を育成することがねらいとされた。また、平成28年度の達成を目指した「国際共通語としての英語力向上のための5つの提言と具体的施策」が同年に示され、さらに、平成25年12月には、グローバル化に対応した教育環境づくりを進めるため、小・中・高等学校を通じた英語教育全体の抜本的充実を目指した「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」が示されたところである。

○ 本県においては、平成21年度に、「郷土を愛し世界にはばたく、心豊かでたくましく創造性に満ちた子どもたちの育成」、「学ぶ目的や意義を自覚し、自ら学ぶ力をもった人間の育成」を基本理念として、10年間を見通した中長期的な計画である、高知県教育振興基本計画を策定し、グローバル社会の中で夢や志をもって、自立できる子どもたちの育成を目指した教育を推進することとなった。

小学校では、平成19年度から外国語活動の指定校を設け、その研究成果の普及を図ってきた。また、平成21年度には、『小学校外国語活動ガイドライン』を策定し、「外国語を通じて、言葉や文化の豊かさや大切さに気づき、人と関わる楽しさ、伝え合う喜びを体験しながら、生き生きとコミュニケーション活動に参加する児童の育成」を目指して外国語活動の取組を全県に広げてきた。平成22年度には、授業づくりに役立つ実践例をまとめた『小学校外国語活動モデルプラン』を策定し、各学校の外国語活動の取組を支援してきた。結果、外国語活動の全面実施の前年には、県内全小学校で年間35時間の外国語活動が実施されるようになった。

.....

中学校では、平成23年度に、指導と評価等の在り方について示した『中学校外国語モデルプラン』を策定するとともに、本県の英語教育を先導する学校を指定し、英語の授業改善を進めてきた。また、本県の中学生の課題である「書く力」を育成するため、まとまりのある文章を書く力の向上を目指し、授業や家庭学習で使える『英語ライティングシート』を作成し、その活用を支援してきた。

高等学校では、高知西高等学校において平成15年度から3年間、スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール(SELHi)の研究指定を受け、「多量のインプットを良質のアウトプットに高める体系的な指導システムの開発」に向けての研究に取り組んだ。また、高知南高等学校においても平成18年度から3年間、SELHiの研究指定を受け、「到達目標を明確にした中高一貫シラバスの開発と英語の基礎学力を確実に見につけさせるための指導方法」についての研究に取り組んだ。

高知小津高等学校においては、スーパー・サイエンス・ハイスクール(SSH)の研究指定を受け、高大連携による課題研究に取り組んでいる。

- 本ガイドラインは、「高知県英語教育推進のためのガイドライン検討委員会」の提言を受けて、本県の英語教育が目指す児童・生徒及び教員の姿を示すとともに、英語教育の現状を分析し、そこから課題を改善するための行動指針及び指針に基づく行動計画を示すものである。また、その実現に向けて重要と考えられる取組も例示するものである。

今後、本ガイドラインは、国の動向等を踏まえ、見直し等を図り、これからのグローバル社会を生き抜くための、本県の児童生徒の英語運用能力の育成を目指していく。

2 本県の英語教育が目指す児童生徒・教員

(1) 目指す児童生徒

平成21年度に「郷土を愛し世界にはばたく、心豊かでたくましく創造性に満ちた子どもたちの育成」及び「学ぶ目的や意義を自覚し、自ら学ぶ力をもった人間の育成」を基本理念として高知県教育振興基本計画が策定された。その基本理念に基づき、以下のように、グローバル社会の中で夢や志をもって、自立し、協働できる子どもたちの育成を目指していく。

- ◆外国の文化や言語に興味・関心をもち、その国の人々の生活や考え方を理解するために、**積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとする態度**をもった児童生徒。
- ◆国際共通語としての英語の必要性を理解し、生涯にわたって**英語を学び続けようとする**児童生徒。
- ◆グローバル社会の中で生き抜くために、様々な課題の解決を目指し、文化や言語の異なる人々と**協働できる英語力・コミュニケーション能力**をもった児童生徒。
- ◆ふるさと高知や日本に誇りと愛情を抱き、**夢や志**をもって、世界の舞台で信頼され、活躍できる力を身に付けた児童生徒。



(2) 目指す教員

本県の将来を担う子どもたちがグローバル社会の中で、生き抜いていく力を身に付けるためには、教員自身が国際共通語としての英語の必要性を理解し、専門性を磨き、意欲的に英語力を高めていくことが大切である。そういった趣旨から、高知県では、以下のような教員を目指していきたい。

- ◆子どもに対する愛情や教育への使命感をもち、グローバル社会を生き抜くための、英語力をしっかりと身に付けた子どもを育成することのできる教員。
- ◆新しい英語教育の動向に関心をもち、ICT等の効果的な活用や指導と評価の一体化を図るための「CAN・DOリスト」形式の学習到達目標の設定・活用など、実践的な授業研究を通して、専門性を磨き、**成長し続ける**教員。
- ◆国際共通語としての英語の必要性について理解し、**常に世界に目を向けること**のできる教員。
- ◆同僚やALTなど、文化や言語の異なる人々と**協働**し、組織の一員として、教育課題の解決のために尽力できる教員。
- ◆英語力を磨くために、英字新聞や洋書を読むことや外部団体試験に挑戦するなどして、**英語を学び続ける**教員。



3 本県の英語教育の現状

(1) 児童生徒の学力や学習の状況

① 小学生（学習への意識）

平成25年度の全国学力・学習状況調査の児童質問紙調査において、国語や算数の勉強が好きだと回答する小学生の割合は、全国よりも上回っているのに対して、英語の学習が好きだと回答する本県の小学生の割合は、全国を下回っている。

また、他教科と比較すると、英語の学習が好きだと回答する児童は、国語や算数の勉強が好きだと回答する割合を上回っている。

◇平成25年度全国学力・学習状況調査＜質問紙調査（児童質問紙Ⅰ）第6学年＞＊数値は肯定群の割合

質問事項	高知県肯定群 －全国肯定群	高知県	全国
英語の学習は好きですか。	-2.5	73.7	76.2
国語の勉強は好きですか。	0.3	58.2	57.9
算数の勉強は好きですか。	1.7	67.9	66.2

外国に対する興味・関心においては、「外国の人と友だちになったり、外国のことについてもっと知りたいと回答した小学生の割合は、全国を下回っている。

◇平成25年度全国学力・学習状況調査＜質問紙調査（児童質問紙Ⅰ）第6学年＞＊数値は肯定群の割合

質問事項	高知県肯定群 －全国肯定群	高知県	全国
外国の人と友だちになったり、外国のことについてもっと知りたいと思いますか。	-0.4	70.2	70.6
将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いたりしてみたいと思いますか。	-3.4	35.4	38.8

② 中学生（学習への意識）

平成25年度の全国学力・学習状況調査の生徒質問紙調査において、国語や数学の勉強が好きだと回答する中学生の割合は、全国を上回っているのに対して、英語の学習が好きだと回答する割合は、小学生と同様に、全国を下回っており、その差は中学生の方がより大きくなっている。

また、他教科と比較すると、小学校とは逆に、英語の学習が好きだと回答する中学生の割合は、国語や数学の勉強が好きだと回答する割合を下回っている。

◇平成25年度全国学力・学習状況調査＜質問紙調査（生徒質問紙Ⅰ）第3学年＞＊数値は肯定群の割合

質問事項	高知県肯定群 －全国肯定群	高知県	全国
英語の学習は好きですか。	-2.8	50.2	53.0
国語の勉強は好きですか。	0.8	58.5	57.7
数学の勉強は好きですか。	2.2	57.7	55.5

外国に対する興味・関心において、「外国の人と友だちになったり、外国のことについてもっと知りたい」、「将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いたりしてみたい」と回答した中学生の割合は、小学生と同様に、全国を下回っているが、その差は中学生の方がより大きくなっている。

◇平成25年度全国学力・学習状況調査＜質問紙調査（生徒質問紙Ⅰ）第3学年＞＊数値は肯定群の割合

質問事項	高知県肯定群 －全国肯定群	高知県	全国
外国の人と友だちになったり、外国のことについてもっと知りたいと思いますか。	-1.0	59.8	60.8
将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いたりしてみたいと思いますか。	-4.1	25.8	29.9

③ 中学生（学力の状況）

ア 到達度把握調査結果から

本県の中学生の英語の学力については、全ての観点において、全国を下回っている。特に、「表現の能力」（まとまりのある英文を書く力など）は、年々改善傾向にあるが、他の観点と比較すると大きく落ち込んでいる。

また、同じ生徒の集団を経年でみると、平成22年度の第2学年と平成23年度の第3学年では、全ての観点で落ち込んでおり、課題が大きい。

◇到達度把握調査（平成20年度～23年度 第2学年）

*全国平均を1とした場合

年度 \ 観点	コミュニケーションへの 関心意欲態度	外国語表現 の能力	外国語理解 の能力	言語や文化についての 知識・理解
平成20年度	0.91	0.75	0.92	0.85
平成21年度	0.92	0.80	0.92	0.87
平成22年度	0.90	0.80	0.93	0.88
平成23年度	0.91	0.85	0.93	0.90

◇到達度把握調査（平成23年度 第3学年）

*全国平均を1とした場合

年度	コミュニケーションへの 関心意欲態度	外国語表現 の能力	外国語理解 の能力	言語や文化についての 知識・理解
平成23年度	0.84	0.76	0.89	0.83

イ 高知県学力定着状況調査結果から

到達度把握調査結果と同じく「外国語表現の能力」特に「書くこと」が他の領域に比べて正答率が低い。また、平成25年度の調査結果をみると、第1学年より第2学年において、「聞くこと」や「読むこと」よりも「書くこと」が特に低くなっている。

◇高知県学力定着状況調査 外国語（英語）

*県平均正答率及び領域別平均正答率

年度	県平均正答率	聞くこと	読むこと	書くこと
平成24年度				
第2学年	48.8	54.5	51.5	38.6
平成25年度				
第2学年	52.3	73.5	60.4	28.4
第1学年	63.2	78.7	63.1	49.1

ウ 生徒の英語力の状況

英語検定3級以上を取得している生徒の割合（平成25年度調査）は、10.6%、取得はしていないが、相当の英語力を有すると教員が判断する割合は、12.3%である。取得している割合と相当程度の力を有するとみられる生徒の割合を合わせても、全国を下回っている。

◇公立中学校・中等教育学校（前期課程）における英語教育実施状況調査に係る状況調査

	平成24年度		平成25年度	
	高知県	全国	高知県	全国
英語検定3級以上を取得している中学校3年生の割合	13.0%	16.2%	10.6%	16.5%
英語検定3級以上相当の英語力を有する中学校3年生の割合*	14.0%	15.0%	12.3%	15.7%

*3級以上は取得していないが、相当の英語力を有していると英語担当教員が判断する生徒の人数を指す。

④ 高校生

平成26年4月実施の学力定着把握検査（基礎力診断テスト及びスタディーサポート）における学習到達ゾーン（※1参照）別割合を見てみると、3学年ともDゾーンの割合は50%を超えている。うちD3の割合は約20%となっており、基本的な語彙や表現の理解が十分身につけていない現状がある。

◇基礎力診断テスト及びスタディーサポートの学習到達ゾーン別割合（平成26年4月実施）

	学習到達ゾーン				
	S	A	B	C	D[うちD3の割合]
1年	0.2%	2.9%	14.8%	24.9%	57.1%[17.2%]
2年	0.1%	2.7%	14.7%	31.9%	50.6%[17.1%]
3年	0.0%	2.0%	9.8%	31.3%	56.9%[20.0%]

※1 学習到達ゾーンについて

- Sゾーン 難関大合格レベル / 上場企業などの大手の就職筆記試験や公務員に対応できるレベル
 Aゾーン 国立大合格レベル / 上場企業などの大手の就職筆記試験や公務員に対応できるレベル
 Bゾーン 公立大合格レベル、国公立大の推薦入試に合格可能で、私立大の一般入試では選択肢が広がるレベル
 上場企業などの大手の就職筆記試験や公務員に対応できるレベル
 Cゾーン 私大・短大・専門学校一般入試に対応可能なレベル / 就職筆記試験における平均的評価レベル
 Dゾーン 上級学校に進学することはできるが、授業についていけず、苦勞する生徒が多い。
 就職試験に必要な最低限のラインはクリアしているが、仕事をするうえで支障が出ることが多い。

英語検定準2級以上を取得している高等学校第3学年の割合（平成25年度調査）は、14.6%と全国の割合を上回っている。一方、取得はしていないが、相当の英語力を有すると教員が判断する生徒の割合は、10.1%であり、両方合わせると、全国の割合の半分程度となる。

◇平成24・25年度公立高等学校・中等教育学校（後期課程）における英語教育実施状況調査

	平成24年度		平成25年度	
	高知県	全国	高知県	全国
英語検定準2級以上を取得している高校3年生の割合	12.0%	10.6%	14.6%	11.0%
英語検定準2級以上相当の英語力を有している高校3年生の割合*	10.0%	20.4%	10.1%	20.0%

*準2級以上は取得していないが、相当の英語力を有していると英語担当教員が判断する生徒の人数を指す。

(2) 教員

① 授業における指導の状況

ア 英語担当教員の英語の使用状況

英語担当教員が、「授業において発話をおおむね（75%程度以上）英語で行っている」と回答した割合は、中学校では、ほぼ全国と同程度である。

◇平成25年度公立中学校・中等教育学校（前期課程）における英語教育実施状況調査 文部科学省

中学校	第1学年		第2学年		第3学年	
	高知県	全国	高知県	全国	高知県	全国
発話をおおむね英語で行っている。 (75%程度以上～)	8.0%	7.2%	5.9%	6.0%	6.3%	6.3%
発話の半分以上を英語で行っている。 (50%程度以上～75%程度未満)	40.1%	37.3%	39.0%	36.9%	44.4%	34.9%
発話の半分未満を英語で行っている。 (25%程度以上～50%程度未満)	51.8%	55.5%	55.1%	57.1%	49.3%	58.8%

また、高等学校では、コミュニケーション英語Ⅰ及び英語表現Ⅰにおいて、英語担当教員が「発話をおおむね又は半分以上、英語で行っている」と回答した割合は、全国の割合を上回っている。

◇平成25年度公立高等学校・中等教育学校（後期課程）における英語教育実施状況調査 文部科学省

高等学校	コミュニケーション英語Ⅰ		英語表現Ⅰ	
	高知県	全国	高知県	全国
発話をおおむね英語で行っている。 (75%程度以上～)	10.0%	15.1%	32.3%	13.5%
発話の半分以上を英語で行っている。 (50%程度以上～75%程度未満)	42.3%	38.0%	40.3%	33.3%
発話の半分未満を英語で行っている。 (25%程度以上～50%程度未満)	47.7%	46.9%	27.4%	53.2%



イ 生徒の英語による言語活動の状況

「生徒が授業中、おおむね（75%程度以上）英語で言語活動を行っている」と教員が判断する割合は、中学校では、全国を上回っている。

しかし、中学生の学力の状況を各調査結果からみると、「外国語表現の能力」に特に課題がみられる。授業の中での言語活動の内容を検証分析し、改善していく必要がある。

◇平成25年度公立中学校・中等教育学校（前期課程）における英語教育実施状況調査 文部科学省

中学校	第1学年		第2学年		第3学年	
	高知県	全国	高知県	全国	高知県	全国
授業中、おおむね言語活動を行っている。 （75%程度以上～）	15.3%	12.7%	14.0%	10.4%	15.5%	9.9%
半分以上の時間、言語活動を行っている。 （50%程度以上～75%程度未満）	45.3%	39.8%	36.0%	36.6%	40.1%	33.2%
半分未満の時間、言語活動を行っている。 （25%程度以上～50%程度未満）	37.2%	41.8%	45.6%	45.4%	37.3%	47.2%
あまり言語活動を行っていない。 （～25%程度未満）	2.1%	5.7%	4.4%	7.6%	7.0%	9.7%

また、高等学校では、コミュニケーション英語Ⅰ及び英語表現Ⅰにおいて、「生徒が授業中おおむね又は半分以上の時間、言語活動を行っている」と教員が判断する割合は、全国の割合を上回っている。

◇平成25年度公立高等学校・中等教育学校（後期課程）における英語教育実施状況調査 文部科学省

高等学校	コミュニケーション英語Ⅰ		英語表現Ⅰ	
	高知県	全国	高知県	全国
授業中、おおむね言語活動を行っている。 （75%程度以上～）	0%	11.2%	9.7%	11.3%
半分以上の時間、言語活動を行っている。 （50%程度以上～75%程度未満）	45.0%	30.2%	61.3%	30.6%
半分未満の時間、言語活動を行っている。 （25%程度以上～50%程度未満）	38.8%	39.9%	25.8%	37.7%
あまり言語活動を行っていない。 （～25%程度未満）	16.2%	18.7%	3.2%	20.4%



ウ 「外国語表現の能力」における評価の状況（「話すこと」及び「書くこと」）

本県の中学校においては、スピーキングテスト（例えば、スピーチ、インタビュー等）及びライティングテスト（例えば、エッセイ等）を実施している割合は、全国と比較して、高い状況にある。

◇平成25年度公立中学校・中等教育学校（前期課程）における英語教育実施状況調査 文部科学省

中学校	高知県	全国
第1学年	96.2%	93.1%
第2学年	96.1%	93.7%
第3学年	95.4%	92.3%

高等学校においては、すべての学校で、スピーキングテスト（例えば、スピーチ、インタビュー等）及びライティングテスト（例えば、エッセイ等）を実施している。

◇平成25年度公立高等学校・中等教育学校（後期課程）における英語教育実施状況調査 文部科学省

高等学校	高知県	全国
コミュニケーション英語 I	92.3%	46.0%
英語表現 I	100%	35.1%



エ 「CAN-DO リスト」形式の学習到達目標の設定状況

平成23年度に、「外国語能力の向上に関する検討会」から「国際共通語としての英語力向上のための5つの提言と具体的施策」が出された。その提言1「生徒に求められる英語力について、その達成状況を把握・検証する。」の中で、中・高等学校において、学習到達目標を「CAN-DO リスト」形式で設定・公表するとともに、その達成状況を把握することとされている。

本県の中学校においては、先行的に「CAN-DO リスト」形式の学習到達目標を設定する学校を指定し、その取組を普及してきた。平成23年度から平成25年度で、設定している学校が増加し、平成25年度の設定率は約24%であるが、県として平成27年度末までに100%の設定を目指しているところである。

高等学校では、平成23年度には「CAN-DO リスト」形式の学習到達目標を設定できている学校はなかったが、平成24年度に研修会等において取組を促した結果、年度末にはすべての高等学校で設定された。設定後の目標の見直し・変更やそれに合わせた「CAN-DO リスト」形式の学習到達目標の修正が不十分であることから、目標・指導・評価に一貫性をもたせることを目指して現在取り組んでいる。

◇平成23年度「国際共通語としての英語力向上のための5つの提言と具体的施策」に係る状況調査
平成25年度公立高等学校・中等教育学校（後期課程）における英語教育実施状況調査 文部科学省

	平成23年度		平成25年度	
	高知県	全国	高知県	全国
中学校	16.8%	7.5%	23.8%	17.4%
高等学校	0%	4.0%	100%	33.9%

② 授業以外の取組

小・中学校の教員が「授業以外で国際交流や外国語のコミュニケーション能力育成のための取組を実施した」と回答した割合は全国よりは高い。一方、「外国語の人と友だちになったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたい」と考えている児童生徒は、全国の割合よりも低く、教員と児童生徒の意識に、乖離が見られる。

◇平成25年度全国学力・学習状況調査〈質問紙調査（学校質問紙）〉 *数値は肯定群の割合

質問事項		高知県肯定群 －全国肯定群	高知県	全国
前年度に、授業以外で国際交流や外国語のコミュニケーション能力育成のための取組を実施しましたか。	小学校	2.6	17.7	15.1
	中学校	5.2	21.0	15.8

〔再掲〕

◇平成25年度全国学力・学習状況調査〈質問紙調査（児童質問紙Ⅰ）第6学年〉 *数値は肯定群の割合

質問事項	高知県肯定群 －全国肯定群	高知県	全国
外国の人と友だちになったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか。	-0.4	70.2	70.6
将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いたりしてみたいと思いますか。	-3.4	35.4	38.8

〔再掲〕

◇平成25年度全国学力・学習状況調査〈質問紙調査（生徒質問紙Ⅰ）第3学年〉 *数値は肯定群の割合

質問事項	高知県肯定群 －全国肯定群	高知県	全国
外国の人と友だちになったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか。	-1.0	59.8	60.8
将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いたりしてみたいと思いますか。	-4.1	25.8	29.9

③ 教員の英語力の状況

本県における中学校の英語担当教員の英語検定準1級以上の取得の割合は、21.7%であり、全国を下回っているが、年々その割合は伸びている。教員自らが外部団体試験等を活用して自身の英語力の向上を把握し、英語力を高めていくことが求められる。

◇「国際共通語としての英語力向上のための5つの提言」と具体的施策に係る状況調査

公立中学校・中等教育学校における英語教育実施状況調査に係る状況調査

文部科学省

中学校	平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	高知県	全国	高知県	全国	高知県	全国
英語検定準1級以上を取得している 中学校教員の割合	14.8%	27.7%	19.4%	27.7%	21.7%	27.9%

本県における高等学校の英語担当教員の英語検定準1級以上の取得の割合は55.9%であり、平成23年度、24年度には、全国の割合を若干下回っていたものの、平成25年度には、前年度比で8.7ポイントもアップし、全国を3.2ポイント上回る伸びが見られた。

◇「国際共通語としての英語力向上のための5つの提言」と具体的施策に係る状況調査

公立高等学校・中等教育学校における英語教育実施状況調査に係る状況調査

文部科学省

高等学校	平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	高知県	全国	高知県	全国	高知県	全国
英語検定準1級以上を取得している 高等学校教員の割合	48.2%	52.8%	47.2%	52.3%	55.9%	52.7%

なお、平成24年度からは、英語担当教員が積極的に外部団体試験を活用して英語力を確認し、向上させることができるよう、国が特別価格で受験できる補助を行っており、教員の積極的な受験が求められている。

また、本県では、平成26年度から、e-Learning 研修により、インターネット環境があればどこでも研修が受けられるシステムを構築しており、教員の英語力の向上、英語検定準1級以上の取得率の向上のための取組を進めているところである。

4 これまでの取組と成果・課題

(1) 児童生徒の学力の定着状況の把握

取組

中学生の学力の状況を把握し、指導改善に生かすため、平成9年度から平成23年度まで、市町村教育委員会が実施する到達度把握調査への補助を行ってきた。平成24年からは、県の課題に対応した学力調査である高知県学力定着状況調査を実施し、学校・市町村教育委員会は、継続して、指導改善に努めてきている。

平成24年度の入学生より、県立高等学校全36校（全日制及び昼間部）の生徒を対象に学力把握調査を実施し、県全体の高校生の学力状況等を把握している。その結果、評価尺度である学習到達ゾーン(GTZ)において、「小中学校範囲に未定着範囲が見られる」、あるいは「義務教育で学ぶ、読み・書き・計算力が不十分」とされるD3（P.8※1参照）の生徒が全体の2割程度いることが分かった。

成果

小・中・高等学校においては、学力調査や学習状況調査を実施することで、児童生徒の学力や学習の状況や教員の指導についての課題を、数値データに基づき、客観的に分析したり経年比較したりできるようになるとともに、指導改善に生かすことができるようになった。

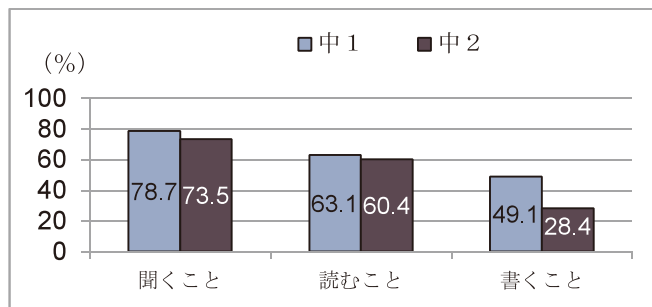


課題

中学校では、高知県学力定着状況調査等の結果から、中学生の4技能（「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」）に課題が見られ、中でもまとまりのある英語の文章を「書くこと」に課題が大きい。また、中学校段階からの学力の二極化も英語学習を進めるうえで大きな課題であり、補充学習を行うなど学力未定着の生徒への手立ても必要である。

さらに、小・中学校ともに、「英語の学習は好きだ」と回答する児童生徒の割合は、全国を下回っている。特に中学校では、小学校よりも全国との差が広がっており、他教科よりも英語学習への興味・関心が低い。生徒が4技能をしっかりと身に付けるために、生徒自身のモチベーションを高めることや教員の英語力や指導力を向上させることが急務である。

◇平成25年度高知県学力定着状況調査



高等学校入学者選抜学力検査の分析によると、「聞くこと」は概ね良好であるが、「読むこと」「書くこと」には課題がある。特に語彙や文法の基本的事項の理解、英語独特の語順の理解、英文を正確に読み取る力、文と文のつながり等に注意してまとまりのある文章を書く力が十分ではない。

◇高知県公立高等学校入学者選抜学力検査 領域別正答率の推移（平成22～26年度）

領域		年度				
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
理解の能力	聞くこと	64.8%	63.8%	71.0%	73.9%	73.3%
	読むこと	40.1%	48.2%	45.2%	44.5%	37.0%
表現の能力	書くこと	28.9%	30.6%	40.2%	48.9%	24.9%

* 分析の詳細や他教科については、『平成26年度高知県公立高等学校入学者選抜における学力検査の結果分析』高知県教育委員会事務局高等学校課 HP 掲載」を参照。

高等学校では、学力定着把握検査の英語学力において、中学校段階の英語の学習内容が理解・定着していないD3層の生徒の割合が2割程度ある。

.....

(2) 英語の学習環境の整備

① 教材等

取組

<小学校外国語活動の教材>

小学校では、平成21年度に第5・6学年対象に配付された『英語ノート』を活用して、外国語活動の全面実施以降の平成24年度からは、“Hi, friends!”を活用して、外国語活動の趣旨を踏まえた授業づくりに取り組んできた。

<中学校の教材>

中学校では、平成23年度に県教育委員会が作成した『英語ライティングシート』を活用して、中学生の英語を書く習慣の定着とまとまりのある文章を書く力の向上を目指してきた。

また、平成24年度には、県教育委員会作成の『中学校でこれだけは身に付けてほしい基礎英単語1200』を授業や家庭で活用して、中学生の語彙力や表現力を高める取組を進めてきた。

◇英語ライティングシートの授業や家庭学習での活用率

中学校	平成23年度	平成24年度	平成25年度
第1学年	92%	93%	93%
第2学年	95%	97%	95%
第3学年	95%	96%	94%
全体	94%	95%	94%

◇『中学校でこれだけは身に付けてほしい基礎英単語1200』授業や家庭学習での活用率

中学校	平成25年度
第1学年	66.3%
第2学年	85.6%
第3学年	95.3%
全体	83.4%

<授業実践映像資料>

文部科学省から配付された「新学習指導要領に対応した外国語活動及び外国語科の授業実践映像資料（平成22年度）」や「新学習指導要領に対応した外国語活動及び外国語科の授業実践映像資料2（平成24年度）」、「新学習指導要領に対応した外国語活動及び外国語科の授業実践映像資料3（平成25年度）」を、本県でも活用し、小・中・高等学校の外国語教育の充実を図ってきた。

<授業改善のための指導資料>

本県では、小学校においては、外国語活動の導入に伴い、授業づくりの基本的な考え方の指針とする『いきいきわくわく外国語活動ガイドライン（平成22年度）』や、年間指導計画例、振り返りカード等の授業に役立つ事例を掲載した『小学校外国語活動モデルプラン（平成22年度）』を活用し、研修等で小学校外国語活動の充実を図ってきた。

中学校では、学習指導要領で示されている外国語科の趣旨や目標、内容を踏まえた指導内容や学習評価についての指針等を示した『中学校外国語モデルプラン（平成24年度）』や平成24年度から実施している高知県学力定着状況調査を活用した「授業アイデア例」を活用し、英語の授業の指導改善を図ってきた。

成果

小学校においては、全面実施に向けて『英語ノート』を効果的に活用する指定校の実践事例を普及することにより円滑な導入を図ることができた。

中学校においては、平成23年度から「英語ライティングシート」を活用して、中学生の英語の課題である「書く力」を高める取組を進めてきた。その結果、ほとんどの中学校で活用されるようになり、教員の授業改善への意識が高まってきたと捉えられる。

課題

本県の小・中学生の英語学習への興味・関心は、全国と比べて低く、その要因の一つには、英語に触れる機会が少ないことが考えられる。

そのため、小学校では、英語に慣れ親しんだり、英語を使ったりしてみたいと思う意欲の高まる映像教材などの研究開発が必要である。

中学校では、自分たちのふるさについて発信するための地域教材や「聞くこと」や「読むこと」などの「理解の能力」を高める音声教材、中学校段階からの二極化に対応した補充学習や家庭学習を充実させるための教材も求められている。

平成24年度に、『中学校でこれだけは身に付けてほしい基礎英単語1200』を、全中学生に配付した。英語の授業で、生徒が辞書代わりに活用したり、長期休業中の課題としたりする学校もみられるが、県内の全中学校での積極的な活用には至っていない。英語で伝えたい内容を表現するためには、語彙力が必要である。生徒が、中学1年から授業や家庭学習において、自主的に使おうとするためには、授業と連動した活用の工夫が必要である。

② ALT 等外部人材の活用

取組

児童生徒が、学校生活の中で英語に触れる機会を増やすために、ALT (Assistant Language Teacher) 等の外部人材を効果的に活用することは重要である。

本県において、授業で ALT 及び留学生や地域人材を活用している状況は、全国とほぼ同様である。

また、市町村が雇用している ALT は、JET プログラムによるものが約 75% であり、市町村が独自に直接雇用している ALT は、少ない状況である。本県でも、外部人材の活用を進めている。

県立学校においては、平成 26 年度は、25 名の ALT が雇用されている。

◇平成 25 年度公立中学校・中等教育学校（前期課程）における英語教育実施状況調査

項目	平成 24 年度実績		平成 25 年度計画	
	高知県	全国	高知県	全国
ALT 及び留学生や地域人材を活用した授業の割合	21.9%	20.8%	23.1%	21.5%

◇平成 23 年度「国際共通語としての英語力向上のための 5 つの提言と具体的施策」に係る状況調査 平成 25 年度公立中学校・中等教育学校（前期課程）における英語教育実施状況調査に係る状況調査

項目	平成 23 年度		平成 25 年度	
	高知県	全国	高知県	全国
JET プログラムによる ALT の割合	79.7%	28.5%	74.7%	30.1%
自治体が独自に直接雇用している ALT の割合	7.5%	18.9%	6.7%	20.1%
派遣契約による ALT の割合	0%	18.6%	0%	18.5%
請負契約による ALT の割合	11.4%	26.0%	10.7%	27.0%
その他の ALT の割合	1.3%	8.0%	8.0%	4.3%

* JET プログラムとは、「語学指導等を行う外国青年招致事業」(The Japan Exchange and Teaching Programme) の略称で、総務省、外務省、文部科学省及び財団法人自治体国際化協会 (CLAIR) の協力の下、地方公共団体が実施している事業。

小・中学校や高等学校で語学指導に従事する外国語指導助手 (ALT) や地域において国際交流活動に従事する国際交流員 (CIR) 及び地域においてスポーツ国際交流員 (SEA) がある。

◇平成23年度「国際共通語としての英語力向上のための5つの提言と具体的施策」に係る状況調査
平成25年度公立高等学校・中等教育学校（後期課程）における英語教育実施状況調査に係る状況調査

項目	平成23・25年度	
	高知県	全国
JETプログラムによるALTの割合	83.3%	67.9%
自治体が独自に直接雇用しているALTの割合	0.0%	11.9%
派遣契約によるALTの割合	0.0%	1.5%
請負契約によるALTの割合	16.7%	11.2%
その他のALTの割合	0.0%	7.5%

成果

小学校の外国語活動導入とともに、授業や学校行事にALT等の外部人材を活用することで、児童生徒に、外国の人に対して臆せずコミュニケーションを図ろうとする態度が見られたり、外国の言葉や文化等に興味・関心をもてるようになってきた。

課題

本県においてJETプログラムによるALTの雇用状況は、全国と比較して高いが、授業での活用率は2割程度にとどまっていることから、まだまだ人数は十分とは言えない。今後は、ALT等の外部人材の充実とともに、授業におけるティーム・ティーチング指導の工夫改善や教育活動の中での効果的な活用が求められている。



③ ICT の活用

取組

英語教育において ICT 等を積極的に活用することは、英語に触れる機会を増やしたり、英語を使おうとする意欲を高めたりするうえで、たいへん効果的である。

本県においても、小学校外国語活動の導入により、電子黒板の活用が進んできている。

また、インターネットや電子黒板などの ICT を活用して、授業内外で、英語を見聞きしたり使用したりする機会を設けている中・高等学校の英語担当教員は、2割～3割程度にとどまっている。

◇平成23年度「国際共通語としての英語力向上のための5つの提言と具体的施策」に係る状況調査
文部科学省

インターネットや電子黒板などの ICT を、授業内や授業外で活用することにより、英語を見聞きしたり使用したりする機会を設けている学校数の割合	高知県		全国
	中学校	高等学校	28.6%
	32.7%	21.9%	

一方、小・中・高等学校の教員は、教材研究・指導の準備・評価などに ICT を活用したり、授業中に ICT を活用した指導を行っている。本県の教員についての活用状況は、全国と比較しても良好であると言える。

◇平成25年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査 文部科学省

項目	小学校		中学校		高等学校	
	高知県	全国	高知県	全国	高知県	全国
教材研究・指導の準備・評価などに ICT を活用する能力	92.1%	81.9%	87.2%	78.6%	87.9%	81.9%
授業中に ICT を活用して指導する能力	87.3%	72.3%	79.3%	65.2%	74.3%	68.6%
児童生徒の ICT 活用を指導する能力	82.6%	68.0%	73.9%	58.9%	73.2%	65.9%
情報モラルなどを指導する能力	91.4%	79.6%	83.1%	72.8%	81.0%	76.5%
校務に ICT を活用する能力	85.6%	77.3%	82.8%	75.0%	85.3%	80.3%

これまでの教員の指導状況をみると、教員は自身の指導に対して、全国の教員と同程度の意識をもっていることがうかがえる。

しかし、児童生徒の学力や学習状況は、全国と比べて課題がみられ、児童生徒の実態を的確に分析し、指導の工夫改善にあたることが求められる。

参考 ◇平成25年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査 文部科学省

項目	高知県平均	全国平均	全国順位
コンピュータ1台あたりの児童生徒数	4.8人/台	6.5人/台	6位
教員の公務用コンピュータ整備率	113.8%	111.1%	29位
普通教室の校内LAN整備率	64.6%	85.6%	46位
超高速インターネット接続率	92.0%	79.0%	6位
電子黒板のある学校の割合	79.2%	76.4%	20位
校務支援システムの整備状況	50.7%	80.3%	46位
デジタル教科書の整備状況	51.2%	37.3%	11位
学校CIOの設置状況	41.3%	35.1%	11位

成果

本県では、教員のICTを活用して指導する能力やICT等の整備状況は、全国と比較して高い状況であり、日常的にICTを活用した授業が行えるようになっている。そのことによって、児童生徒の興味・関心を高めることができたと言える。

電子黒板のある学校の割合は、全国とほぼ同等であり、特に小学校外国語活動の授業においては、電子黒板を活用した授業が展開され、児童の学習効果を高めている。

課題

教員のICT等を活用して指導する能力やICT等の整備状況は、全国と比較して高いが、英語学習において、児童生徒の学力や学習意欲の向上には十分つながっていない。ICT等を効果的に活用することで、児童生徒の英語を使う機会を増やし、学習意欲を高めていくことが必要である。

ICT等の整備状況では、普通教室における校内LANの整備率が全国と比較して、低い状況にあり、タブレット端末等を活用した授業づくりに向けた取組の推進に課題がある。

.....

(3) 教員研修

取組

ア 小学校

外国語活動の導入前の平成21年度から2年間、全ての小学校の担当者を対象として、学習指導要領の趣旨や授業づくりの実際についての悉皆研修が行われた。

また、導入後の平成23年度からは、各学校の外国語活動の中核となる教員を対象に、小学校外国語活動研修が実施されている。

イ 中・高等学校

平成15年度に文部科学省から出された『英語が使える日本人』の育成のための行動計画に基づき、本県においても、全ての中・高等学校英語担当教員を対象として、平成15年度から5か年計画による英語力の向上を目指した集中的研修を実施した。

また、平成22年度から3年間は、採用11年次から25年次の全ての中学校英語担当教員を対象に中学校英語授業改善プロジェクト事業を実施してきた。

さらに、高等学校では、悉皆研修として、年1回外部講師を招聘して、教育課程研究協議会を開催している。加えて、拠点校事業や地区別研修会においても、授業参観及び研究協議を行っている。

成果

平成15年度から5年間の中・高等学校の全ての英語担当教員を対象とした研修をはじめとして、小・中・高等学校の教員を対象とした悉皆研修に継続的に取り組んできた。その成果として、教員の授業改善に対する理解や意欲の向上が図られている。

平成22年度から3年間は、採用11年次から25年次の全ての英語担当教員を対象に中学校英語授業改善プロジェクト事業を実施してきた。受講者の自己評価を、研修前と研修後で比較すると、授業改善への高まりがみられた。

◇「平成24年度中学校英語授業改善プロジェクト」における受講者の自己評価票より

項目	研修前	研修後（研修前比）
生徒の願いやニーズを踏まえて、授業を改善している。	2.9	3.2 (+0.3)
授業で可能な限り、英語を使おうとしている。	2.8	3.1 (+0.3)
授業中、生徒が使う機会は多い方である。	2.4	3.0 (+0.6)
授業終了後、ほぼ毎日、授業についての振り返りをしている。	2.7	2.8 (+0.1)

課題

研修の受講者が、研修内容や学んだことを、他の教員と共有し、研修内容を組織として授業改善に生かすまでには至っていない。集合研修において、受講者の意識の高まりは、見られるものの、そのことが学校のOJTや教科研究の仕組みの中にしっかりと根付いているものではない。

中学校英語担当教員の英語検定準1級以上の取得率が低い。外部団体試験への受験を通して、自らの英語力を把握し、高め、英語指導に生かすよう促していく必要がある。

.....

(4) 教科マネジメントとリーダー教員の育成

取組

小学校においては、外国語活動の円滑な導入に向けた校内研修を進めるための担当者を対象とした悉皆研修が実施され、各小学校において、平成21年度から2年間で30時間の校内研修が実施された。

中・高等学校では、到達目標の設定などの教員の指導の方向性を共有するための教科会の重要性について、指定校の取組から明らかとなった。

また、任意の研究団体は、県内の英語担当教員の指導力の向上を目指し、定期的に研究会を実施している。

校内研修や教科会を推進するためには、リーダー教員を核とした組織的な取組が必要である。学校や地域で中核となる教員を養成するため、平成20年度から「教科等ミドルリーダー育成事業」を実施し、6年間で28名の外国語科ミドルリーダーを育成してきた。

また、本年度から、外国語教育コア・ティーチャー育成事業を実施し、これからの本県の外国語教育を先導していくリーダー教員を、小・中学校それぞれ10名程度、育成しているところである。

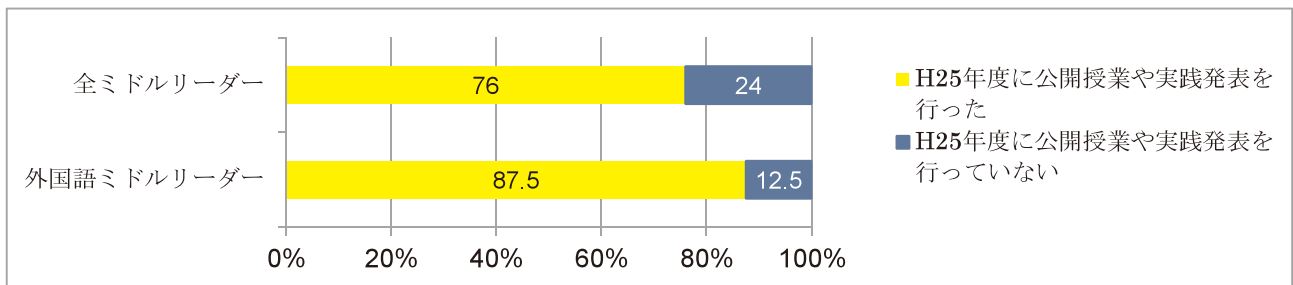
成果

小学校においては、第5・6学年の学級担任だけではなく、学校全体で取り組む研究体制が確立してきた。

中学校において、ミドルリーダーは、各地域で公開授業等を実施し、その割合は他教科よりも多くなっており、積極的に他の教員への研究成果の普及が図られている。

高等学校においては、全英語担当教員がアクションリサーチによる授業改善に取り組んでいる。

◇平成20～25年度 教科等ミドルリーダー育成事業に係るフォローアップアンケート結果から



課題

中・高等学校では、教科会を中心に研究を進めているが、その活動が活性化するには至っていないため、授業研究を中心に据えた教科マネジメントの充実が求められている。

管理職が、今求められているグローバル人材育成の視点を持ち、学校経営を行っていくことが大切である。また、その視点をもって、英語教育の推進に積極的に取り組み、教科マネジメントを行っていくことが求められている。

学校や地域で中核となる教員の数やその活動支援も十分でない。生徒に学力をしっかりと付けることができる授業力をもった教員が各地域で活動し、他の教員へその力を伝播することにより、県内全体の教員の授業力の向上を図ることが急務である。

小規模校の多い本県において、中学校では英語担当教員が1名という学校が少なくない。今後、近隣の学校の英語担当教員がネットワークを組み、協働して研究を行っていくことやその体制づくりをしていくことが重要となってくる。

(5) 指定校研究

取組

ア 小学校

小学校では、外国語活動の円滑な導入に向けて、平成19年度から2年間、5校を指定し、「小学校における英語活動等国際理解活動拠点事業」を行ってきた。平成21年度から2年間は、10校を指定し、「外国語活動における教材の効果的な活用及び評価の在り方に関する実践研究事業」に取り組んできた。

外国語活動導入後の平成24年度から2年間、5校を指定し、「小学校外国語活動パイロットスクール実践研究指定事業」を実施し、外国語活動の趣旨・内容を踏まえた授業及び学習評価、コミュニケーション能力の素地を養うための指導方法、小小・小中連携等についての実践研究を行ってきた。

また本年度からは、4校を指定し、「外国語教育コア・スクール実践研究指定事業」として、外国語活動パイロットスクール実践研究校の研究の成果を引き継ぎ、取り組んでいる。

イ 小学校英語教科化への先行的な取組

平成8年度に田野町が研究開発学校として、保幼小中連携の中で、小学校における英語科の取組を行った。平成21年度からは、南国市において、小学校4年生からの英語科の研究開発を行い、平成24年度からは、教育課程特例校として研究を継続してきた。

一方、研究開発学校及び教育課程特例校として、教科としての英語に取り組む学校は、全国と比較しても少ない。教科化を見据えた取組が急がれる。

◇外国語活動及び教科型を実施している学校の割合について

(平成23年度 公立小・中学校における教育課程の編成・実施状況調査 B票 (外国語教育関係))

	1年		2年		3年		4年		5年		6年	
	高知県	全国	高知県	全国	高知県	全国	高知県	全国	高知県	全国	高知県	全国
「外国語活動」を実施	40.8%	36.6%	41.6%	36.6%	26.7%	25.7%	28.1%	25.8%				
「教科型」を実施	0.0%	3.3%	0.0%	3.4%	0.0%	3.3%	1.0%	3.3%	0.9%	3.6%	0.9%	3.6%

*学校裁量、研究開発校及び教育課程特例校において、「外国語活動」「教科型」を実施している学校の割合

ウ 中学校

中学校では、平成23年度から3年間、5校を指定し、「中学校英語パイロットスクール実践研究指定事業」を実施し、小中連携や「CAN・DO リスト」形式の学習到達目標の設定・公表等の指導方法の工夫改善を進め、生徒の書く力の向上を図ってきた。また、平成26年度からは、4校を「外国語教育コア・スクール」に指定し、その研究の成果を引き継ぐとともに、研修の拠点校として、取組を進めているところである。

エ 高等学校

高等学校では、高知西高等学校において平成15年度から3年間、また、高知南高等学校において平成18年度から3年間、スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール (SELHi) の研究指定を受けた。高知西高等学校においては「多量のインプットを良質のアウトプットに高める体系的な指導システムの開発」について、また高知南高等学校においては「到達目標を明確にした中高一貫シラバスの開発と英語の基礎学力を確実に身につけさせるための指導方法」について、先進的・実践的な英語教育の研究に取り組んだ。

平成24年度には、安芸高等学校が「英語力を強化する指導改善の取組」事業の指定を受け、「CAN・DO リスト」形式での学習到達目標の設定・公表・活用について研究を行った。また、平成25年度には高知西高等学校が「英語によるコミュニケーション能力・論理的思考力を強化する指導改善の取組」事業の指定を受け、生徒の英語学習意欲の向上、英語によるコミュニケーション能力・論理的思考力の強化を目指した指導及び評価方法等の改善の研究を行った。

高知小津高等学校においては、スーパー・サイエンス・ハイスクール (SSH) の研究指定を受け、大学・研究機関と連携して実験・実習や課題研究を行っている。また科学英語の授業は理科・英語の教員とALTが担当し、その発展型学習として国際科学体験ゼミ（オーストラリア研修）を実施している。

成果

小・中学校の指定校で実施した公開授業において、参加者からの評価が高いことから、指定校の研究の充実がうかがえる。

◇指定校の公開授業における参加者の評価

平成25年度小学校指定校（5回実施）	肯定的評価 99%
平成25年度中学校指定校（5回実施）	肯定的評価 98%

小学校では、指定校における児童のコミュニケーションへの関心は、全国を上回るものとなった。また、指定校以外でも、市町村教育委員会が主体となって外国語活動の研究を進める学校が増えてきたことから、指定校の取組の成果が普及していると言える。

◇「英語の学習が好き」と肯定的にとらえる児童の割合

平成25年度小学校指定校（高知県）	97.5%
平成25年度全国学力・学習状況調査結果	76.2%

高等学校においては、平成24年度から国の事業と本県事業とを関連づけた取組を行い「CAN・DO リスト」形式の学習到達目標は全ての高等学校で完成した。これにより、各校が目指す目標の設定や英語担当教員間の目標設定への認識は一定深まった。

課題

指定校においては、小中連携のモデルカリキュラムに基づいた実践が行われているが、その取組の広がりが不十分である。また、小学校の教科化に向けた先行的な教育課程の編成や実施を行っている中学校区も少なく、中学校区での研究開発校を拡充するとともにその取組を普及していくことが求められている。

高等学校においては、「CAN・DO リスト」形式の学習到達目標について、目指す目標と授業のリンクが不十分であったり、目標の見直しや修正が十分にできていない現状がある。



(6) まとめ

本県では、英語担当教員の研修や指定校を軸とした研究とその成果の普及を行ったり、教材や指導資料を作成し、配付したりするなどして、教員の指導力向上や生徒の英語の学力の向上を図ってきたが、以下のような課題が残されている。

- ◆小・中学生ともに英語学習への興味・関心が低く、中学生の学力の二極化、また、英語を「書くこと」の定着状況に課題がある。そのため、高等学校段階においても、語彙や文法の基礎的事項の理解、英文を正確に読み取る等の力が十分でない状況にある。→ **行動指針 1・2**
- ◆小学生の英語学習への興味・関心が高まるような映像教材や中学生がふるさとについて発信するための地域教材、外国語理解の能力を高めるための音声教材、学力の二極化に対応した補充学習や家庭学習を充実させるための教材が必要である。
また、『中学校でこれだけは身に付けてほしい基礎英単語 1200』や『英語ライティングシート』を効果的に活用することが一層求められる。→ **行動指針 2・4**
- ◆児童生徒が、自然に英語に触れる機会を増やし、英語学習への興味・関心が高まるように、授業や学校行事等において ALT 等の外部人材を積極的に活用したり、ICT を活用した授業の工夫改善を行ったりすることが重要である。→ **行動指針 2**
- ◆研修受講者が、内容や学んだことを他の教員と共有するなどして、学校の OJT や教科研究の仕組みの中に取り入れることが不十分である。また、外部団体試験の積極的な受験等を通して、英語担当教員の英語力を高めることが必要である。→ **行動指針 3・5・6**
- ◆小・中・高等学校の管理職が、今後のグローバル人材の育成の視点をもった学校経営を行うことや、英語担当教員が授業研究を中心に据えた教科マネジメントを行うことが必要である。学校や地域で中核となる教員を増やすことやその活動の支援を行うことで、県内の教員の授業力の向上を図ることが求められる。小規模校の多い本県では、近隣の学校でネットワークを組んで、協働した研究を行っていくことも今後の課題である。→ **行動指針 5・6**
- ◆指定校において、小中連携のモデルカリキュラムに基づいた実践が行われているが、取組の広がりや、不十分である。小学校の教科化に向けた先行的な教育課程の編成や研究開発学校を拡充し、その取組を普及することが必要である。
高等学校では、「CAN・DO リスト」形式の学習到達目標を設定しているが、目指す目標と授業のリンクが不十分である。→ **行動指針 3**

こういった課題を改善するためには、

- 児童生徒の英語力・英語学習へのモチベーションの向上
- 教員の指導力の向上
- 学校の組織力の向上
- 教員の英語力の向上

を柱にして取り組んでいくことが必要である。

資料 1

県及び国の取組の経過

		H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26		
県の取組	小学校	教材	『英語ノート』(国)			→		『Hi, friends!』(国)			
		指導資料	→		小学校外国語活動ガイドライン作成・配付	小学校外国語活動モデルプラン作成・配付	→				
		研修	中核教員研修(センター研修)			小学校外国語活動研修					
		指定校	小学校における英語活動等国際理解活動拠点校(国指定)		外国語活動における教材の効果的な活用及び評価の在り方に関する実践研究校(H21国指定 H22県指定)			外国語活動パイロットスクール実践研究指定校(県指定)		外国語教育コア・スクール実践研究指定校(県指定)	
	中学校	調査	到達度把握調査(中2・中3対象)				→		高知県学力定着状況調査(H24中2・H25中1・2対象)		
		教材					英語ライティングシート作成・配付		→		
		指導資料					中学校外国語モデルプラン作成・配付		→		
		研修	英語担当教員の集中的研修(H15~19)				中学校英語授業改善プロジェクト(H22~24)採用11~25年次教員研修				
		指定校					教科等ミドルリーダー育成事業(H20~25)			外国語教育コア・ティーチャー育成事業	
		指定校					英語パイロットスクール実践研究指定校(県指定)			外国語教育コア・スクール実践研究指定校(県指定) 英語教育強化地域拠点事業(国指定)	
高等学校	研修	英語担当教員の集中的研修(H15~19)									
	指定校	SELHi H15~17 高知西高等学校 H18~20 高知南高等学校 (国指定)					英語力を強化する指導改善の取組(国指定)	英語によるコミュニケーション能力・論理的思考力を強化する指導改善の取組(国指定)	英語教育強化地域拠点事業(国指定)		
国の動き	学習指導要領	改訂	周知	移行期間		小学校 全面実施	中学校 全面実施	高等学校 全面実施			
						国際共通語としての英語力向上のための5つの提言と具体的施策発表		英語教育改革実施計画発表			

4 これまでの取組と成果・課題

◆教材・指導資料等の内容

◇『英語ノート』

学習指導要領の趣旨・目的を踏まえて、国が作成した児童用教材及び指導者用資料

◇『Hi, friends!』

学習指導要領が全面実施され、外国語活動の一層の充実を図るため国が作成した児童用教材及び指導者用資料

◇小学校外国語活動ガイドライン

外国語活動の趣旨や内容を踏まえ、授業づくりの基本的な考え方の指針を県が作成したもの

◇小学校外国語活動モデルプラン

上記ガイドラインに加え、年間指導計画や振り返りカード等の授業に役立つ事例を掲載し、県が作成・配付したもの

◇中学校英語ライティングシート

中学生の英語を書く習慣の定着とまとまりのある文章を書く力の向上を目指して県が作成・配付したもの

◇中学校外国語モデルプラン

学習指導要領で示されている外国語科の趣旨や目標、内容を踏まえた指導内容や学習評価についての指針を県が作成・配付したもの

◆指定研究の概要

◇小学校における英語活動等国際理解活動拠点事業

英語活動等国際理解活動について指導方法等の確立を図るため、地域の学校のモデルとなる拠点校を指定し、ALTや地域人材の効果的な活用を図る。

◇外国語活動における教材の効果的な活用及び評価の在り方に関する実践研究事業

小学校における外国語活動の円滑な導入を図るため、①「英語ノート」等の教材の効果的な活用方法、②外国語活動における評価の在り方、③離島やへき地等の小規模校や複式学級、特別支援学校等における指導方法、④学級担任または外国語活動を担当する教員が中心となる指導体制や学級担任等を補助するための体制の在り方等の研究

◇小学校外国語活動パイロットスクール実践研究指定事業

外国語活動の趣旨・内容を踏まえた授業及び学習評価、コミュニケーション能力の素地を養うための指導方法、小・小中連携等についての実践研究

◇中学校英語パイロットスクール実践研究指定事業

書く力を高めるために、「英語ライティングシート」（県教育委員会作成）を効果的に活用した「書くこと」の指導方法工夫改善及び新学習指導要領の趣旨・内容を踏まえた指導方法及び学習評価の工夫改善、教材開発などの実践研究

◇英語教育改善のための調査研究事業、英語教育研究開発事業及び教育課程特例校

確かな英語力を効果的に身に付けるため、小学校4年生段階から「英語科」を創設した場合の系統性のある教育課程・指導方法・評価を明らかにする研究

◇英語教育強化地域拠点事業

小学校における英語教育の開始学年の早期化、高学年での教科化及び中学校・高等学校への円滑な移行と教育内容の高度化等、各学校段階を俯瞰した系統性のある教育課程を研究開発

◇英語力を強化する指導改善の取組事業

平成24年度に安芸高等学校が指定を受け、「CAN-DO リスト」形式での学習到達目標の設定・公表・活用について研究を行った。また、全県立高等学校においても同様の取組を行った。

◇英語によるコミュニケーション能力・論理的思考力を強化する指導改善の取組事業

平成25年度に高知西高等学校が指定を受け、生徒の英語学習意欲の向上、英語によるコミュニケーション能力・論理的思考力の強化を目指した指導及び評価方法等の改善の研究を行い、全県立高等学校においても同様の取組を行った。

◇外国語教育コア・スクール実践研究指定事業

学習指導要領の趣旨・内容を踏まえた指導方法及び学習評価の工夫改善、教材開発などの実践研究を行う。

◇外国語教育コア・ティーチャー育成事業

本県の小・中学校の外国語教育を中核となって推進する教員（外国語教育コア・ティーチャー）を育成して、その活動を支援することにより、県内全体の外国語教育における教員の授業力の向上を図る。

5 本県が取り組む行動指針

本県の取組や国の動向を踏まえ、前章の「2 本県の英語教育が目指す児童生徒・教員」の姿を実現するために、4つの取組を柱として、下記の6項目を平成32年度の達成を目指した行動指針とする。

■児童生徒の英語力・英語学習へのモチベーションの向上■

【行動指針1】 英語でのコミュニケーション能力の育成

(1) 児童生徒の学力や学習状況を的確に把握して、指導方法の工夫改善を図ることにより、英語でのコミュニケーション能力（「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」、「書くこと」）を育成する。

本県の英語教育の課題である生徒の4技能の未定着や学力の二極化を改善するためには、児童生徒の学力や学習状況を的確に把握し、中・高等学校の授業における指導内容及び指導方法の改善が必要である。

また、小学校での英語教育の拡充・強化、中・高等学校における英語教育の高度化など、小・中・高等学校を通じた英語教育の充実を図ることが求められる。

【行動指針2】 英語学習へのモチベーションの向上

(2) 英語に触れ合う機会を充実させ、児童生徒の英語学習に対するモチベーションを高める。

グローバル化の進展に伴い、英語の必要性がこれまで以上に高まっている一方、児童生徒が英語を使う必要性を感じたり、触れ合ったりする機会が少ない。特に、本県においてはその傾向が顕著である。英語による実践的なコミュニケーション能力を養うためには、児童生徒が英語を学習したいと思う環境づくり、意欲付けや動機付けがより一層重要である。

■教員の指導力の向上■

【行動指針3】 小中高の系統的な教育課程の編成・実施

(3) 研修の充実やモデル校の取組の普及を通じて、小学校英語の教科化を見据えた小・中・高等学校の系統的な教育課程の編成・実施を行う。

今後、小学校中学年に外国語活動、高学年に外国語（英語）科が導入されることを見据えて、小学校における英語教育の研究開発を行うモデル校を拡充することが求められる。

また、小・中・高等学校を通じた教育課程の開発と指導内容及び指導方法の改善を図り、校種間の円滑な接続と系統的な英語教育を行うことが重要となってくる。そのための教員研修の充実も重要である。

【行動指針4】 自律的な学びを支える教材開発

(4) 児童生徒の学習の量を増やし、質を高める教材を開発し、その効果的な活用を通して、授業や家庭学習の充実を図る。

視聴覚や ICT 等の教材を効果的に活用することによって、英語学習への意欲を高めたり、自然に英語に触れたりする機会を増やすと同時に、児童生徒の自律的な学習を支援することとなる。

また、児童生徒の学習の量を増やし、授業の補充学習や家庭学習の充実につながることになる。

■学校の組織力の向上■

【行動指針5】 学校や地域で取り組む教科マネジメント強化

(5) 学校や地域における英語教育を推進するための組織的な研究体制の活性化を図る。

本県では、組織的に研究推進や授業改善に取り組むことに課題がみられる。グローバル人材育成の視点をもった学校経営を行うことや授業研究を中心にした教科マネジメントが重要である。

今後は、英語教育を改善・推進するために、学校での教科会や地域における小小・中中・小中連携を充実させるなどの組織的な研究体制の活性化、中核となるリーダー教員の育成や配置が求められる。

■教員の英語力の向上■

【行動指針6】 教員の英語力の向上

(6) 国際共通語としての英語の必要性を理解し、積極的に英語力を高める。

教員が自らの英語力を高めるために自己研鑽に努めることが大切であり、こういった教員の姿勢が良き学習者として児童生徒のモデルとなるものである。そのために外部団体試験等を通して英語力を向上させること等が求められる。

また、グローバル化が進む中、世界情勢に目を向け、外国の文化や言語を大切にし、日本人としてのアイデンティティをもつことも重要である。



(1) 児童生徒の学力や学習状況を的確に把握して、指導方法の工夫改善を図ることにより、コミュニケーション能力（「聞く力」、「話す力」、「読む力」、「書く力」）を育成する。

本県の英語教育の課題である生徒の4技能の未定着や学力の二極化を改善するためには、児童生徒の学力や学習状況を的確に把握し、中・高等学校の授業における指導内容及び指導方法の改善が必要である。

また、小学校での英語教育の拡充・強化、中・高等学校における指導内容の高度化など、小・中・高等学校を通じた英語教育の充実を図ることが求められる。

【小学校における指導】

■学校（小学校）では、教科化を見据えて、以下の取組を行う。

- ・管理職を中心に、組織的な研究体制を構築する。
- ・現行の学習指導要領の趣旨を踏まえた外国語活動の充実を図る。

（例）学級担任が主導した、コミュニケーション能力の素地を養うことを目標とした授業の実施

- ・文部科学省から配付された授業DVD等を校内研修等で活用するなどして、授業改善に努める。

■市町村教育委員会は、小学校における英語教育に対して、明確な方向性・計画性をもって、学校の上記の取組に対して指導・支援を行う。

■県教育委員会は、小学校における教科化に向けて、以下の取組を行う。

- ・英語教育の今後の方向性について、管理職や教員へ周知を行う。
- ・授業づくりへの支援（学習到達目標例・モデルカリキュラムの提示）
- ・指導内容・指導方法についての研修を行う。
- ・効果的な教材を作成し、配付する。

【中学校における指導】

■学校（中学校）では、指導内容・方法の充実・改善を図るため、以下の取組を行う。

□調査結果の分析等を行い、PDCAサイクルに基づいた授業改善に取り組む。

- ・高知県学力定着状況調査等の結果からみられる自校の課題を分析して、指導改善を行う。
- ・『英語ライティングシート』や『これだけは身に付けてほしい基礎英単語 1200』を積極的に活用して、中学生の語彙力の向上を図り、特に課題の大きい、まとまりのある英語の文章を「書く力」を育成する。
- ・英語授業改善プランを作成し、校内で組織的な授業改善に取り組む。

□言語活動の充実を図り、学習指導要領を踏まえた授業の充実を目指す。

- ・「CAN・DO リスト」形式の学習到達目標を設定し、指導と評価の一体化を図る。
- ・コミュニケーション活動を単元ゴールに設定し、生徒が英語を使って言語活動を行う。
- ・授業と関連付けた家庭学習の充実を図るなど、学習習慣の確立を図る。
- ・文部科学省から配付された授業DVD等を教科会等で活用するなどして、授業改善に努める。



■市教育委員会は、中学校における英語教育に対して、明確な方向性・計画性をもって、上記の学校の取組に対して指導・支援を行う。

■県教育委員会は、中学校に対して、以下の取組を行う。

□高知県学力定着状況調査における結果分析や調査問題を活用した授業アイデア例を中学校に提示する。

□言語活動の充実を目指して

- ・指定校が作成した「CAN・DO リスト」形式の学習到達目標を発信し、他校へ普及する。
- ・授業マニュアルを作成・配付し、各学校の授業改善の取組を支援する。
- ・コミュニケーション能力の育成を目指した授業づくりを支援するための教材開発とその普を行う。

【高等学校における指導】

■学校（高等学校）では、パフォーマンステストの回数を増やし、評価に占める割合を増加させる取組を行う。また、生徒の4技能をバランスよく育成するために、スピーチやディベート活動を積極的に行い、生徒の言語活動の割合の向上を目指す。

■県教育委員会は、高等学校に対して、パフォーマンステストの回数を増やし、評価に占める割合を増加させるよう支援する。また、スピーチやディベート活動を支援する。

《指標》

【小学校における指導】

- ・管理職を中心とした外国語教育に関する研究体制を構築する。
- ・平成32年度までに、小学校中学年において、外国語活動の授業を弾力的に行う。
- ・教科化に向けて、研究を進めている学校の公開授業に参加する。

【中学校における指導】

- ・高知県学力定着状況調査結果において、外国語の県平均正答率を第1学年は、70%以上（H25 63.2%）、第2学年は、60%以上（H25 52.1%）にする。
- ・授業中に生徒が半分以上言語活動を行っている学校の割合を70%以上にする。（H25 約45.0%）
* [H28までに55% H30までに65%]
- ・県内中学校において、「CAN・DO リスト」形式の学習到達目標の設定を平成28年度までに100%にする。

【高等学校における指導】

- ・授業中生徒が半分以上言語活動を行っている学校の割合を70%以上にする。（H25 45.0%）
* [H28までに55% H30までに65%]

(2) 英語に触れ合う機会を充実させ、児童生徒の英語学習に対するモチベーションを高める。

グローバル化の進展に伴い、英語の必要性がこれまで以上に高まっている一方、児童生徒が英語を使う必要性を感じたり、触れ合ったりする機会が少ない。特に、本県においてはその傾向が顕著である。英語による実践的なコミュニケーション能力を養うためには、児童生徒が英語を学習したいと思う環境づくり、意欲付けや動機付けがより一層重要である。

【英語学習への意欲付け】



- 学校（小・中学校）では、児童生徒の英語を学ぶ意欲を高めるために、例えば、以下のような自然に英語に触れる環境づくりを行う。
 - ・英語教室の設置、英語による学校内の掲示物や表示や校内放送などの工夫を行う。
 - ・英語の絵本、新聞、辞書等に触れられるよう、学校図書館や学級文庫に英語コーナー等を設置する。
- 学校（小・中・高等学校）では、ALT や地域人材などを積極的に活用し、児童生徒との交流を促進して、英語に触れる機会を設ける。例えば、以下のような取組を行う。
 - ・ALT や地域人材を活用した学校行事を実施する。
 - ・長期休業中等を利用した英語デイ・キャンプ等を実施する。
 - ・大学の施設を利用し、小中高校生が、大学生や ALT と交流するイングリッシュキャンプ等への参加促進
- 学校（中学校）では、『中学校でこれだけは身に付けてほしい基礎英単語 1200』やそれを活用した語彙検定などを積極的に活用することで、語彙力を高め、伝えたい内容を幅広く表現できるよう指導する。
- 市町村教育委員会は、学校に対して、以下のような支援を行う。
 - ・小・中学校における児童生徒の英語を学ぶ意欲を高めるに、自然に英語に触れる環境づくりを行うための支援を行う。
 - ・ALT や地域人材などの積極的な活用を行い、児童生徒との交流を促進して、英語に触れる機会を設ける。
 - ・『中学校でこれだけは身に付けてほしい基礎英単語 1200』とその活用を目指す語彙検定等の積極的な促進を図る。
- 県教育委員会は、児童生徒が英語を学ぶ意欲を高めるために、以下の取組を行う。
 - ・ALT を活用した事例の紹介を行う。
 - ・『中学校でこれだけは身に付けてほしい基礎英単語 1200』の配付やそれを活用した語彙検定などを作成・配付する。

【外部団体試験の活用】

- 学校（小・中・高等学校）は、外部団体試験等を活用するなどして、児童生徒自らが英語力の達成度を把握し、意欲的に英語学習に取り組めるよう支援する。
- 県教育委員会は、外部団体試験への積極的な受験の促進を行う。



【国際交流の活性化】

- 学校（小・中・高等学校）は、児童生徒の英語による国際交流を積極的に行う。例えば、以下のような取組を行う。
 - ・姉妹都市の学校や姉妹校、国内のインターナショナルスクールの児童生徒とメール、ビデオチャットツール及びテレビ会議での交流を行う。
 - ・海外の学校への短期留学、海外語学研修及びホームステイ等の体験を推進する。
 - ・グローバル企業や科学技術分野、スポーツ界など、世界の舞台で活躍している人などの話を聞く機会を設ける。

- 市町村教育委員会は、児童生徒が英語による国際交流を積極的に行う。例えば、以下のような取組を行う。
 - ・姉妹都市の学校や姉妹校、国内のインターナショナルスクールの交流への支援を行う。
 - ・海外の学校への短期留学、海外語学研修及びホームステイ等の体験を推進する。
 - ・グローバル企業や科学技術分野、スポーツ界など、世界の舞台で活躍している人などの話を聞く機会を設ける。

- 県教育委員会は、以下のような取組により、児童生徒が英語を使う機会を増やすための国際交流への支援を行う。
 - ・中・高校生が外国の人に高知の良さを紹介するような取組の支援を行う。
(例) ボランティアガイドの養成を行う。
 - ・国の予算を活用して、県や学校が計画した海外派遣プログラムへの参加者、もしくは個人留学する者（個人留学は長期のみ）に留学経費を支援する。

《指標》

【英語学習への意欲付け】

- 小学校** ・「英語の学習が好き」と回答する児童の割合を 90%以上にする。(H25 73.7%)
- 中学校** ・「英語の学習が好き」と回答する生徒の割合を 70%以上にする。(H25 50.2%)
・ALT 等を活用した授業の割合を 40%以上にする。(H25 23.1%)
- 高等学校** ・「英語の学習が好き」と回答する生徒の割合を 70%以上にする。

【外部団体試験の活用】

- 中学校** ・中学校卒業段階で、3 級以上相当の英語力を有する生徒の割合を 50%以上にする。(H25 22.9%) * [H28 までに 30% H30 までに 40%]
- 高等学校** ・高等学校卒業段階で、準 2 級以上の英語力を有する生徒の割合を 50%以上にする。(H25 24.7%) * [H28 までに 30% H30 までに 40%]

【国際交流の活性化】

- 小・中・高等学校**
 - ・英語に触れ合う機会を充実させるための国際交流を積極的に行う。



(3) 研修の充実やモデル校の取組の普及を通じて、小学校英語の教科化を見据えた小・中・高等学校の系統的な教育課程の編成・実施を行う。

今後、小学校中学年に外国語活動、高学年に外国語（英語）科が導入されることを見据えて、小学校における英語教育の研究開発を行うモデル校を拡充することが求められる。

また、小・中・高等学校を通じた教育課程の開発と指導内容及び指導方法の改善を図り、校種間の円滑な接続と系統的な英語教育を行うことが重要となってくる。そのための教員研修の充実も重要である。

【教育課程の編成・充実】

- 学校（小・中・高等学校）は、目標、指導と評価が一貫性をもつように、児童生徒の実態に合った学習到達目標を設定し、常に授業改善に努める。また、小学校は、教科化を見据え、学習到達目標設定に向けて研究を進める。
 - ・小学校の中学年において、学級担任が主導する外国語活動の授業を月1回以上実施し、高学年では、教科化に対応したモデルカリキュラムに沿った英語の授業を実施する。
 - ・「CAN・DO リスト」形式の学習到達目標を設定し、指導と評価の一体化を図る。〈中・高〉
 - ・中学校では、小学校の外国語活動を踏まえたカリキュラムの作成を行う。
 - ・中・高等学校が連携した学習到達目標を設定する。〈中・高〉

- 学校（高等学校）は、グローバル教育を牽引する指定校において実施する研修会等に積極的に参加し、自校の指導改善を図る。

- 市町村教育委員会は、目標と評価が一貫性をもつように、学校が学習到達目標を設定し、常に授業改善に努めるよう支援する。
 - ・指導と評価の一体化を図るため、中学校における「CAN・DO リスト」形式の学習到達目標の設定を促進する。
 - ・中学校区の小・中学校が協働して、系統的な学習到達目標を設定するための支援を行う。

- 県教育委員会は、学校が指導内容の系統性を図るために、以下のような支援を行うことで、教育課程の充実を図る。
 - ・指導内容の系統性を図るために、小・中・高等学校を通じた学習到達目標を例示することにより、各学校の児童生徒の実態に合った学習到達目標の設定を促す。
 - ・中・高等学校を通じた6年間を通じたグローバル教育プログラムを、指定校において実践し、その成果等を他の県立学校に普及する。
 - ・児童のコミュニケーション能力を評価するための方法や指標を研究開発して、学校・市町村教育委員会の取組を支援する。

【研修・モデル校の充実】

- 学校（小・中・高等学校）は、学習指導要領の理解を深めるための研修やモデル校の公開授業研究などに積極的に参加し、自己研鑽に励む。
- 市町村教育委員会は、以下のような取組を行うことで、教育課程の編成・実施を充実させる。
 - ・ 学習指導要領の理解を深める研修や公開授業研究などの機会を設定する。
 - ・ 小中連携の研修や定期的に小中教員が授業交流できる仕組みをつくる。
 - ・ 校長会や担当者会を活用して、指定校や研修参加者による報告会をもち、積極的に研究の成果の普及を図る。
- 県教育委員会は、教育課程の充実を図るため、以下の取組を行う。
 - ・ 小学校英語の教科化や小中連携、中高一貫した英語教育に取り組むモデル校を構築し、先行的な教育課程を研究開発して県内に普及する。
 - ・ 市町村教育委員会・県教育委員会が協力して校種間連携、同校種間連携を推進するための研修を実施する。
 - ・ ALT 及び外国語担当教員対象に、効果的な TT の授業の在り方について研修を行う。
 - ・ 指導力の向上や授業改善のための研修を実施する。また、県内の英語教育を牽引するリーダー教員（コア・ティーチャー）を育成するための研修を行うとともに、研修の拠点校（コア・スクール）を構築する。

＜指標＞

【教育課程の編成・充実】

- 小学校**
 - ・ 全小学校（中学年）において、学級担任が主導する外国語活動の授業を月 1 回以上実施する。
 - ・ 県内の小学校（高学年）において、教科化に対応したモデルカリキュラムに沿った英語の授業を実施する。
- 中学校**
 - ・ 次期学習指導要領の趣旨を踏まえた「CAN・DO リスト」形式の学習到達目標を設定した中学校の割合を 100%にする。（H25 23.8%）
- 高等学校**
 - ・ 次期学習指導要領の趣旨を踏まえた「CAN・DO リスト」形式の学習到達目標を全ての学校で設定する。
 - ・ 「CAN・DO リスト」形式の学習到達目標の達成状況を把握している学校の割合を 100%にする。（H25 39.1%）

【研修・モデル校の充実】

小・中・高等学校

- ・ 研修やモデル校（研究開発校や指定校）の公開授業に参加し、自校の研究に生かす。



(4) 児童生徒の学習の量を増やし、質を高める教材を開発し、その効果的な活用を通して、授業や家庭学習の充実を図る。

視聴覚や ICT 等の教材を効果的に活用することによって、英語学習への意欲を高めたり、自然に英語に触れたりする機会を増やすと同時に、児童生徒の自律的な学習を支援することとなる。

また、児童生徒の学習の量を増やし、授業の補充学習や家庭学習の充実につながることになる。

- 学校（小・中・高等学校）は、児童生徒が意欲的に英語学習に取り組めるよう、児童生徒や地域の実態に応じた教材を作成したり、ICT 教材を効果的に活用したりするなど、積極的に指導方法の改善を行う。
- 学校（中学校）は、『英語ライティングシート』や『中学校でこれだけは身に付けてほしい基礎英単語 1200』を積極的に活用するなどして、児童生徒が英語に触れる機会を充実させるよう、授業を関連した家庭学習の工夫を行う。
- 学校（高等学校）は、学び直し教材を効果的に活用して、生徒が基礎的な英語力を定着できるよう粘り強く支援する。
- 市町村教育委員会は、児童生徒の英語学習への意欲を高めたり、授業や家庭学習の充実を図るために、以下のような取組を行う。
 - ・管内の小・中学校が ICT 教材の活用を積極的に進めるための ICT 環境整備や研修の機会を設ける。
 - ・授業や家庭学習で取り組める教材（『英語ライティングシート』や『中学校でこれだけは身に付けてほしい基礎英単語 1200』）の積極的な活用を支援する。



■ 県教育委員会は、児童生徒の英語学習への意欲を高めたり、家庭学習の充実を図ったりするために、以下のような取組を行う。

- ・ 高知を題材とした読み物・音声教材の作成
- ・ ICT 教材の活用を進めるためのモデル校の構築や教員研修の充実
- ・ 中学生のための授業や家庭で取り組める教材（『英語ライティングシート』や『中学校でこれだけは身に付けてほしい基礎英単語 1200』）の配付及び活用支援を行う。
- ・ 高校生のための授業や家庭で取り組める学び直し教材を開発し、配付及び活用支援を行う。



≪指標≫

小学校

- ・ 児童や地域の実態に応じた教材を作成することで、指導方法の改善・充実を図る。

中学校

- ・ 『英語ライティングシート』や『中学校でこれだけは身に付けてほしい基礎英単語 1200』の積極的に活用し、家庭学習の充実を図る。
- ・ 言語材料の定着にとどまらず、コミュニケーションを重視した家庭学習の充実を図る。
- ・ 「高知をテーマとした読み物・音声教材」を積極的に活用して、地域について、英語で伝えることができる生徒を育成する。

高等学校

- ・ 中学校から高等学校への英語つなぎ教材を開発し、その活用を通して、英語の基礎学力の定着・向上を図る。
- ・ 家庭で英語を 30 分以上学習している生徒の割合を 100%にする。

(5) 学校や地域における英語教育を推進するための組織的な研究体制の活性化を図る。

本県では、組織的に研究推進や授業改善に取り組むことに課題がみられる。グローバル人材育成の視点をもった学校経営を行うことや授業研究を中心にした教科マネジメントが重要である。

今後は、英語教育を改善・推進するために、学校での教科会や地域における小小・中中・小中連携を充実させるなどの組織的な研究体制の活性化、中核となるリーダー教員の育成や配置が求められる。

【リーダー育成】

■学校（小・中・高等学校）では、以下のように、組織的に研究推進や授業改善に取り組む。

- ・中核となるリーダー教員（ミドルリーダー、コア・ティーチャー等）は、積極的に授業改善に取り組み、県内・域内で実施される研究会や研修会において、その研究の成果を普及する。（研修講師等）
- ・県内・域内で実施される中核となるリーダー教員の成果報告会等に積極的に参加し、自校での授業改善に役立てる。

■市町村教育委員会は、中核となるリーダー教員による授業公開や研修会を開催するなどして、積極的な活用を図り、域内の英語教員の指導力の向上を推進する。

■県教育委員会は、中核となるリーダー教員を育成するとともに、その活動支援や拡充を図り、各学校や市町村教育委員会の取組の活性化を図る。

【組織の構築】

■学校は、以下のように組織的に研究推進を行う。

- 小学校は、外国語教育担当教員を位置付けし、該当学年だけではなく、学校全体で外国語（活動）についての研究を進める体制を構築し、校内研修等を積極的に行う。
- 中学校では、英語授業改善プランの作成を行い、複数教員が配置されている学校においては教科会の充実を、複数配置されていない学校においては近隣の学校との連携を図るなどして、授業の工夫改善について組織で取り組む。
また、中学校区において、積極的に授業公開や授業交流の機会を増やし、協働して授業づくりやカリキュラム作成を行うなどして、校種連携を進めるための組織を構築する。
- 高等学校では、教科会を単なる連絡会の場とせず、日頃の指導方法について教員間で情報共有や研究を行う。

■市町村教育委員会は、管内の小・中学校の外国語教育における組織的な研究推進や授業改善が推進されるよう、以下のような取組を行う。

- ・小・中学校が相互に授業公開や授業交流の機会を増やし、協働して授業づくりやカリキュラム作成ができるよう、小小連携及び小中連携の促進を図る。

- ・中山間地域の小規模・複式校の小・中学校において、近隣の学校とのネットワークを構築するなど、積極的に連携を進める。

■県教育委員会は、県内の小・中学校の外国語教育における組織的な研究推進や授業改善が推進されるよう、以下のような取組を行う。

- ・管理職や担当教員対象の研修を実施し、外国語教育を推進するための校内体制づくりの促進を図る。
- ・各中学校の作成する授業改善プランに基づき、学校訪問を行い、各校の取組に対して、指導・助言を行う。
- ・中山間地域の小規模・複式校の小・中学校における、近隣の学校とのネットワーク構築などの支援を行う。

【研究団体との連携】

■学校（小・中・高等学校）は、県全体の英語教育推進を図るため、教育研究団体の開催する研究会に積極的に参加し、研究内容を深めたり、域内への普及を図ったりすることに努める。

- ・市町村の教育研究会の充実に向けた支援を行い、組織の活性化を図る。

■県教育委員会は、教育研究団体との連携を強化することにより、教員の自主的な研究を支援するため、以下のような取組を行う。

- ・土佐教育研究会及び高等学校教育研究会との共同研究や共催による研究会を実施する。
- ・各地域の外国語教育研究会の実施状況を把握し、必要に応じた情報提供及び指導・助言をする。

《指標》

【リーダー育成】

小・中・高等学校

- ・県内・域内で実施されるリーダー教員の公開授業等に積極的に参加する。

小・中学校

- ・各地域や学校で英語教育推進の中核となるリーダー教員を育成する。
(コア・ティーチャーを3年間で小学校30名、中学校30名育成、合計60名)

【組織の構築】

小学校

- ・外国語教育を推進するための担当者を位置付ける。
- ・外国語活動の研究授業を年間複数回実施し、授業研究を深める。

中学校

- ・定期的（学期に1回以上）に、教科会を開催し、授業改善プランに基づき、組織的な取組を行う。

高等学校

- ・定期的（月2回以上）に、教科会を開催し、到達目標や指導方法を共有し、組織的な取組を行う。

【研究団体との連携】

小・中・高等学校

- ・研究団体が開催する公開授業等に積極的に参加して、各校の取組に生かす。



(6) 国際共通語としての英語の必要性を理解し、積極的に英語力を高める。

教員が自らの英語力を高めるために自己研鑽に努めることが大切であり、こういった教員の姿勢が良き学習者として児童生徒のモデルとなるものである。そのために外部団体試験等を通して英語力を向上させること等が求められる。

また、グローバル化が進む中、世界情勢に目を向け、外国の文化や言語を大切にし、日本人としてのアイデンティティをもつことも重要である。

【自己研鑽】

■ (小・中・高等学校の) 教員は、自身の英語力の向上を図るため、積極的に自己研鑽に努める。

例えば、以下のような取組を行う。

- ・英字新聞や洋書を読むなどの英語力のブラッシュアップを行う。
- ・海外での語学研修や全国レベルの研修会に自主的に参加する。
- ・教育研究団体の自主的な研修に参加し、指導力の向上を図る。

■ 県教育委員会は、教員が自ら研修するための教材や機会を充実させるために、例えば、以下のような取組を行う。

- ・外部団体試験受験への積極的な支援を行う。
- ・e-Learning などの英語力の向上を目指す研修を実施する。
- ・海外派遣や大学院への派遣についての支援を行う。
- ・小学校教員が英語力を向上させるための教材を整備する。



《指標》

【自己研鑽】

・中・高等学校の全教員が積極的に英語の外部団体試験を受検し、英語力を高める。

＜英語検定準1級取得率＞

中学校 50%以上 (H25 21.7%)

高等学校 75%以上 (H25 55.7%)

資料3 「高知県英語教育推進のためのガイドライン」行動指針に基づく具体的な取組

内容		行動指針に基づく指標	学校
児童生徒の英語力・英語学習へのモチベーション	英語でのコミュニケーション能力の育成	<p>《小学校》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆管理職を中心とした外国語教育に関する研究体制を構築する。 ◆平成32年度までに、小学校中学年において、外国語活動の授業を弾力的に行う。 ◆教科化に向けて、研究を進めている学校の公開授業に参加する。 	<p>◆小学校における教科化を見据えて、以下の取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理職を中心に、組織的な研究体制を構築する。 ・現行の学習指導要領の趣旨を踏まえた外国語活動の充実を図る。(例)学級担任が主導した、コミュニケーション能力の素地を養うことを目標とした授業の実施。 ・文部科学省から配付された授業DVD等を校内研修等で活用するなどして、授業改善に努める。
		<p>《中学校》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆高知県学力定着状況調査結果において、外国語の県平均正答率を第1学年は、70%以上(H25 63.2%)、第2学年は、60%以上(H25 52.1%)にする。 ◆授業中に生徒が半分以上言語活動を行っている学校の割合を70%以上にする。(H25 約45.0%) * [H28までに 55% H30までに65%] ◆県内中学校において、「CAN-DOリスト」形式の学習到達目標の設定を平成28年度までに100%にする。 	<p>◆調査結果の分析等を行い、PDCAサイクルに基づいた授業改善に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県学力定着状況調査等の結果からみられる自校の課題を分析して、指導改善を行う。 ・『英語ライティングシート』や『中学校でこれだけは身に付けたい英単語1200』を積極的に活用して、中学生の語彙力の向上を図り、特に課題の大きい、まとまりのある英語の文章を「書く力」を育成する。 ・英語授業改善プランを作成し、校内で組織的な授業改善に取り組む。 <p>◆言語活動の充実を図るため、以下のような取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「CAN-DOリスト」形式の学習到達目標を設定し、指導と評価の一体化を図る。 ・コミュニケーション活動を単元ゴールに設定し、生徒が英語を使って言語活動を行う。 ・授業と関連付けた家庭学習の充実を図ったりして、学習習慣の確立を図る。 ・文部科学省から配付された授業DVD等を教科会等で活用するなどして、授業改善に努める。
		<p>《高等学校》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆授業中生徒が半分以上言語活動を行っている学校の割合を70%以上にする。(H25 45.0%) * [H28までに 55% H30までに65%] 	<p>◆パフォーマンステストの回数を増やし、評価に占める割合を増加させる取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆生徒の4技能をバランスよく育成するために、スピーチやディベート活動を積極的にを行い、生徒の言語活動の割合の向上を目指す。
英語学習へのモチベーションの向上	英語に触れ合う機会を充実させ、児童生徒の英語学習に対するモチベーションを高める。	<p>《小学校》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「英語の学習が好き」と回答する児童の割合を90%以上にする。(H25 73.7%) <p>《中学校》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「英語の学習が好き」と回答する生徒の割合を70%以上にする。(H25 50.2%) ◆ALT等を活用した授業の割合を40%以上にする。(H25 23.1%) <p>《高等学校》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「英語の学習が好き」かどうかのアンケートを実施し、「好き」と回答する生徒の割合を70%以上にする。 	<p>【小・中】児童生徒の英語を学ぶ意欲を高めるために、例えば以下のような自然に英語に触れる環境づくりを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語教室の設置、英語による学校内の掲示物や表示や校内放送などの工夫を行う。 ・英語の絵本、新聞、辞書等に触れられるよう、学校図書館や学級文庫に英語コーナー等を設置する。 <p>【小・中・高】ALTや地域人材などを積極的に活用し、児童生徒との交流を促進して、英語に触れる機会を設ける。例えば以下のような取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALTや地域人材を活用した学校行事を実施する。 ・長期休業中等等を利用した英語デイ・キャンプ等を実施する。 ・大学の施設を利用し、小中高生が、大学生やALTと交流するイングリッシュキャンプ等への参加促進 <p>【中】『中学校でこれだけは身に付けてほしい基礎英単語1200』やそれを活用した語彙検定等を積極的に活用することで、語彙力を高め、伝えたい内容を幅広く表現できるよう指導する。</p>
		<p>《中学校》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆中学校卒業段階で3級以上相当の英語力を有する生徒の割合を50%以上にする。(H25 22.9%) * [H28までに 30% H30までに40%] <p>《高等学校》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆高等学校卒業段階で、準2級以上の英語力を有する生徒の割合を50%以上にする。(H25 24.5%) * [H28までに 30% H30までに40%] 	<p>【中・高】外部団体試験等を活用するなどして、児童生徒自らが英語力の達成度を把握し、意欲的に英語学習に取り組めるよう支援する。</p>
		<p>《小・中・高等学校》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆英語に触れ合う機会を充実させるための国際交流を積極的に行う。 	<p>【小・中・高】児童生徒の英語による国際交流を積極的に行う。例えば、以下のような取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姉妹都市の学校や姉妹校、国内のインターナショナルスクールの児童生徒とメール、ビデオチャットツール及びテレビ会議での交流を行う。 ・海外の学校への短期留学、海外語学研修及びホームステイ等の体験を推進する。 ・グローバル企業や科学技術分野、スポーツ界など、世界の舞台で活躍している人などの話を聞く機会を設ける。
小中高の系統的な教育課程の編成・実施	研修の充実やモデル校の取組の普及を通じて、小学校英語の教科化を見据えた小・中・高等学校の系統的な教育課程の編成・実施を行う。	<p>《小学校》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆全小学校(中学年)において、学級担任が主導する外国語活動の授業を月1回以上実施する。 ◆県内の小学校(高学年)において、教科化に対応したモデルカリキュラムに沿った英語の授業を実施する。 ◆次期学習指導要領の趣旨を踏まえた「CAN-DOリスト」形式の学習到達目標を設定した中学校の割合を100%にする。(H25 23.8%) <p>《中学校》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆次期学習指導要領の趣旨を踏まえた「CAN-DOリスト」形式の学習到達目標を全ての学校で設定する。 ◆「CAN-DOリスト」形式の学習到達目標の達成状況を把握している学校の割合を100%にする。(H25 39.1%) 	<p>【小・中・高】目標、指導と評価が一貫性をもつように、児童生徒の実態に合った学習到達目標を設定し、常に授業改善に努める。また、小学校は、教科化を見据え、学習到達目標設定に向けて研究を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の中学年において、学級担任が主導する外国語活動の授業を月1回以上実施し、高学年では、教科化に対応したモデルカリキュラムに沿った英語の授業を実施する。 ・「CAN-DOリスト」形式の学習到達目標を設定し、指導と評価の一体化を図る。<中・高> ・中学校では、小学校の外国語活動を踏まえたカリキュラムの作成を行う。 ・中・高等学校が連携した学習到達目標を設定する。<中・高> <p>【高】グローバル教育を牽引する指定校において実施する研修会等に積極的に参加し、各県立学校の指導改善を図る。</p>
		<p>《小・中・高等学校》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆研修やモデル校(研究開発校や指定校)の公開授業に参加し、自校の研究に生かす。 	<p>【小・中・高】学校(小・中・高等学校)は、学習指導要領の理解を深めるための研修やモデル校の公開授業研究などに積極的に参加し、自己研鑽に励む。</p>
			<p>◆以下のような取組を行うことで、教育課程の編成・実施を充実させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の理解を深める研修や公開授業研究などの機会を設定する。 ・小中連携の研修や定期的小中教員が授業交流できる仕組みをつくる。 ・校長会や担当者会を活用して、指定校や研修参加者による報告会をもち、積極的に研究の成果の普及を図る。

市町村教育委員会	県教育委員会
<p>◆小学校における教科化を見据えて、学校を支援する以下の取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理職を中心に、組織的な研究体制を構築する。 ・現行の学習指導要領の趣旨を踏まえた外国語活動の充実を図る。(例)学級担任が主導した、コミュニケーション能力の素地の育成 ・文部科学省から配付された授業DVD等を校内研修等で活用するなどして、授業改善に努める。 	<p>◆小学校における教科化に向けて、以下の支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語教育の今後の方向性について、管理職や教員へ周知を行う。 ・授業づくりへの支援(学習到達目標例・モデルカリキュラムの提示) ・指導内容・指導方法についての研修を行う。 ・効果的な教材を作成し、配付する。
<p>◆PDCAサイクルに基づいた授業改善を進めるために、学校を支援する以下の取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県学力定着状況調査等の結果からみられる各校の課題を分析して、指導改善を行う。 ・『英語ライティングシート』や『中学校でこれだけは身に付けてほしい基礎英単語1200』を積極的に活用して、中学生の語彙力の向上を図り、特に課題の大きい、まとまりのある英語の文章を「書く力」を育成する。 ・英語授業改善プランを作成し、校内で組織的な授業改善に取り組む。 <p>◆言語活動の充実を図るために、学校を支援する以下の取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「CAN-DOリスト」形式の学習到達目標を設定し、指導と評価の一体化を図る。 ・コミュニケーション活動を単元ゴールに設定し、生徒が英語を使って言語活動を行う。 ・授業と関連付けた家庭学習の充実を図ったりして、学習習慣の確立を図る。 ・文部科学省から配付された授業DVD等を教科会等で活用するなどして、授業改善に努める。 	<p>◆高知県学力定着状況調査における結果分析や調査問題を活用した授業アイデア例の提示する。</p> <p>◆言語活動の充実を図るため、以下のような取組を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定校が作成した「CAN-DOリスト」形式の学習到達目標を発信し、他校へ普及する。 ・授業改善に向けた授業マニュアルを作成・配付し、各学校の授業改善の取組を支援する。 ・コミュニケーション能力の育成を目指した授業づくりを支援するための教材開発とその普及を行う。
	<p>◆パフォーマンステストの回数を増やし、評価に占める割合を増加させるよう支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆スピーチやディベート活動を支援する。
<p>◆学校に対して、以下のような支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校における児童生徒の英語を学ぶ意欲を高めるに、自然に英語に触れる環境づくりを行うための支援を行う。 ・ALTや地域人材などの積極的な活用を行い、児童生徒との交流を促進して、英語に触れる機会を設ける。 <p>◆児童生徒が英語を学ぶ意欲を高めることができるように、例えば、以下のような学校支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALTや地域人材を雇用し、管内の学校で積極的に活用する。 ・ALTや地域人材を活用したデイ・キャンプや英語弁論大会等を実施する。 ・ALTや地域人材を活用した授業公開と参加者による研究会を実施する。 <p>◆授業や家庭学習で取り組める教材(『英語ライティングシート』や『中学校でこれだけは身に付けてほしい基礎英単語1200』)の配付やそれを活用した語彙検定などを作成・配付する。</p>	<p>◆児童生徒が、英語を学ぶ意欲を高めるためのALTを活用した事例の紹介を行う。</p> <p>◆『中学校でこれだけは身に付けてほしい基礎英単語1200』の配付やそれを活用した語彙検定などを作成・配付する。</p>
	<p>◆外部団体試験への積極的な受験の促進を行う。</p>
<p>◆児童生徒の英語による国際交流を積極的に行う。例えば、以下のような支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姉妹都市の学校や姉妹校、国内のインターナショナルスクールの交流への支援を行う。 ・海外の学校への短期留学、海外語学研修及びホームステイ等の体験を推進する。 ・グローバル企業や科学技術分野、スポーツ界など、世界の舞台で活躍している人などの話を聞く機会を設ける。 	<p>◆以下のような取組により、児童生徒が英語を使う機会を増やすための国際交流への支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中・高校生が外国の人に高知の良さを紹介するような取組の支援を行う。(例)ボランティアガイドの養成を行う。 <p>◆国の予算を活用して、県や学校が計画した海外派遣プログラムへの参加者、もしくは個人留学する者(個人留学は長期のみ)に留学経費を支援する。</p>
<p>◆目標、指導と評価が一貫性をもつように、学校が学習到達目標を設定し、常に授業改善に努めるよう支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導と評価の一体化を図るため、中学校において「CAN-DOリスト」形式の学習到達目標の設定を促進する。 ・中学校区の小・中学校が協働して、系統的な学習到達目標を設定するための支援を行う。 	<p>◆指導内容の系統性を図るために、以下のような支援を行うことで、教育課程の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導内容の充実を図るために、小・中・高等学校を通じた学習到達目標を例示することにより、各学校の児童生徒の実態に合った学習到達目標の設定を促す。 ・中・高等学校の6年間を通じたグローバル教育プログラムを、指定校において実践し、その成果等を他の県立学校に普及する。 ・児童のコミュニケーション能力を評価するための方法や指標を研究開発して、学校・市町村教育委員会の取組を支援する。 <p>◆6年間を通じたグローバル教育プログラムを、指定校において実践し、その成果等を他の県立学校に普及する。</p>
<p>◆以下のような取組を行うことで、教育課程の編成・実施を充実させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の理解を深める研修や公開授業研究などの機会を設定する。 ・小中連携の研修や定期的小中教員が授業交流できる仕組みをつくる。 ・校長会や担当者会を活用して、指定校や研修参加者による報告会をもち、積極的に研究の成果の普及を図る。 	<p>◆教育課程の充実を図るため、以下の取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校英語の教科化や小中連携、中高一貫した英語教育に取り組むモデル校を構築し、先行的な教育課程を研究開発して県内に普及する。 ・市町村教育委員会・県教育委員会が協力して校種間連携、同校種間連携を推進するための研修を実施する。 ・ALT及び外国語担当教員対象に、効果的なTTの授業の在り方について研修を行う。 ・指導力の向上や授業改善のための研修を実施する。また、県内の英語教育を牽引するリーダー教員(コア・ティーチャー)を育成するための研修を行うとともに、研修の拠点校(コア・スクール)を構築する。

内容		行動指針に基づく指標	学校
教員の指導力	行動指針4 自律的な学びを支える教材開発	児童生徒の学習の量を増やし、質を高める教材を開発し、その効果的な活用を通して、授業や家庭学習の充実を図る。	<p>【小・中・高】児童生徒が意欲的に英語学習に取り組めるよう、児童生徒や地域の実態に応じた教材を作成したり、ICT教材を効果的に活用したりするなど、積極的に指導方法の改善を行う。</p> <p>【中】『英語ライティングシート』や『中学校でこれだけは身に付けてほしい基礎英単語1200』の積極的に活用するなどして、児童生徒が英語に触れる機会を充実させるよう、授業に関連した家庭学習の工夫を行う。</p> <p>【高】高等学校では、学び直し教材を効果的に活用して、生徒が基礎的な英語力を定着できるよう粘り強く支援する。</p>
		<p>【小・中・高】児童生徒が意欲的に英語学習に取り組めるよう、児童生徒や地域の実態に応じた教材を作成したり、ICT教材を効果的に活用したりするなど、積極的に指導方法の改善を行う。</p> <p>【中】『英語ライティングシート』や『中学校でこれだけは身に付けてほしい基礎英単語1200』の積極的に活用するなどして、児童生徒が英語に触れる機会を充実させるよう、授業に関連した家庭学習の工夫を行う。</p> <p>【高】高等学校では、学び直し教材を効果的に活用して、生徒が基礎的な英語力を定着できるよう粘り強く支援する。</p>	
学校の組織力	行動指針5 学校や地域で取り組む教科マネジメント強化	学校や地域における英語教育を推進するための組織的な研究体制の活性化を図る。	<p>【小・中・高】教員は、県内・域内で実施される中核となるリーダー教員の成果報告会等に積極的に参加し、自校での授業改善に役立てる。</p> <p>【小・中・高】中核となるリーダー教員(ミドルリーダー、コア・ティーチャー等)は、積極的に授業改善に取り組む。県内・域内で実施される研究会や研修会において、その研究の成果を普及する。(研修講師等)</p>
		<p>【小・中・高】教員は、県内・域内で実施される中核となるリーダー教員の成果報告会等に積極的に参加し、自校での授業改善に役立てる。</p> <p>【小・中・高】中核となるリーダー教員(ミドルリーダー、コア・ティーチャー等)は、積極的に授業改善に取り組む。県内・域内で実施される研究会や研修会において、その研究の成果を普及する。(研修講師等)</p>	
		<p>【小・中・高】教員は、県内・域内で実施される中核となるリーダー教員の成果報告会等に積極的に参加し、自校での授業改善に役立てる。</p> <p>【小・中・高】中核となるリーダー教員(ミドルリーダー、コア・ティーチャー等)は、積極的に授業改善に取り組む。県内・域内で実施される研究会や研修会において、その研究の成果を普及する。(研修講師等)</p>	
教員の英語力	行動指針6 教員の英語力の向上	国際共通語としての英語の必要性を理解し、積極的に英語力を高める。	<p>【小・中・高】教員は、自身の英語力の向上を図るため、積極的に自己研鑽に努める。例えば、以下の取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英字新聞や洋書を読むなどの英語力のブラッシュアップを行う。 ・海外での語学研修や全国レベルの研修会に自主的に参加する。 ・教育研究団体の自主的な研修に参加し、指導力の向上を図る。

市町村教育委員会	県教育委員会
<p>◆児童生徒の英語学習への意欲を高めたり、家庭学習の充実を図るために、以下のような取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管内の小・中学校がICT教材の活用を積極的に進めるためのICT環境整備や研修の機会を設ける。 ・授業や家庭学習で取り組める教材(『英語ライティングシート』や『中学校でこれだけは身に付けてほしい基礎英単語1200』)の積極的な活用を支援する。 	<p>◆児童生徒の英語学習への意欲を高めたり、家庭学習の充実を図ったりするために、以下のような取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知を題材とした読み物・音声教材の作成 ・ICT教材の活用を進めるためのモデル校の構築や教員研修の充実 ・中学生のための授業や家庭で取り組める教材(『英語ライティングシート』や『中学校でこれだけは身に付けてほしい基礎英単語1200』)の配付及び活用支援を行う。 ・高校生のための授業や家庭で取り組める学び直し教材を開発し、配付及び活用支援を行う。
<p>◆中核となるリーダー教員による授業公開や研修会を開催するなどして、積極的な活用を図り、域内の英語教員の指導力の向上を推進する。</p>	<p>◆小中学校において、中核となるリーダー教員を育成するとともにその活動支援や拡充を図り、各学校や市町村教育委員会の取組の活性化を図る。</p>
<p>◆管内の小・中学校の外国語教育における組織的な研究推進や授業改善が推進されるよう、以下のような取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校が相互に授業公開や授業交流の機会を増やし、協働して授業づくりやカリキュラム作成ができるよう、小中連携及び小中連携の促進を図る。 ・中山間地域の小規模・複式校の小・中学校において、近隣の学校とのネットワークを構築するなど、積極的に連携を進める。 	<p>◆県内の小・中学校の外国語教育における組織的な研究推進や授業改善が推進されるよう、以下のような取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理職や担当教員対象の研修を実施し、外国語教育を推進するための校内体制づくりの促進を図る。 ・各中学校の作成する授業改善プランに基づき、学校訪問を行い、各校の取組に対して、指導・助言を行う。 ・中山間地域の小規模の中学校において、近隣の学校とのネットワーク構築などの支援を行う。
	<p>◆教育研究団体との連携を強化することにより、教員の自主的な研究を支援するため、以下のような取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐教育研究会及び高等学校教育研究会との共同研究や共催による研究会を実施する。 ・各地域の外国語教育研究会の実施状況を把握し、必要に応じた情報提供及び指導・助言をする。
	<p>◆教員が自ら研修するための教材や機会を充実させるために、例えば、以下のような取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部団体試験受験への積極的な支援を行う。 ・e-Learningなどの英語力の向上を目指す研修を実施する。 ・海外派遣や大学院への派遣についての支援を行う。 ・小学校教員が英語力を向上させるための教材を整備する。

主な取組指標の達成年度

指針	項目	現状	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
			国の動き						
					改訂	先行実施	全面実施		
行動指針1	小学校 小学校中学年の外国語活動の授業を実施している学校の割合	—	→ 100%						
	中学校 高知県学力定着状況調査の正答率	第1学年 63.2% 第2学年 52.1% (H25)	→ 第1学年 70%以上 第2学年 60%以上						
	授業中の言語活動の割合 (生徒が半分以上言語活動を行っている学校の割合)	45.0% (H25)	→ 55%	→ 65%					
	「CAN-DO リスト」作成している学校の割合	23.8% (H25)	→ 100%						
	高等学校 授業中の言語活動の割合 (生徒が半分以上言語活動を行っている学校の割合)	45.0% (H25)	→ 55%	→ 65%					
行動指針2	英語学習への意欲付け								
	英語学習の好きな小学生の割合	73.7% (H25)	→ 90.0%						
	英語学習の好きな中学生の割合	50.2% (H25)	→ 70.0%						
	ALT を活用した授業の割合	23.1% (H25)	→ 40.0%						
外部団体試験活用	英語学習の好きな高校生の割合	—	→ 70.0%						
	英検3級以上相当の英語力を有する中学生の割合	22.9% (H25)	→ 30.0%	→ 40.0%				→ 50.0%	
	英検準2級以上相当の英語力を有する高校生の割合	24.7% (H25)	→ 30.0%	→ 40.0%				→ 50.0%	

指針	項目	現状	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
			国の動き						
					改訂	先行実施	全面実施		
行動指針3	小学校 小学校中学年で外国語活動の授業を月1回以上実施している学校の割合	—	→ 80% → 90% → 100%						
	中学校 小学校高学年で、教科化対応のモデルカリキュラムに沿った授業を実施している学校の割合	—	→ 70% → 80% → 100%						
	次期学習指導要領を踏まえたCAN-DO リストの作成率 (中・高等学校)	—	→ 80% → 90% → 100%						
行動指針4	家庭学習 家庭で英語を30分以上学習している生徒の割合	—	→ 100%						
行動指針5	リーダー育成 中核となるリーダー教員の育成	ミドルリーダー 28名 コア・ティチャー 22名 (H26)	→ 第1期	→ 第2期	→ H28までに ミドルリーダー 28名 コア・ティチャー 60名				
	組織の構築 外国語活動の研究授業を実施している小学校の割合	—	→ 年間複数回						
	授業改善プランに基づいた、定期的な教科会を実施している中学校の割合	—	→ 学期に1回以上						
行動指針6	定期的な教科会を実施している高等学校の割合	—	→ 月2回以上実施						
	自己研鑽 英語検定準1級取得教員の割合 中学校 中学校 高等学校	中学校 21.7% 高等学校 55.7% (H25)	→ e-Learning 研修実施 → 中学校 50%以上 高等学校 75%以上						

小学校第1学年からの早期英語教育を踏まえた小中高を通じた学習到達目標のイメージ〈例〉

★小学校第1学年からの英語教育を踏まえた学習到達目標のイメージです。
★教育課程や児童生徒の実態及び教材等に応じて、各学校において、目標を設定してください。

	小学校1・2年	小学校3年	小学校4年	小学校5年	小学校6年	中学校1年
	学校裁量での英語活動	外国語活動	外国語科			
聞くこと	■身の回りのものを表す簡単な英語や表現を聞いて、ものを選んで、繰り返ししたりする。	■活動で用いている外国語(身の回りのものを表す簡単な語句や表現)を聞いています。	①身近で簡単なこと(身の回りの場面の語いや表現)について ②話し手の意向(気持ちや事実)を ③様子や状況から判断しながら ④理解し、適切に応じることができる。	①身近で簡単なこと(身の回りの場面の語いや表現)について ②話し手の意向(気持ちや事実)を ③聞き返したり確認したりしながら ④理解し、適切に応じることができる。	①身近な話題(人物や社会の出来事等)について ②話し手の意向(考えや気持ち、事実等)を ③分からない語があっても推測しながら ④理解し、適切に応じることができる。	①身近な話題(人物や社会の出来事等)について ②話し手の意向(考えや気持ち、事実等)を ③分からない語があっても推測しながら ④理解し、適切に応じることができる。
						<p><言語活動例> ALTや身近な外国から来た人たちに相手のことや出身国などについてインタビューをし、聞いたことを基に紹介文を書くことができる。</p>
話すこと	■身近で簡単な英語を聞いて、繰り返ししたり、発話したりする。 ■簡単な英語であいさつしたり、先生からの質問にジェスチャーや日本語も交えながら答える。	■活動で用いている外国語(身の回りのものを表す簡単な語句や表現)を言っている。	<p>【発表】</p> <p>①自分の好きなもの等を含めた自己紹介の場面で ②自分の考えや気持ち、事実などを ③聞き手を意識して適切な声量で話したり、ジェスチャーを交えたりしながら ④初歩的な英語を用いて3文程度で話すことができる。</p> <p>【例】 Hello, everyone. My name is Suzuki Ken. I like dogs.</p>	<p>【発表】</p> <p>①自分の好きなことやしたいこと、夢など自分自身について話す場面で ②自分の考えや気持ち、事実などを ③聞き手を意識して強調したり、ジェスチャーを交えたりしながら ④初歩的な英語を用いて4文程度で話すことができる。</p> <p>【例】 Hello, everyone. My name is Yamada Yumi. I like animals. I have a dog. I want to be a vet.</p>	<p>【発表】</p> <p>①身近な話題(自分自身や家庭、学校等)について ②自分の考えや気持ち、身の回りの出来事等を ③適切な声量で、基本的な音声の特徴をとらえながら ④中心となる話題に関して7文程度の英文で話すことができる。</p> <p><言語活動例> 好きなこと、ものや人について、7文程度の英文でShow & Tellをすることができる。</p>	<p>【発表】</p> <p>①身近な話題(自分自身や家庭、学校、自分を取り巻く社会等)や聞いたり読んだりしたことについて ②自分の考えや気持ちとその理由、また、詳しい様子や特徴を ③基本的な音声の特徴の他、表情やジェスチャー、具体物等の非言語手段を含め、聞き手によりよく伝わる工夫をしながら ④中心となる話題に関して8文程度の英文で話すことができる。</p> <p><言語活動例> 日本での生活に関する外国人へのアドバイスを、メモを参考にしながら、8文程度の英文でプレゼンテーションをすることができる。</p>
			<p>【やりとり】</p> <p>①相手の話を聞いて ②自分の考えや気持ち、事実等を ③2文程度の簡単な英語を用いながら ④相づちをうったり、感想を言ったりすることができる。</p> <p>【例】 Oh, really? I like dogs, too.</p>	<p>【やりとり】</p> <p>①相手の話を聞いて ②自分の考えや気持ち、事実等を ③3文程度の簡単な英語を用いながら ④答えたり、感想を伝えたり、質問することができる。</p> <p>【例】 Yes, I can. I can play baseball, too. I like sports.</p>	<p>【やりとり】</p> <p>①身近な話題(自分自身や家庭、学校等)について ②自分の考えや気持ち、身の回りの出来事等を ③聞き手を意識して強調したり、繰り返ししたり、新しい情報を付け加えたりしながら ④中心となる話題に関して1分程度の会話を続けることができる。</p> <p><言語活動例> 好きなもの(こと)や日課等について、友だち同士で1分程度会話を続けることができる。</p>	<p>【やりとり】</p> <p>①身近な話題(自分自身や家庭、学校、自分を取り巻く社会等)や聞いたり読んだりしたことについて ②自分の考えや気持ちとその理由、また、詳しい様子や特徴等を ③分からない点を尋ねたり答えたりするとともに、相手の発話内容とながりのある受け答えに留意しながら ④中心となる話題に関して1分30秒程度の会話を続けることができる。</p> <p><言語活動例> 過去の出来事や未来のことについて、感想を述べたり質問したりしながら、ALTの先生と1分30秒程度会話を続けることができる。</p>

本年間計画は、指定校の取組等を参考にして、高知県教育委員会として、平成27年3月段階で作成したものです。小学校における目標等については、今後の国の動向により、変更があります。

中学校2年	中学校3年	高校1年	高校2年	高校3年
外国語科				
<p>①身近な話題(人物や社会の出来事等)についてまとまりのある英語を聞いて ②話し手の意向(考えや気持ち、事実等)を ③時間的流れや話の構成を意識しながら ④理解し、適切に応じることができる。</p> <p><言語活動例> 150語程度の社会の出来事や報告・連絡等を聞いて、大切な部分(時間や場所、変更点など)を正確につかみ、その内容を伝えることができる。</p>	<p>①身近な話題(人物や社会の出来事等)についてまとまりのある英語を聞いて ②話し手の意向(考えや気持ち、事実等)を ③感想や賛否、その理由をもち合わせながら ④理解し、適切に応じることができる。</p> <p><言語活動例> 200語程度の説明や報告等まとまりのある英語を聞き、自分の意見と比べるなどして考え、助言や提案、討論等ができる。</p>	<p>◆出来事や物事に関する説明や様々な話題に関する対話を聞いて、情報や考えなどを理解したり、整理したりしながら概要や要点をとらえることができる。 【WPM】120</p> <p><言語活動例> 背景知識の少ない事物についてブレインストーミング等を通じて関心をもちさせた後、その事物に関する紹介を聞いて事実と意見を区別しながら概要をとらえ、口頭で説明することができる。</p>	<p>◆出来事や物事に関する説明や様々な話題に関する対話、報告や討論の内容を聞いて、事実や意見を正確にとらえることができる。また、聞き取った意見の妥当性や自らの考えなども含めて総合的にとらえることができる。 【WPM】120～140</p>	<p>◆出来事や物事に関する説明や様々な話題に関する対話、より専門的な報告や事実や意見を正確にとらえることができる。また、聞き取った意見の妥当性や自らの考えなども含めて総合的にとらえることができる。 【WPM】140～160</p>
<p>【発表】</p> <p>①身近な話題(自分自身や家庭、学校、自分を取り巻く社会等)や聞いたり読んだりしたことについて ②自分の考えや気持ちとその理由、また、詳しい様子や特徴を ③基本的な音声の特徴の他、表情やジェスチャー、具体物等の非言語手段を含め、聞き手によりよく伝わる工夫をしながら ④中心となる話題に関して8文程度の英文で話すことができる。</p> <p><言語活動例> 日本での生活に関する外国人へのアドバイスを、メモを参考にしながら、8文程度の英文でプレゼンテーションをすることができる。</p>	<p>【発表】</p> <p>①身近な話題(自分自身や家庭、学校、自分を取り巻く社会等)や聞いたり読んだりしたことについて ②客観的な事実や様々な考え等に基づいた自分の意見や主張とその根拠等を ③聞き手の理解に応じて繰り返し強調したり、別の表現で言い換えたり、相手の意見を確認したりしながら ④中心となる話題に関して10文程度の英文で話すことができる。</p> <p><言語活動例> 中学校生活を振り返って、10文程度の英文で、スピーチをすることができる。</p>	<p>【即興で話すこと】</p> <p>◆身近な話題について、事実や意見、感情などをうまく言えないことがあっても、即興で相手に何とか伝えることができる。</p> <p>【発表】</p> <p>◆発話、様々な映像や音声教材、教科書から得た情報について、学校や日常生活で学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表することができる。 (スピーチ、プレゼンテーション)</p> <p><言語活動例> ペアやグループ等で、教科書で学んだ自分たちが興味のある事物(日本文化や世界遺産など)について調べ、分かりやすくプレゼンテーションをすることができる。</p>	<p>【即興で話すこと】</p> <p>◆自分の興味関心のあることについて、即興で話すことができる。また、伝えたい内容を整理して論理的に話すことができる。</p> <p>【発表】</p> <p>◆発話、様々な映像や音声教材、教科書から得た情報について、学校や日常生活で学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表することができる。また、発表されたものを聞いて、質問したり意見を述べたりすることができる。(スピーチ、プレゼンテーション)</p>	<p>【即興で話すこと】</p> <p>◆与えられた社会的なテーマについて自分の考えや意見を即興で話すことができる。</p> <p>【発表】</p> <p>◆社会的なテーマについて、様々なオーセンティックな素材から得た情報を整理し、自分の考えをまとめ発表することができる。(スピーチ、プレゼンテーション)</p>
<p>【やりとり】</p> <p>①身近な話題(自分自身や家庭、学校、自分を取り巻く社会等)や聞いたり読んだりしたことについて ②自分の考えや気持ちとその理由、また、詳しい様子や特徴等を ③分からない点を尋ねたり答えたりするとともに、相手の発話内容とながりのある受け答えに留意しながら ④中心となる話題に関して1分30秒程度の会話を続けることができる。</p> <p><言語活動例> 過去の出来事や未来のことについて、感想を述べたり質問したりしながら、ALTの先生と1分30秒程度会話を続けることができる。</p>	<p>【やりとり】</p> <p>①身近な話題(自分自身や家庭、学校、自分を取り巻く社会等)や聞いたり読んだりしたことについて ②客観的な事実や様々な考え等に基づいた自分の意見や主張とその根拠等を ③聞き手の理解に応じて別の表現で言い換えたり、相手の意見を確認したりしながら ④中心となる話題に関して2分程度の会話を続けることができる。</p> <p><言語活動例> 2つのものを比べて自分の意見とその理由を基に、友だち同士で2分程度意見を交換することができる。(ミニディベート)</p>	<p>【やりとり】</p> <p>◆発話、様々な映像や音声教材、教科書から得た情報について、学校や日常生活で学んだことや経験したことに基づき、質問したり、意見交換をしたりすることができる。</p> <p><言語活動例> 日常生活で起こったこと等の身近な話題について、ペアで3分話を続けることができる。</p> <p><言語活動例> 教科書で扱った社会的な題材について、内容を口頭で要約するとともに、自分の意見を交換することができる。</p>	<p>【やりとり】</p> <p>◆多様な考え方ができる話題について、学校や日常生活で学んだことや経験したことに基づき、ペアやグループで話し合い、結論を導くことができる。(ディスカッション)</p> <p>◆論理的な話し合いを通じて、合意できることや合意できないことについての共通認識を得ることができる。(ディスカッション)</p> <p>◆多様な考え方ができる話題について立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するために意見を述べ合うことができる。(ディベート)</p>	<p>【やりとり】</p> <p>◆多様な考え方ができる社会的な話題について、自分が調べた情報や、経験したことに基づき、ディスカッションができる。(ディスカッション)</p> <p>◆社会的なテーマについて、自分のリサーチに基づき、ディベートをすることができる。(ディベート)</p>

	小学校1・2年	小学校3年	小学校4年	小学校5年	小学校6年	中学校1年	
	学校裁量での英語活動	外国語活動	外国語科	外国語科	外国語科	外国語科	
読む			<p>【認識する】</p> <p>■アルファベットの文字を見て、その読み方が分かり、以下ことに留意して、読むことができる。</p> <p>・英語の音声の特徴をとらえて (例) a[e]c[si]z[zi]等日本語とは違う発音に気付くなど</p> <p>【わかる・気付く】</p> <p>■アルファベットを使った表記には、ローマ字と英語があることがわかる。</p>	<p>【認識する】</p> <p>■単語を見て、それが何か予測をつけることができる。</p> <p>綴りを覚えさせるものではありません。</p> <p>【わかる・気付く】</p> <p>■アルファベット文字には読み方と音があることがわかる。</p>	<p>【音読】</p> <p>正しい強勢、イントネーション等を意識して、英文を正しく音読することができる。</p>	<p>【読み取り】</p> <p>①身近な話題(人物や自分を取り巻く社会等)について</p> <p>②200語程度で書かれた英文であれば</p> <p>③書き手の考えや気持ち、事実、事物の特徴等を</p> <p>④提示された発問をもとにしながら</p> <p>⑤大まかに理解することができる。</p>	<p><言語活動例></p> <p>200語程度の英文で書かれた紹介文や説明文等を読み、報告会をすることができる。</p>
書く			<p>■アルファベットの大文字・小文字を以下に留意して、書き写すことができる。</p> <p>・文字の高さを意識して</p> <p>・形の似た大文字・小文字を意識して</p> <p>・大文字と小文字を対応させて</p> <p>■アルファベットの読み方を聞いて、その文字がわかり、書くことができる。</p>	<p>■自分で選んだ単語を以下に留意して、書き写すことができる。</p> <p>・単語のまとまりを意識して</p> <p>・大文字と小文字を区別して</p> <p>■自分の姓名や自校の名前を大文字と小文字を用いて書くことができる。</p>	<p>①身近な話題(自分自身や家庭、学校、自分を取り巻く社会等)について</p> <p>②自分の考えや気持ち、身の回りの出来事等を</p> <p>③文字や符号の識別、語と語の区切りや語順、文同士の適切なつながりに留意しながら</p> <p>④中心となる話題に関して50語程度の英文で正しく書くことができる。</p>	<p><言語活動例></p> <p>日々の生活や一日の出来事について紹介する英文を、50語程度で原稿を書くことができる。</p>	
目指すめやす						英語検定 5級取得80%以上	

	中学校2年	中学校3年	高校1年	高校2年	高校3年
	外国語科	外国語科	外国語科	外国語科	外国語科
読む	<p>【音読】</p> <p>対話文やスキット、物語文の意味内容を理解し、感情豊かに音読することができる。</p>	<p>【音読】</p> <p>説明文や意見文、物語文等の意味内容を理解し、声の大きさや読む速さを変えたりしながら、意味内容にふさわしい読み方で音読することができる。</p>	<p>【音読】</p> <p>読み手が理解した内容を聞き手が的確に理解できるように、その反応を確かめながら、リズムやイントネーションなどの英語の音声的特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら、明確に音読することができる。</p> <p>【速読】100WPM</p>	<p>【音読】</p> <p>英文の意味や書き手の意図を良く理解した上で、リズムやイントネーションなどの英語の音声的特徴などに注意しながら、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行うことができる。</p> <p>【速読】120WPM</p>	<p>【速読】130WPM</p>
書く	<p>【読み取り】</p> <p>①身近な話題(人物や自分を取り巻く社会等)について</p> <p>②300語程度で書かれた英文であれば</p> <p>③書き手の考えや気持ち、事実、事物の特徴等を</p> <p>④あらすじや時間的流れを押さえながら</p> <p>⑤理解し、3、4文で適切に応じる(話したり書いたりする)ことができる。</p>	<p>【読み取り】</p> <p>①身近な話題(人物や自分を取り巻く社会等)について</p> <p>②500語程度で書かれた英文であれば</p> <p>③書き手の考えや気持ち、事実、事物の特徴等を</p> <p>④感想や賛否、その理由をもち合わせながら</p> <p>⑤理解し、4、5文で適切に応じる(話したり書いたりする)ことができる。</p>	<p>【読み取り】</p> <p>◆幅広い話題について、主に事実に基づいて書かれた説明文について、重要な事実を整理しながら、全体の要旨を理解することができる。</p> <p>◆物語文について、登場人物の言動やその理由を文章に即してとらえながら、概要や要点を理解することができる。 【語数の目安】600～800語</p> <p><言語活動例></p> <p>説明文を読んで、概要や要点をと捉えることができる。</p>	<p>【読み取り】</p> <p>◆説明、評論、物語、随筆などについて、事実や書き手の意見を正確にとらえながら、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をすることができる。</p> <p>◆説明、評論、物語、随筆などを読んで、概要や要点を理解し、書かれてある内容について自分の意見を持つことができる。 【語数の目安】800～900語</p>	<p>【読み取り】</p> <p>◆英字新聞、インターネットの英文サイト等様々なオーセンティックな素材について、目的に応じた読み方をすることができる。</p> <p>◆社会的なテーマについての様々なオーセンティックな英文について概要や要点を理解し、書かれてある内容について自分の意見を持つことができる。 【語数の目安】900～1200語</p>
目指すめやす	英語検定 4級取得60%以上	英語検定 3級取得60%以上 4級取得80%以上	英語検定 準2級50%以上	英語検定 準2級80%以上	英語検定2級 50%以上

【例】小学校第5学年 年間指導計画(70時間)

本年間計画は、定校の取組等に基づき、高知県教育委員会として、平成27年3月段階で作成したものです。今後の国の動向により、指導内容や評価の観点等については、変更があります。

月	時数	単元名	重点的に指導する活動				中心となる言語活動	単元の目標	単元の評価規準	
			L	S	R	W			コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力
4	3	Lesson 1 Hello! 世界のいろいろな言葉で あいさつしよう					初めて会った友だちとあいさつしよう	○初めての人に気持ち良くあいさつする。 ○初めての人のあいさつの仕方を知る。	初めての人に気持ち良くあいさつしている。	
	3	Lesson 2 I'm happy. ジェスチャーをつけてあいさつしよう	○	○		今日の気分を聞きあおう	○相手の今日の気分を聞いて、気持ちのよい反応をする。 ○日常的なあいさつの仕方を知る。	相手の今日の気分を聞いて、気持ちのよい反応をしている。		
	4	Lesson 1, 2 まとめ				名前交換をしよう	○初めての人のあいさつに適した声量や明瞭さであいさつをする。 ○相手の様子や状況に応じて反応する。 ○自分の名前を丁寧に書き写す。	自分の名前を丁寧に書き写している。	初めての人のあいさつに適した声量や明瞭さであいさつすることができる。	
5・6	6	Lesson 3 How many? いろいろなものを数えよう		○		持っているものの数を聞きあおう	○相手が持っているものの数を尋ねたり、いくつ持っているか答えたりする。 ○コミュニケーションポイントに気を付けて尋ねたり、答えたりする。 ○数の尋ね方、答え方を知る。	コミュニケーションポイントに気を付けて尋ねたり、答えたりする。	相手が持っているものの数を尋ねたり、いくつ持っているか答えたりできる。	
	6・7	Lesson 4 I like apples. 好きなものを伝えよう			○	友だちの好きなものを当てよう	○自分の好きなものを伝え、相手にもそれが好きか尋ねる。 ○コミュニケーションポイントに気を付けて話す。 ○好きなものの言い方、尋ね方を知る。	コミュニケーションポイントに気を付けて話している。	自分の好きなものを伝え、相手にもそれが好きか尋ねることができる。	
9	6	Lesson 5 What do you like? 友だちにインタビューしよう		○		有名人になってインタビューを受けよう	○英語の質問を聞いて、自分の好きなものを答える。 ○相手の質問内容をくり返ししながら聞く。 ○どんなものが好きかという尋ね方、答え方を知る。	相手の質問内容をくり返ししながら聞いている。		
10	3	Lesson 4, 5 まとめ	○	○		中学生にインタビューし、中学生からのインタビューに答えよう。	○自分の好きなものを伝えたり、相手に好きなものを尋ねたりする。 ○相手の質問に適切に答える。		自分の好きなものを伝えたり、相手に好きなものを尋ねたりできる。	
	4	Lesson 6 What do you want? アルファベットをさがそう		○	○	自分の好きなアルファベットを集めよう。	○自分の欲しいもの(CD, BOOK等)の中にあるアルファベットを集める。 ○積極的に自分の欲しいアルファベットを集める。 ○欲しいものを尋ねたり伝えたりするときの表現を知る。 ○アルファベットの文字を見てその読み方が分かる。	積極的に自分の欲しいアルファベットを集めている。	自分の欲しいものの中にあるアルファベットを集めることができる。	
11	7	Lesson 6 What do you want? アルファベットをさがそう		○	○	アルファベットを集めて「夢の町」を作ろう。	○自分の夢の町を紹介する。 ○自分の夢の町にあればいいなと思う場所や店のアルファベットを書き写す。 ○絵を見せたりジェスチャーを使ったりしながら工夫して伝える。 ○自分の町の紹介の仕方を知る。 ○アルファベットには大文字小文字があることを知る。	絵を見せたりジェスチャーを使ったりしながら工夫して伝えている。	自分の夢の町を紹介することができる。 自分の夢の町にあればいいなと思う場所や店のアルファベットを書き写す。	
12	6	Lesson 7 What's this? クイズ大会をしよう		○		クイズ大会をしよう	○いろいろなヒントを出しながら、クイズを出す。 ○身振り手振りを使って、ヒントと問題を伝える。 ○ヒントやクイズの出し方、答え方を知る。	身振り手振りを使ってヒントと問題を伝えている。	いろいろなヒントを出しながら、クイズを出すことができる。	
1	8	Lesson 8 I study Japanese. 「夢の時間割」を作ろう		○	○	「夢の時間割」を作ろう	○自分の夢の時間割を紹介する。 ○自分の夢の時間割に教科を書き写す。 ○聞き手に分かりやすく、時間割を見せながら伝える。 ○教科や曜日の言い方を知る。 ○アルファベットが集まって1つの単語(ことば)になることに気付く。	聞き手に分かりやすく、時間割を見せながら伝えている。	自分の夢の時間割を紹介できる。 自分の夢の時間割に教科を書き写すことができる。	
2	8	Lesson 9 What would you like? ランチメニューを作ろう		○	○	友だちのランチメニューを作ろう	○相手が何を食べたいか聞き取る。 ○相手が食べたい食べ物を書き写す。 ○相手が答えやすいように、うなずきながら聞く。 ○相手の食べたいものの尋ね方答え方を知る。	相手が答えやすいようにうなずきながら聞いている。	相手が食べたい食べ物を書き写すことができる。	
3	2	Lesson 7, 8, 9 まとめ		○		自分たちの「夢の1日」プランを作ろう。(中学生の質問に答える⇒中学生が「夢の1日」プランを書く)	○中学生からの質問に答える。 ○相手にわかりやすくはっきりと答える。	相手にわかりやすくはっきりと答えている。	中学生からの質問に答えることができる。	
	4	一年間のまとめ			○	This is me.カードを使って自分のことを伝える。	○This is me.カードを使って自分のことを伝える。 ○一年間で学習したことを使って、This is me.カードに自分の選んだことばを書き写す。 ○相手に伝わりやすいようにコミュニケーションポイントに気を付けて話す。 ○誰か人が分かりやすいように丁寧に写す。	相手に伝わりやすいようにコミュニケーションポイントに気を付けて話す。 誰か人が分かりやすいように丁寧に写している。	This is me.カードを使って自分のことを伝えることができる。 一年間で学習したことを使って、This is me.カードに自分の選んだことばを書き写すことができる。	
計	70	*各単元の配当時間には評価の時間も含まれる。各学期末には、アルファベット並べ替えクイズや発音聞き比べクイズ等を行い総括的に評価をすることも大切とする。								

☆ここでは、「Hi, friends!」に基き、週2コマで教科としての「外国語科」の年間指導計画を示しています。
☆読むこと、書くことについての言語活動は、「文字を識別し正しく読む・書く、単語を識別し正しく書き写す」としています。

○学校のコミュニケーションポイント(全授業・全校生活で指導)
①アイコンタクト ②クリアボイス ③ジェスチャー ④リアクション

単元の評価規準		言語材料	評価方法	中学校英語科との関連		
外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解			New Horizon	Sunshine	Total
	初めての人のあいさつの仕方を知っている。	Hello. What's your name? My name is ... Thank you. Goodbye.	活動観察			
	日常的なあいさつの仕方を知っている。	I'm fine/happy. How are you?	活動観察	【1年】 ・世界のことばでこんにちはありがとう ・Warm-up ・Unit1	【1年】 ・Let's Start ・PROGRAM2 アメリカからの転校生 ・Let's Start 新しい友だちをつくらう【あいさつ】	【1年】 Let's start あいさつ Lesson3 初めまして Lesson4Review Word Tree 私の気持ち
	相手の様子や状況に応じて反応することができる。	Hello. What's your name? My name is ... Nice to meet you.	スピーキング活動 チェック			
	数の尋ね方、答え方を知っている。	How many pencils/dogs/cats? One, two, three... , twenty.	ALTとインタビュー (活動チェック)	【1年】 ・Warm-up ・Unit5	【1年】 ・Word Web 1 ・PROGRAM 4	【1年】 Lesson2
	好きなものの言い方、尋ね方を知っている。	I like apples. I don't like bananas. Do you like baseball? Yes, I do. No, I don't.	インタビュー(活動 チェック)	【1年】 ・Unit3 ・Multi Plus 1	【1年】 ・Let's Start3 ・PROGRAM 3 ・My Project 1	【1年】 Lesson2
	英語の質問を聞いて、自分の好きなものを答えることができる。	What do you like? What animal/ color/ fruit/ sport do you like? I like rabbits/red/ bananas/ soccer.	インタビュー(活動 チェック)	【1年】 ・Warm-up ・Unit4 ・Unit7	【1年】 ・PROGRAM 4 ・PROGRAM 3	【1年】 Word Up Lesson4 Reading 1
	相手の質問に適切に答えることができる。		中学生とインタビュー(活動 チェック)			中学校2年生との交流授業 (3/3)
	欲しいものを尋ねたり伝えたりするときの表現を知っている。 アルファベットの文字を見て、その読み方が分かる。	What do you want? The "A" card, please.	アルファベット読み クイズ			
	自分の町の紹介の仕方を知る。 アルファベットには大文字小文字があることを知る。	This is my dream town. This is a bookstore. This is a supermarket.	活動観察 夢の町シート点検	【1年】 Warm-up Unit4	【1年】 ◆PROGRAM 1	【1年】 Let's start The Alphabet
	ヒントやクイズの出し方、答え方を知る。	What's this? It's a piano.	クイズ大会(活動 チェック)	【1年】 Unit4	【1年】 PROGRAM 5	【1年】 Lesson4
	教科や曜日の言い方を知っている。 アルファベットが集まって1つの単語(ことば)になることに気付く。	I study math on Monday. What do you study on Tuesday?	時間割点検 スピーチ	【1年】 Warm-up	【1年】 Word Web 2 PROGRAM 4	【1年】 Word Tree 一週間 Word Up 教科
	相手が何を食べたいか聞き取る。	What would you like? I'd like a hamburger.	ランチメニュー点検 活動観察	【2年】 Speaking Plus1	【2年】 Power-up Speaking 3 【3年】 Power-up Speaking 2	【1年】 Talking Time 【2年】 Taku in the U.K.
			活動観察			中学校1年生との交流授業 (2/2)
		既習事項	カード点検 活動観察			

【例】小学校第6学年 年間指導計画(70時間)

本年間計画は、定校の取組等に基づき、高知県教育委員会として、平成27年3月段階で作成したものです。今後の国の動向により、指導内容や評価の観点等については、変更があります。

月	時数	単元名	重点的に指導する活動				中心となる言語活動	単元の目標	単元の評価規準	
			L	S	R	W			コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力
4	6	Lesson 1 Do you have "a"? アルファベットクイズを作ろう	○		○		アルファベットクイズをしよう (アルファベットを1文字ずつ読み、それがどの表示か、どの動物か、誰の名前か等を当てるクイズ)	○アルファベットを一字ずつ英語らしく読む。 ○アルファベットを一字ずつ聞いてそれが絵の中の何を指しているか当てる。 ○アルファベットの英語らしい発音の仕方を知る。	アルファベットを一字ずつ英語らしく読むことができる。	
4				○		○	友だちや先生、ALTに自分の名前を正確につたえよう	○大文字小文字、文字の高さ、かたまりを意識して、自分の名前、友だちの名前を正確に書き写す。 ○綴りを正確に伝える。 ○コミュニケーションポイントに気を付けてはつきりと伝える。 ○友だちや先生、ALTの名前の綴りを正確に聞き取る。	自分の名前の綴りを正確に伝える。 大文字小文字、文字の高さ、かたまりを意識して、自分の名前、友だちの名前を正確に書き写すことができる。	
5	6	Lesson 2 When is your birthday? 友だちの誕生日を調べよう	○				誕生日カレンダーを作ろう	○友だちの誕生日を確認し、カレンダーに書き込む。 ○うなずいたり確認したりしながら聞く。 ○月の言い方や誕生日の尋ね方、答え方を知る。	うなずいたり確認したりしながら聞いている。	
6	2	Lesson 1,2 まとめ		○		○	バースデーカードを書いて友達に渡そう	○友だちに誕生日カードに書いたメッセージを伝える。 ○誕生日のお祝いのことばや誕生日月を書き写す。 ○誕生日のお祝いのことばを知る。 ○アルファベットの大文字と小文字を認識する。	友だちに誕生日カードに書いたメッセージを伝えることができる。 誕生日のお祝いの言葉や誕生日月を書き写すことができる。	
	6	Lesson 3 I can swim. できることを紹介しよう		○			できることを紹介しよう	○自分のできること、できないことを言う。 ○コミュニケーションポイントに気を付けて伝える。 ○できること、できないことの言い方を知る。	コミュニケーションポイントに気を付けて伝えている。	
7	2	Lesson 1,2,3 まとめ		○		○	夢のロボットを紹介しよう	○夢のロボットの絵を見せながら紹介する。 ○自分の夢のロボットの名前、できることを書き写す。 ○コミュニケーションポイントに気を付けて伝える。 ○名前は大文字で始まることに気付く。	コミュニケーションポイントに気を付けて伝えている。	
9	7	Lesson 4 Turn Right. 道案内をしよう	○				道案内をしよう	○道案内に従って、正しい場所に行く。 ○方向を確認したりしながら聞く。 ○道案内の仕方を知る。	方向を確認したりしながら聞いている。	
10	8	Lesson 5 Let's go to Italy. 友だちを旅行にきそおう		○		○	友だちに自分のおすすめの国を紹介しよう	○行きたい国を尋ねたり答えたりする。 ○自分のおすすめの国のパンフレットを作るために、その国の観光地や名物等を書き写す。 ○コミュニケーションポイントに気を付けて伝える。 ○行きたい国の尋ね方、答え方を知る。	聞き手に伝わるように、ジェスチャーなどを付けて伝えている。	
11	3	Lesson 6 What time do you get up? 一日の生活を紹介します	○				友だちに一日の生活について尋ねよう	○時刻を正確に聞き取る。 ○相手に確認しながら注意して聞く。 ○時刻の尋ね方、言い方を知る。	相手に確認しながら注意して聞いている。	
	5			○			一日の生活について尋ねたり答えたりする。 ○わからない語句があってもジェスチャーなどを使って伝える。 ○一日の生活についての尋ね方、答え方を知る。	わからない語句があってもジェスチャーなどを付けて伝えている。		
12	1		○				中学生の「学校紹介」を聞く。	○中学生の「学校紹介」を聞き、質問や感想を言う。 ○コミュニケーションポイントに気を付けて「学校紹介」を聞く。	コミュニケーションポイントに気を付けて興味をもって聞いている。	
1	8	Lesson 7 We are good friends. オリジナルの物語を作ろう		○			オリジナルの英語劇を作って発表しよう	○場面に合ったセリフを言う。 ○場面や状況に合わせて声量やジェスチャーを工夫しながらセリフを言う。 ○劇に使う基本的な表現を知る。	場面や状況に合わせて声量やジェスチャーを工夫しながらセリフを言っている。	
2	8	Lesson 8 What do you want to be? 「夢宣言」をしよう	○	○			「夢宣言」をしよう	○「夢宣言」をする。 ○なりたい職業を職業プレートに書き写す。 ○友だちの「夢宣言」を聞いて感想を言う。 ○聞きやすい声量や明瞭さで伝える。 ○友だちの「夢宣言」をうなずいたり反応したりしながら聞く。 ○自分のなりたいものについての言い方を知る。	聞こえやすい声量や明瞭さで伝えている。 友だちの「夢宣言」をうなずいたり反応したりしながら聞いている。	
3	6	まとめ	○	○		○	スピーチ「6年間の思い出」を発表する	○6年間の思い出を発表する。 ○名前、学校名や紹介したいことのキーワード(行事名や場所の名前等)を選んで書き写す。 ○友だちの発表を聞いて反応する。 ○コミュニケーションポイントに気を付けて発表する。	コミュニケーションポイントに気を付けて発表することができる。	
計	72	*各単元の配当時間には評価の時間も含まれる。各学期末には、アルファベットの大文字・小文字マッピングクイズや単語と絵のマッピングクイズ等を行い総合的に評価することも大切です。								

☆ここでは、「Hi, friends!」に基き、週2コマで教科としての「外国語科」の年間指導計画を示しています。
☆読むこと、書くことについての言語活動は、「文字を識別し正しく読む・書く、単語を識別し正しく書き写す」としています。

○学校のコミュニケーションポイント(全授業・全校生活で指導)
①アイコンタクト ②クリアボイス ③ジェスチャー ④リアクション

単元の評価規準		言語材料	評価方法	中学校英語科との関連		
外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解			New Horizon	Sunshine	Total
アルファベットを一字ずつ聞いてそれが絵の中の何を指しているか理解できる。	アルファベットの英語らしい発音の仕方を知っている。	Do you have "a"? Yes, I do. No, I don't.	スプリング読みクイズ(テスト)	[1年] Unit3	[1年] Word Web 1 PROGRAM1 PROGRAM3	[1年] Let's Start The Alphabet
友だちや先生、ALTの名前の綴りを正確に聞き取ることができる。		My name is Taku. T-t-k-u, Taku. May I have your name?				
友だちの誕生日を尋ね確認し、カレンダーに書き込むことができる。	誕生日の尋ね方、答え方を知っている。	When is your birthday? My birthday is March eighteenth.	授業中にALTと誕生日を聞きあう(活動チェック)	[1年] Unit10	[1年] ◆Word Web 3月の名前と順番を表す言い方 ◆PROGRAMA 7	[1年] Word Tree
	誕生日のお祝いのことばを知っている。 アルファベットの大文字と小文字を認識している。		バースデーカード点検活動観察			[1年] Word Tree
	できること、できないことの言い方を知っている。	I can/can't swim. Can you cook? Yes, I can. No, I can't.	スピーチ	[1年] Unit10	[1年] ◆PROGRAM 8	[1年] Lesson7
	名前は大文字で始まることに気付く。	He/She can't ~ but she can ~. This is my friend, ~.	カード点検活動観察	[1年] Unit3 Multi Plus 1		[1年] Lesson5
道案内に従って、正しい場所に行くことができる。	道案内の仕方を知っている。	Where is the school? Go straight. Turn right/ left.	道案内ゲーム(活動チェック)	[1年] Unit8 Speaking Plus2	[1年] PROGRAM 5	[1年] Lesson6 Talking Time
	行きたい国の尋ね方、答え方を知っている。	Where do you want to go? I want to go to France. I can ~ there. Let's go to ~.	スピーチ		[2年] PROGRAM 6 Program	[2年] Lesson5
時刻を正確に聞き取ることができる。	時刻の尋ね方、言い方を知っている。	What time is it? It's ~.		[1年] Unit7 Multi Plus2	[1年] Power-up Speaking 1	[1年] Action!
	一日の生活についての尋ね方、答え方を知っている。	I get up at seven. What time do you go to bed?	ダイアログチェック			
中学生の「学校紹介」を聞いて、質問や感想が言える。				中学校3年生との交流授業		
	劇に使う基本的な表現を知っている。	We are good friends. We are strong and brave.	劇発表(活動観察)	[1年] Unit7	[1年] PROGRAM 4 [3年] My Project	[2年] Reading 2 Red Demon and Blue Demon
友だちの「夢宣言」を聞いて感想が言える。	自分のなりたいものについての言い方を知っている。	I want to be a singer. What do you want to be?	夢宣言スピーチ	[2年] Unit3	[2年] PROGRAM 6 ◆My Project 5 ◆巻末資料10	[2年] Lesson 5 Chapter 3 Project
友だちの発表を聞いて反応する。			カード点検活動観察 後日スピーチテスト			

【例】 中学校 第1学年 外国語科(英語)年間指導計画(140時間)

月☆	時数☆	単元名☆	指導事項				中心となる言語活動	単元の目標☆	コミュニケーションへの関心・意欲・態度
			L	S	R	W			
4	4	warm-up 辞書引き大会	ア	ア			スタートアップ 友だちと英語で自己紹介をし合い名刺交換をする。	○発音等に気を付けて自己紹介する。 ○聞いたことについて簡単な言葉や動作で反応する。 ○「コミュニケーションのポイント」に気を付けて話したり聞いたりする。 ○発音のちがいや音の変化について理解する。	「コミュニケーションのポイント」に気を付けて話したり聞いたりしている。
	4				ア	ア	辞書引き大会をする	○アルファベットを見てそれが何かを読む。 ○大文字と小文字を区別して書く。 ○基本的なアルファベットの音のルールを知る。	
5	7	Unit1 ようこそ日本の学校へ			イ		Who am I?クイズをする。	○be動詞を正しく用いてWho am I?クイズのヒントを出す。 ○「コミュニケーションのポイント」に気を付けて話す。 ○正しい強勢、イントネーション、区切りなどを理解する。 ○I am, You areを用いた文構造を理解する。	「コミュニケーションのポイント」に気を付けて話している。
	8	Unit2 みんな友だち (Multi Plus1)			イ		同じグループの友だちを他のグループの友だちに紹介する。	○be動詞や代名詞を正しく用いて友だち紹介をする。 ○相手に伝わるように「コミュニケーションのポイント」に気を付けて話す。 ○be動詞を用いた文構造や代名詞の用法を理解する。	相手に伝わるように「コミュニケーションのポイント」に気を付けて話している。
6	3	【オリジナル】 英語を読もう			イ		英文の内容が伝わるように音読する。	○英文の内容が伝わるように音読する。 ○発音や強勢、イントネーション、文の区切り等に気を付けて音読する。 ○正しい発音、強勢、イントネーション、区切りなどを理解する。	発音や強勢、イントネーション、文の区切り等に気を付けて音読している。
	8	Unit3 はじめましてブラウン先生 (Listening Plus1)			エ		MLTにインタビューする。	○疑問文を使ってALTにインタビューする。 ○知らない表現についてジェスチャーを使うなど工夫して話す。 ○一般動詞を用いた文構造を理解する。	知らない表現についてジェスチャーを使うなど工夫して話している。
7	8	Unit4 楽しい昼休み (Multi Plus1)			イ		自己紹介文を書く。	○自己紹介文を正しく書く。 ○英語の文の書き方に気を付けて、丁寧に書く。 ○形容詞を用いた表現やWhatを用いた疑問文の文構造を理解する。	英語の文の書き方に気を付けて、丁寧に書いている。
	8	Unit5 お祭り大好き (Listening Plus2)	エ				友達の考えたオリジナル料理の食材、数、手順を聞き取り、自分のレシピブックにメモする。	○必要なもの、その数、手順を正確に聞き取り、メモする。 ○相手に聞き返すなど内容を確認しながらメモする。 ○数の聞き方、答え方、命令文の文構造を理解する。	相手に聞き返すなど、内容を確認しながらメモしている。
9	8	Unit6 ベッキーのお婆あちゃん (Multi Plus2)			ウ		いろいろな人の紹介文を読んで、リテリングする。	○いろいろな人の紹介文のポイントをつかんで読みとり、その内容をリテリングする。 ○表やマッピングを使って読んだ情報を整理する。 ○一般動詞の三人称単数現在形を用いた文構造を理解する。	表やマッピングを使って読んだ情報を整理している。
	3	Speaking Plus1 電話での応答	エ				電話で、相手の用件を聞き取りメモする。	○相手の用件を聞き取りその内容のメモを取る。 ○相手に聞き返したりして確認しながら聞く。 ○電話での定型表現を理解する。	相手に聞き返したりして確認しながら聞いている。
10	7	Unit7 サンフランシスコの学校			イ		インタビューになってインタビューし、聞いたことをレポートする。	○インタビューになってインタビューし、聞いたことをレポートする。 ○相手に分かりやすくはっきりと話す。 ○疑問詞を用いた疑問文の構造を理解する。	相手に分かりやすくはっきりと話している。
	3	Writing Plus1 学校のホームページ (Writing plus2)			イ		学校のホームページを作る。	○整理した情報を基に、学校紹介の文を書く。 ○ホームページを作るために情報を整理する。	ホームページを作るために情報を整理している。
11	2	Listening Plus3 海外旅行	ウ				フライトアテンダントからの質問に適切に応じる。	○フライトアテンダントからの質問を正確に聞き取り適切に応じる。	
	3	【オリジナル】 「ALTの学校紹介」を読もう			ウ		「ALTの学校紹介」を読んで、自分たちの学校と違うところを話し合う。	○「ALTの学校紹介」を読み、自分たちの学校と違うところを見つける。 ○マッピングで情報を整理しながら読む。	マッピングで情報を整理しながら読んでいる。
12	7	Unit8 ナンシーに会いに			オ		インタビュー活動をし、聞き取った内容をレポートする。	○インタビューで聞き取った内容を整理して理解し、レポートする。 ○インタビューで聞き取った内容をメモする。 ○疑問詞、代名詞を用いた文の構造を理解する。	インタビューで聞き取った内容をメモしている。
	8	Unit9 ケーブルカーに乗って			エ		動画を見て実況中継をする。	○動画を見ながら進行形を使って実況中継をする。 ○つなぎ言葉を用いるなどして話を続ける。 ○進行形を用いた文構造を理解する。	つなぎ言葉を用いるなどして話を続けている。
1	4	Listening Plus4 電車のトラブル発生 Speaking Plus2 道案内	イ				道案内を正確に聞き取って目的地まで行く。	○道案内を正確に聞き取ってそれに従って目的地まで行く。 ○話し手に聞き返すなどして内容を確認する。 ○道順を尋ねたり教えたりする表現を理解する。	話し手に聞き返すなどして内容を確認している。
	2	Speaking Plus3 ちよっとお願い			イ		許可を求めたり依頼したりする場面でのスキットをする。	○canを使って許可を求めたり依頼したりする表現を理解する。 ○設定した場面に合わせて登場人物らしくスキットする。	
2	8	Unit10 観光地から			イ		自分たちの町の紹介文を書く。	○自分たちの町の紹介文を書く。 ○辞書を活用して、読み手が読みやすくなるように書いたり、書き直したりする。 ○助動詞canと疑問詞whenを用いた文構造を理解する。	辞書を活用して、読み手が読みやすくなるように書いたり、書き直したりしている。
	3	Listening Plus5 休暇中の出来事	エ				休暇中の出来事などについてペアで話す。	○相手の休暇中の出来事を聞いてその内容を正確にレポートする。 ○相手に聞き返したりして内容を確認する。 ○過去形を用いた文の構造を理解する。	相手に聞き返したりして内容を確認している。
3	9	Unit11 一年の思い出 (Writing Plus3)			オ		自分の一年を振り返って思い出を書く。	○自分の一年の思い出を書く。 ○マッピングを使って書くことを整理する。 ○過去形を用いた文の構造を理解する。	マッピングを使って書くことを整理している。
	3	Speaking Plus4 保健室での会話			エ		与えられた人物になりきって自分の体調を伝える。	○自分の状況・体調等を伝える。 ○分からない語があってもジェスチャーを使って何とか伝えている。 ○体調を尋ねたり、伝えたりする表現を理解する。	分からない語があってもジェスチャーを使って何とか伝えている。
4	2	小学校5年生との交流 授業 (2/2)			イ		小学生に質問して、小学生の「夢の1日」プランを作成する。	○小学生から聞き取ったことをまとめて英文を書く。 ○小学生に分かりやすく、正確に書く。	小学生に分かりやすく正確に書いている。
	5	Let's Read			オ		いくつかのReadingポイントについてグループで話し合う。	○書かれている内容を正確に読み取り、自分の考えを言う。 ○自分の意見をまとめるために、読んだり読み返したりする。	自分の意見をまとめるために、読んだり読み返したりしている。
5	3	Let's Read Plus			イ		メッセージが伝わるように音読する。	○メッセージが伝わるように音読する。 ○抑揚や文の区切り等に気を付けて読む。	抑揚や文の区切り等に気を付けて読んでいる。
	10	定期テスト等	○	○	○	○	単元末のパフォーマンステスト等については単元の時数に含まれる。		

東京書籍 New Horizon1

単元の評価規準☆			言語材料	評価方法	関連事項 ・小学校、高校との関連 ・既習事項との関連 ・各教科等との関連
外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解			
発音等に気を付けて自己紹介できる。	聞いたことについて簡単な言葉や動作で反応することができる。	発音のちがいや音の変化について理解している。	アルファベット 基本的な語 アルファベットのフォニックス読み	リスニングテスト 活動観察	H1-1.1, 2, 3, 6, 8 ☆コミュニケーションのポイント ○アイコンタクト ○クリアボイス ○ジェスチャー ○リアクション/相づち
大文字と小文字を区別して書くことができる。	アルファベットを見てそれが何かを読むことができる。	基本的なアルファベットの音のルールを知っている。			
be動詞を正しく用いてWho am I?クイズのヒントを出すことができる。		正しい強勢、イントネーション、区切りなどを理解している。 I am, You areを用いた文構造を理解している。	be動詞 I am.../you are.../Are you...?など	スピーキングテスト	
be動詞や代名詞を正しく用いて友だち紹介ができる。		be動詞を用いた文構造や代名詞の用法を理解している。	This(That) is.../Is this(that)...? He(She) is...	スピーキングテスト	
英文の内容が伝わるように音読することができる。		正しい発音、強勢、イントネーション、区切りなどを理解している。	既習の言語材料	音読テスト	
疑問文を使ってALTにインタビューすることができる。		一般動詞を用いた文構造を理解している。	一般動詞 I...../Do you...?/I don't... 既習の表現	インタビューテスト	H1-1.3 H2-1.1
自己紹介文を正しく書くことができる。		形容詞を用いた表現やWhatを用いた疑問文の文構造を理解している。	疑問詞 be動詞+補語 (形容詞)	ライティングテスト	H1-1.5, 6, 7
	必要なもの、その数、手順を正確に聞き取り、メモすることができる。	数の聞き方、答え方、命令文の文構造を理解している。	複数形 How many...? Let's... 命令文	リスニングテスト	H1-1.3 H2-1.1
	いろいろな人の紹介文をポイントをつかんで読み取り、その内容をリテリングすることができる。	一般動詞の三人称単数現在形を用いた文構造を理解している。	三人称単数現在形	リテリングテスト	
	相手の用件を聞き取りその内容のメモを取ることができる。	電話での定型表現を理解している。	電話での定型表現	リスニングテスト	
インタビューになってインタビューし聞いたことをレポートできる。		疑問詞を用いた疑問文の構造を理解する。	What time...? What+名詞...? Which is...A or B?	ALTにインタビューするテスト	H2-1.5, 6
整理した情報を基に、学校紹介の文を書くことができる。			既習事項	ライティングテスト	
	フライトアテンダントからの質問を正確に聞き取り適切に応じることができる。		既習事項	ALTからインタビューを受けるテスト	
	「ALTの学校紹介」を読み、自分たちの学校と違うところを見つけることができる。		既習事項	リーディングテスト	
インタビューで聞き取った内容を整理して理解し、レポートすることができる。		疑問詞、代名詞を用いた文の構造を理解している。	Where...? Whose...? 人称代名詞	リスニングテスト	H2-1.4 高知県学力定着状況調査の出題範囲
動画を見ながら進行形を使って実況中継できる。		進行形を用いた文構造を理解している。	現在進行形	実況中継テスト	
	道案内を正確に聞き取ってそれに従って目的地まで行くことができる。	道順を尋ねたり教えたりする表現を理解している。	道順の尋ね方、案内の仕方	リスニングテスト	
設定した場面に合わせて登場人物らしくスキットすることができる。		canを使って許可を求めたり依頼したりする表現を理解している。	許可を求めたり依頼したりするときのcan	スキットテスト	H2-1.2
自分たちの町の紹介文を書くことができる。		助動詞canと疑問詞whenを用いた文構造を理解している。	助動詞can when...?	ライティングテスト	H2-1.2
	相手の休暇中の出来事を聞いてその内容を正確にレポートすることができる。	過去形を用いた文の構造を理解している。	一般動詞の過去形	リテリングテスト	
自分の一年の思い出を書くことができる。		過去形を用いた文の構造を理解している。	一般動詞の過去形	ライティングテスト	
自分の状況・体調等を伝えることができる。		体調を尋ねたり、伝えたりする表現を理解している。	体調を尋ねたり、伝えたりする表現	ダイアログテスト	
小学生から聞き取ったことをまとめて英文を書くことができる。				プラン点検	
	書かれている内容を正確に読み取り、自分の考えを言うことができる。		既習事項	リーディングテスト	
メッセージが伝わるように音読することができる。			既習事項	音読テスト	

【例】 中学校 第2学年 外国語科(英語)年間指導計画(140時間)

月 ☆	時 数 ☆	単元名☆	指導事項				中心となる 言語活動	単元の目標☆	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度
			L	S	R	W			
4 ・ 5	8	warm-up A Speech and a game		イ			大切にしている物についてshow and tellをする。	大切にしている物についてShow and Tellをする。 ○間違えることを恐れずに、積極的に話 している。	
	10	Unit1 Dogs with Jobs (Writing Plus1)				エ	日記を書く。	○4文以上のつながりのある文で日記を書く。 ○教科書のモデルに倣って、辞書などを活用して書き続ける。 ○be動詞の過去形と過去進行形を用いた文の構造を理解する。	
5 ・ 6	3	Listening Plus1 テレビ広告	イ				テレビ広告の画面を見ながら聞 いた内容を友達に伝える。	○テレビ広告を聞き、聞き取った内容を友達に伝える。 ○メモを取りながら聞く。	
	10	Unit2 A Trip to New Zealand				ウ	観光案内を読んで、行きたい場 所を理由をつけて書く。	○観光案内を読み、内容を整理して理解し、行きたい場所を理由を付 けて書く。 ○情報をつかむために表にまとめたりマッピングしたりしながら読む。 ○未来を表す表現 (be going to)、show人物 callABを用いた文構造を 理解する。	
6	3	Listening Plus2 海外旅行	オ				機内放送を聞いて、内容を友達 に伝える。	○機内放送を聞き取り、内容を友達に伝える。 ○必要な情報をつかむためにメモを取りながら聞く。	
	3	Speaking Plus1 先生にお願い				イ	先生にお願いに行くという場面 において登場人物になりきって スキットする。	○登場人物らしくスキットをする。	
	3	小学校5年生との交 流授業 (3/3)		イ			小学生にインタビューし、小学 生からのインタビューに答えよ う。	○相手に質問したり相手の質問に答えたりする。 ○聞き手を意識して、聞こえやすい声量で話す。	
7	10	Unit 3 My Future Job (Multi Plus1)				エ	自分の夏休みについて書く。	○自分の予定やしたいことについて、正しく書く。 ○書きたい内容をマッピング等を使ってまとめる。 ○不定詞 (名詞的用法、副詞的用法、形容詞的用法) を用いた文構造を 理解する。	
9	8	Let's Read1 A Magic Box				イ	登場人物になりきって音読す る。	○登場人物になりきって音読する。 ○積極的に音読する。	
9 ・ 10	9	Unit4 Homestay in the United States				エ	外国の生活習慣を聞き取って日 本の生活習慣との違いをレポ ートする。	○外国の生活習慣を聞き取り、整理して理解し、日本の生活習慣との違 いをレポートする。 ○聞き返すなどして内容を確認する。 ○助動詞 (will must), have toを用いた文の文構造を理解する。	
	3	Listening Plus4 明日の天気	イ				天気予報を聞き、友達に伝え る。	○天気予報を聞き、聞き取った情報を友達に伝える。 ○メモを取りながら聞く。	
10	3	Speaking Plus2 電話での応答				イ	電話での応答を題材にスキッ トをする。	○登場人物らしくスキットをする。 ○電話での定型表現を理解する。	
	9	Unit5 A New Language Service				ウ	新聞記事に対する意見文を書 く。	○新聞記事に対しての意見や賛否を理由を付けて書く。 ○読み手が理解しやすくなるように書いたり、書き直したりする。 ○接続詞 (if, that, when, because) を用いた文構造を理解する。	
11 ・ 12	3	Listening Plus5 今日のニュース	オ				今日のニュースを聞いてメモを 見ながら友達に伝える。	○今日のニュースを聞き取り、その内容を友達に伝える。 ○メモを取りながら聞く。	
	3	Speaking Plus3 道案内				イ	ALTに乗り物での行き方を教え る。	○乗り物での行き方を説明する。 ○分からない語があっても身振り手振りを使って伝える。 ○乗り物での行き方を尋ねたり教えたりする表現を理解する。	
	8	Unit6 The Story of an Old Clock (Listening Plus6, Multi Plus2)				オ	自分たちの町を紹介するガイ ドブックを作る。	○自分たちの町の紹介文を書く。 ○マッピングを使って情報をまとめる。 ○there/動名詞を用いた文の構造を理解する。	
7	Let's Read 2 Try to be the Only One				ウ	物語を読んでBook Reviewを書 く。	○物語を読んで、自分の意見をもちながら内容を理解し、Book Review を書く。 ○繰り返して読んだり、読み返したりして読み続ける。		
1	10	Unit7 My Favorite Movie (Listening Plus 7)	オ				いろいろな映画の紹介を聞いて、 自分の見たい映画を決める。	○いろいろな映画の紹介を聞いて、その内容を比べ見たい映画を選ぶ。 ○相づちをうったり、メモをとったりするなど、関心をもって聞く。 ○比較表現を用いた文構造を理解する。	
2 ・ 3	5	Unit7 Plus (Multi Plus3)				ウ	Unit7で決めた映画について、 グループで話す。	○自分の選んだ映画について理由を付けて言う。 ○聞き手を意識して強調したり繰り返したりして話す。	
	2	Writing Plus3 詩				イ	モデルに倣って詩を書く。	○モデルに倣って詩を書く。 ○マッピングを使って詩に書く内容を整理する。	
	10	Let's Read3 Can Anyone Hear Me?				ウ	物語の内容を読み取って続きを 考える。	○読み取った物語の続きを考え理由を付けて言う。 ○未習の語があっても推測しながら読み続ける。	
10	定期テスト等	○	○	○		単元末のパフォーマンステスト等については単元の時数に含まれる。			

東京書籍 New Horizon2

単元の評価規準☆			言語材料	評価方法	関連事項 ・小学校、高校との関連 ・既習事項との関連 ・各教科等との関連
外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解			
大切にしている物についてShow and Tellができる。			既習事項	Show and Tell	
4文以上のつながりのある文で日記 を書くことができる。		be動詞の過去形と過去進行形を用 いた文の構造を理解している。	be動詞の過去形、一 般動詞の過去形 過去進行形 look+形容詞	ライティングテスト	中1 Unit9 Unit11
	テレビ広告を聞き、聞き取った内 容を友達に伝えることができる。		既習事項	リテリングテスト リスニングテスト	
	観光案内を読み、内容を整理して 理解し、行きたい場所を理由を付 けて書くことができる。	未来を表す表現 (be going to)、 show人物 callABを用いた文構造を 理解している。	be going to show人 物 call A B	リーディングテスト	
	機内放送を聞き取り、内容を友達 に伝えることができる。		既習事項	リスニングテスト	
登場人物らしくスキットすること ができる。			既習事項	スキットテスト	H1-L9
相手に質問したり相手の質問に答え たりすることができる。				活動観察	
自分の予定やしたいことについ て、正しく書くことができる。		不定詞 (名詞的用法、副詞的用法、形 容詞的用法) を用いた文構造を理解 している。	不定詞	ライティングテスト	高1 Lesson1 H2-L8
登場人物になりきって音読するこ とができる。			既習事項	音読テスト	
	外国の生活習慣を聞き取り、整理 して理解し、日本の生活習慣との 違いをレポートできる。	助動詞 (will must), have toを用 いた文の文構造を理解している。	助動詞 will must have to (should)	リスニングテスト	中1 Unit10
	天気予報を聞き、聞き取った情報 を友達に伝えることができる。		既習事項	リスニングテスト	
登場人物らしくスキットすること ができる。		電話での定型表現を理解してい る。	電話での定型表現	スキットテスト	
新聞記事に対しての意見や賛否を理由 を付けて書くことができる。		接続詞 (if, that, when, because) を用いた文構造を理解し ている。	接続詞 (if, that, when, because)	ライティングテスト	
	今日のニュースを聞き取り、その 内容を友達に伝えることができ る。		既習事項	リテリングテスト リスニングテスト	
乗り物での行き方を説明することが できる。		乗り物での行き方を尋ねたり教え たりする表現を理解している。	乗り物での行き方 の尋ね方、教え方	ダイアログテスト	
自分たちの町の紹介文を書くこと ができる。		there/動名詞を用いた文の構造を理 解している。	There is 動名詞	ライティングテスト	中1 Unit8 高1 Lesson1 高知県学力定着状況 調査出題範囲
	物語を読んで、自分の意見をもち ながら内容を理解し、Book Review を書くことができる。		既習事項	ライティングテスト	
	いろいろな映画の紹介を聞いて、 その内容を比べ見たい映画を 選ぶことができる。	比較表現を用いた文構造を理解し ている。	比較表現	リスニングテスト	中1 Unit7
自分の選んだ映画について理由を 付けて言うことができる。			既習事項	スピーキングテスト	
モデルに倣って詩を書くことが できる。			既習事項	詩の点検	
	読み取った物語の続きを考え理由 を付けて言うことができる。		既習事項	リーディングテスト	

【例】 中学校 第3学年 外国語科(英語)年間指導計画(140時間)

月☆	時数☆	単元名☆	指導事項				中心となる言語活動	単元の目標☆	コミュニケーションへの関心・意欲・態度
			L	S	R	W			
4	4	Warm-up A speech and a game		イ			自分の気に入っている写真を見せながらShow and Tellをする。	○写真を見せながらShow and Tellをする。 ○写真について言いたいことをメモにまとめる。	写真について言いたいことをメモにまとめている。
	4				ウ	キーワードに着目してジグソーパズルをやる。	○英文を読み、整理した内容から話の順番を考える。 ○キーワードを中心にマッピングで内容を整理する。	キーワードを中心にマッピングで内容を整理している。	
5	9	Unit1 Sign Language (Multi Plus1)				オ	「日本文化紹介」の英文を書く。	○50語程度で日本文化を紹介する英文を書く。 ○わからない語は辞書を使って調べながら書く。 ○受け身を用いた文の構造を理解する。 ○make+名詞+形容詞の文の構造を理解する。	わからない語は辞書を使って調べながら書いている。
	2	Listening Plus 1	イ				ボランティア活動の内容を聞き取りレポートする。	○聞き取った内容をレポートする。 ○メモを取ったりするなど関心をもって聞く。	メモを取ったりするなど関心をもって聞いている。
6	10	Unit 2 A fire works Festival				オ	地域のお祭りなどのレポートをする。	○現在完了形を用いて地域で長年続いているお祭りなどについてレポートをする。 ○聞き手が理解しやすくなるように工夫して話す。 ○現在完了形を用いた文の構造を理解する。	聞き手が理解しやすくなるように工夫して話している。
	3	Writing Plus1 手紙				オ	自分の好きな歌手やタレント、スポーツ選手などにファンレターを書く。	○文章の構成に気を付けて有名人にファンレターを書く。 ○自分の思いが伝わるように、マッピングなどを使って書きたいことをまとめる。	自分の思いが伝わるように、マッピングなどを使って書きたいことをまとめている。
6	2	Listening Plus2 コンサート会場から				オ	テレビの実況中継を聞いて、内容をリテリングする。	○実況中継を聞き、聞き取った情報をリテリングする。 ○メモを取りながら聞く。	メモを取りながら聞いている。
	12	Unit 3 Fair Trade Chocolate (Listening Plus3)				オ	読んだことをもとに次の質問について考え自分の意見を言う。 Which would you like to buy, fair trade chocolate or normal chocolate?	○まとまった英文を自分の考えをもちながら読み、読み取った内容をもとに自分の意見を言う。 ○自分の意見の根拠となる部分に線を引くなどしながら読む。 ○現在完了形を用いた文の構造を理解する。	自分の意見の根拠となる部分に線を引くなどしながら読んでいる。
7	5	Speaking Plus1 映画へのさそい Speaking Plus2 食事の会話				イ	教科書のスキットを参考にオリジナルのスキットを作る。	○考えたプロットに沿ってオリジナルのスキットを書く。 ○与えられた表現がどんな場面で使われるかを考えてプロットを書く。 ○would likeを用いた表現が使われる場面を理解する。	与えられた表現がどんな場面で使われるかを考えてプロットを書いている。
	5	Multi plus2 修学旅行				オ	修学旅行についてのスピーチをする。	○マッピングをもとに7文程度のスピーチをする。 ○自分が話したいことについてマッピングして内容をまとめる。	自分が話したいことについてマッピングして内容をまとめている。
9	6	Let's Read 1 A mother's lullaby				イ	物語の内容が表現されるように音読する。	○意味内容にふさわしい強弱や音量に気を付けて音読する。	
	8	Unit 4 Learn by Losing				オ	相撲についての力士のエピソードを読み取り、残りの中学生生活をどう過ごしたいか書く。	○相撲についての力士のエピソードを読み取り、残りの中学生生活をどう過ごしたいか書く。 ○わからない語があっても意味を推測しながら読み続ける。 ○疑問詞+不定詞、形式主語を用いた文の構造を理解する。	わからない語があっても意味を推測しながら読み続けている。
10	2	Listening Plus4 英語落語家への道				エ	(インタビューを参考に) ALTIにインタビューをし聞き取った内容をレポートする。	○ALTIにインタビューして聞き取った内容をレポートする。 ○わからないところは聞き返すなどして内容を確認する。	わからないところは聞き返すなどして内容を確認している。
	2	Speaking Plus3 道案内				イ	道案内のスキットをする。	○登場人物になりきって道案内のスキットをする。 ○乗り物での行き方を尋ねたり説明したりする表現を理解する。	
10	10	Unit 5 Electronic Dictionaries-for or against				エ	決められたテーマについてペアでミニディベートする。	○メモをもとに自分の意見を、理由をつけて話す。 ○つなぎ言葉を用いたり、言いかえりして工夫しながら話を続ける。 ○現在分詞及び過去分詞による後置修飾を用いた文の構造を理解する。 ○間接疑問文の文構造を理解する。	つなぎ言葉を用いたり、言いかえりして工夫しながら話を続けている。
	2	Writing Plus2 レポート				オ	Unit 5のディベートをもとに、自分の考えをまとまりのある英語で書く。	○自分の考えをまとまりのある50語程度の英文で書く。 ○教科書を参考につながりを書いて書いたり書き直したりする。	教科書を参考につながりを書いて書いたり書き直したりしている。
11	3	Listening Plus 5				オ	「若者は優先席に座ってもよいか」という議論を聞いて、自分の立場を明らかにし、理由を付けて言う。	○聞いた内容を引用しながら自分の意見を言う。 ○メモを取ったりするなど話されている内容に関心をもって聞く。	メモを取ったりするなど話されている内容に関心をもって聞いている。
	8	Unit 6 Break the Barrier				オ	人物についての話を読んで年表をつくり、ALTIにリテリングする。	○自分が読み取りまとめた年表をもとにALTIにリテリングする。 ○年表にまとめながら読む。 ○接触節や関係代名詞を用いた文の構造を理解する。	年表にまとめながら読んでいる。
12	2	Listening Plus6 20世紀のスター				オ	20世紀のスターについてのレポートを聞いて、年表にまとめリテリングする。	○自分が聞き取ってまとめた年表をもとにリテリングすることができる。 ○年表にまとめながら聞く。	年表にまとめながら聞いている。
	3	小学校6年生との交流授業 (3/3)				イ	○小学校6年生に「学校紹介」のプレゼンテーションをする。	○「学校紹介」のプレゼンテーションをする。 ○小学生に伝わるように声量や発音に気を付ける。	小学生に伝わるように声量や発音に気を付けている。
1	2	Writing Plus3 スキット				イ	スキット(ダイアログ)の台本を読んで、何が起ったか、絵を見ながら説明する。	○絵を見ながら、場面や登場人物の様子などについて説明する。 ○つなぎ言葉を用いたり、言いかえりして工夫しながら話を続ける。	つなぎ言葉を用いたり、言いかえりして工夫しながら話を続けている。
	4	Multi Plus3 なりた職業				オ	三年間の思い出や、将来の事を含めた文を書き、卒業文集を作る。	○三年間の思い出や、将来の事を含めた自分についての英文を70語程度で書く。 ○資料や辞書などを参考に、読み手に自分の考えや気持ちが伝わるように書いたり、書き直したりしている。	資料や辞書などを参考に、読み手に自分の考えや気持ちが伝わるように書いたり、書き直したりしている。
2	3	Listening Plus 5				オ	レポートの発表を聞いて、リテリングする。	○レポートを聞いて、聞き取った内容をリテリングする。 ○メモを取ったりするなど相手の話に関心をもって聞く。	メモを取ったりするなど相手の話に関心をもって聞いている。
	8	Let's Read 2 Roy Brown - Boy Detective				ウ	場面変化や登場人物の心情を読み取り絵を基にリテリングする。	○あらすじや大切な部分などを読み取り、絵をもとにリテリングする。 ○わからない表現があっても、意味を汲み取ろうと読み進める。	わからない表現があっても、意味を汲み取ろうと読み進めている。
3	8	Let's Read 3 An Artist in the Arctic				エ	概要を読み取り、写真について感じたことを本文を引用しながら書く。	○あらすじや大切な部分などを読み取り、感じたことを本文を引用しながら書く。 ○注釈を参考に表やマッピングで情報を整理しながら読む。	注釈を参考に表やマッピングで情報を整理しながら読んでいる。
	13	定期テストなど	○	○	○		単元末のパフォーマンステスト等は単元の時数に含まれる。		

東京書籍 New Horizon3

単元の評価規準☆			言語材料	評価方法	関連事項 ・小学校、高校との関連 ・既習事項との関連 ・各教科等との関連
外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解			
写真を見せながらShow and Tellができる。			既習事項	Show and Tell	中2 Warm-up Unit1 高1 Lesson2, Lesson5
	英文を読み、整理した内容から話の順番を考えることができる。		既習事項	リーディングテスト	
50語程度で日本文化を紹介する英文を書くことができる。		受け身を用いた文の構造を理解している。 make+名詞+形容詞の文の構造を理解している。	受け身 make+名詞+形容詞	ライティングテスト	
	聞き取った内容をレポートすることができる。		既習事項	リスニングテスト	
現在完了形を用いて地域で長年続いているお祭りなどについてレポートすることができる。		現在完了形を用いた文の構造を理解している。	現在完了形(継続用法)	スピーキングテスト	中1 Unit9 高1 Lesson 2
文章の構成に気を付けて有名人にファンレターを書くことができる。			既習表現	ライティングテスト	
	実況中継を聞き、聞き取った情報をリテリングできる。		既習事項	リスニングテスト	
	まとまった英文を自分の考えをもちながら読み、読み取った内容をもとに自分の意見を言うことができる。	現在完了形を用いた文構造を理解している。	現在完了形(経験・完了)	リーディングテスト	中2 Unit 3 高1 Lesson2
考えたプロットに沿ってオリジナルのスキットを書くことができる。		would likeを用いた表現が使われる場面を理解している。	would like	ライティングテスト	
マッピングをもとに7文程度のスピーチができる。			既習事項	スピーチ	
意味内容にふさわしい強弱や音量に気を付けて音読する事ができる。			既習事項	音読テスト	
	相撲についての力士のエピソードを読み取り、残りの中学生生活をどう過ごしたいか書くことができる。	疑問詞+不定詞、形式主語を用いた文の構造を理解している。	○疑問詞+不定詞 ○It is .for.to～ ○want .to～	リーディングテスト	
	ALTIにインタビューして聞き取った内容をレポートすることができる。		既習事項	リスニングテスト	
登場人物になりきって道案内のスキットができる。		乗り物での行き方を尋ねたり説明したりする表現を理解している。	Could you tell me how to get～?	スキットテスト	
メモをもとに自分の意見を、理由をつけて話すことができる。		現在分詞及び過去分詞による後置修飾を用いた文の構造を理解している。 間接疑問文の文構造を理解している。	・現在分詞及び過去分詞による後置修飾 ・間接疑問文	ディベートテスト	中2 Unit5 Unit7 高1 Lesson2
自分の考えをまとまりのある50語程度の英文で書くことができる。			既習事項	ライティングテスト	
	聞いた内容を引用しながら自分の意見を言うことができる。		既習事項	リスニングテスト	
	自分が読み取りまとめた年表をもとに、ALTIにリテリングすることができる。	接触節や関係代名詞を用いた文の構造を理解している。	接触節 関係代名詞	リーディングテスト	高1 Lesson3
	自分が聞き取ってまとめた年表をもとにリテリングすることができる。		既習事項	リスニングテスト リテリングテスト	
「学校紹介」のプレゼンテーションができる。				活動観察	
絵を見ながら、場面や登場人物の様子などについて説明することができる。			既習事項	スピーキングテスト	
3年間の思い出や、将来の事を含めた自分についての英文を70語程度で書ける。			既習事項	ライティングテスト	
	レポートを聞いて、聞き取った内容をリテリングすることができる。		既習事項	リスニングテスト	
	あらすじや大切な部分などを読み取り、絵をもとにリテリングできる。		既習事項	リテリングテスト リーディングテスト	
	あらすじや大切な部分などを読み取り、感じたことを本文を引用しながら書くことができる。		既習事項	リーディングテスト	

【例】 中学校 第1学年 外国語科(英語)年間指導計画(140時間)

月 ☆	時 数 ☆	単元名☆	指導事項				中心となる 言語活動	単元の目標☆	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度
			L	S	R	W			
4	8	【スタートアップ】 Let's start Classroom English Program1 アルファベットになろう	ア	ア			スタートアップ 教室で使う英語を聞いて行動する 自己紹介をする	○教室英語を聞いて適切に行動する。 ○相手に伝えるように自己紹介する。 ○コミュニケーションポイントに気を付けて聞く。 ○カタカナ語との発音の違いを知る。	コミュニケーションポイントに気を付 けて聞いている。
	5				ア	ア	辞書引き大会をする	○アルファベットを見てそれが何かを言う。 ○大文字と小文字を区別して書く。 ○基本的なアルファベットの音のルールを知る。	
5	8	Program2 アメリカからの転校生		イ			初対面の友達と挨拶する	○初対面の友だちにあいさつする。 ○コミュニケーションポイントに気を付けてあいさつをする。 ○名前の言い方やあいさつの仕方を理解する。	コミュニケーションポイントに気を付 けてあいさつをしている。
	8	Program3 ウッド先生がやってきた (アクションタイム全員集合)		イ			記者会見でインタビューになって インタビューする	○自分が知りたいことを尋ねる。 ○相手に伝える声量や明瞭さで尋ねる。 ○一般動詞を用いた文の構造を理解する。	相手に伝える声量や明瞭さで尋ねてい る。
6	2	Power Up Listening1 転校生ダニエルへの質問	イ				転校生ダニエルへの質問を聞き、友 だちに伝える	○英語での会話を聞いてその内容を理解しリテリングする。 ○メモを取りながら聞く。	メモを取りながら聞いている。
	8	Program4 リサイクル活動 (Word Web1) (Word Web2)		イ			友だちをイベント(○○デー)に誘 う	○数や曜日を正確に伝え、友だちをイベントに誘う。 ○大切なところを強調して話す。 ○数や曜日の言い方を理解する。	大切なところを強調して話している。
7	7	My Project 1 自己紹介をしよう (Writing 1) (Word Web3)			イ	自己紹介の原稿を書き、自己紹介を する	○自己紹介の原稿を書く。 ○教科書を参考にして書く。 ○自己紹介に必要な自分が主語の文の構造を理解する。	教科書を参考にして書いている。	
9	3	Power Up Reading1 英語の掲示・標識など			イ	オリジナルの標識とその説明書を作 り、友だちと交換して読む	○友だちの説明書を読んでその標識が何かわかる。 ○わからない語があっても何とか理解しようと読み続ける。 ○命令文の文構造を理解する。	わからない語があっても何とか理解し ようと読み続けている。	
	8	Program5 国際フードフェスティバル (英語のしくみ1)		イ		友だちが探しているブースがどこに あるか説明する	○場所の特徴を伝える。 ○間違っことを恐れず話す。 ○Whereを含む疑問文の文構造を理解する。	間違っことを恐れず話している。	
10	2	Power Up Speaking1 時刻を尋ねる		ウ		友だちの目録を聞いてアドバイスす る	○何時に何をするか情報を正確にとらえ、アドバイスする。 ○わからないところは聞き直す。 ○時刻の聞き方や答え方を理解する。	わからないところがあれば聞き直して いる。	
	7	Program6 由紀のイギリス旅行		ウ		写真を見せながら、有名人や友だ ち、家族について紹介する	○写真を見せながら、紹介する。 ○身振り手振りを使って紹介する。 ○三人称単数現在形の文構造を理解する。	身振り手振りを使って紹介している。	
10	7	Program7 Dilo the Dolphin (英語のしくみ2)			ウ	おすすめの本の紹介文を理解し、同 じような構成で自分のおすすめの本 の紹介文を書く	○おすすめの本の紹介文を理解する。 ○辞書を使いながら読む。 ○Who, Whenを含む疑問文の文構造を理解する。	辞書を使いながら読んでいる。	
	2	Power Up Speaking2 持ち主を尋ねる		イ		持ち主あてクイズを作って出す	○メモをもとに持ち主当てクイズを出す。 ○人に分かりやすく話す。 ○Which, Whoseを含む疑問文の文構造を理解する。	人に分かりやすく話している。	
11	2	Power Up Listening2 ラジオ放送		オ		ラジオ放送を聞いて、聞いた内容を 友だちに伝える	○ラジオ放送を聞き、その概要を捉え友だちに伝える。		
	7	Program8 Origami			オ	夢のロボットの取り扱い説明書を書 き、友だちと交換して読む	○夢のロボットの取り扱い説明書を書く。 ○マッピングで書く内容をまとめる。 ○can, Howを含む疑問文の文構造を理解する。	マッピングで書く内容をまとめている。	
	3	Power Up Speaking3 依頼する・許可を求める			エ	場面に合わせたスキットを作って発 表する	○場面に合わせたセリフを言う。		
	3	My Project2 人を紹介しよう (英語のしくみ2)			オ	人物紹介の原稿を書いて発表する	○人物紹介の原稿を書く。 ○わからない語を辞書で調べて書く。 ○代名詞、三単現の文構造を理解する。	わからない語を辞書で調べて書してい る。	
12	8	Program9 A New Year's Visit (Power Up Reading2) (英語のしくみ3)			エ	動画や写真をみて実況中継する	○動画や写真を見て実況中継する。 ○つなぎ言葉を使って話し続ける。 ○現在進行形を用いた文構造を理解する。	つなぎ言葉を使って話し続けている。	
1	8	Program10 Mike's Visit to Washington D.c. (英語のしくみ4)			エ	外国からのメールを読んで返事を書 く	○メールを読み、理解した内容に対して返事を書く。 ○わからない語を辞書で調べて読む。 ○一般動詞過去形の文構造を理解する。	わからない語を辞書で調べて読んでい る。	
	2	Power Up Speaking4 買い物①(Tシャツを買う)			エ	いろいろな場面を想定して買い物の スキットをする	○意味内容に合わせてセリフを言う。		
2	4	My Project 3 どんどん質問しよう (英語のしくみ3) (Power Up Listening3)			エ	インタビューしたことをまとめて友 だち紹介文を書く	○インタビューの答えを正確に聞き取り、その内容をもとに紹介文を書く。 ○メモを取りながら聞く。	メモを取りながら聞いている。	
	2	小学校5年生との交流授業 (2/2)			イ	小学生の「夢の1日」プランを聞いて 、まとめて書く。	○「夢の1日」プランを書く。 ○辞書などを活用して正確に書く。	辞書などを活用して正確に書してい る。	
3	8	Program11 Flowers in the Classroom (Power Up Writing2日記①) (英語のしくみ4)			エ	日記を書く。	○50語程度の日記を書く。 ○マッピングで整理して書く。 ○一般動詞の過去形を用いた文構造を理解する。	マッピングで整理し、それをもとに日 記を書いている。	
	8	Review Reading Extensive Reading			ウ	物語を読み、絵を見ながら再生す る。(Storytelling)	○物語の内容を絵を見ながらリテリングする。 ○わからない語があっても推測しながら 読み続ける。	わからない語があっても推測しながら 読み続ける。	
10		定期テスト等	○	○	○	単元末のパフォーマンステスト等は、単元の時数に含まれる。			

開隆堂 Sunshine 1

単元の評価規準☆			言語材料	評価方法	関連事項 ・小学校、高校との関連 ・既習事項との関連 ・各教科等との関連
外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解			
相手に伝わるように自己紹介できる。	教室英語を聞いて適切に行動できる。	カタカナ語との発音の違いを知ってい る。	あいさつ 身の回りにある英単 語の学習 簡単な自己紹介 英語らしい音の学習	ALTによる面接	H1-L1, L6/H2-L1, L3 ☆コミュニケーション のポイント ○アイコンタクト ○クリアボイス ○ジェスチャー ○リアクション/相づ ち
大文字と小文字を区別して書くことが できる。	アルファベットを見てそれが何かを言 うことができる。	基本的なアルファベットの音のルール を知っている。	大文字と小文字/ ABC song アルファベットの文 字と発音の関係 フォニックスの基本	辞書引きチェック	
初対面の友だちにあいさつできる。		名前の言い方やあいさつの仕方を理解 している。	名前の言い方 あいさつの仕方	ダイアログテスト	
自分が知りたいことを尋ねることが できる。		一般動詞を用いた文の構造を理解して いる。	一般動詞の文(一人 称)	インタビューテスト	H1-L4 H1-L8
	英語での会話を聞いてその内容を理解 しリテリングすることができる。			リスニングテスト リテリングテスト	
	数や曜日を正確に伝え、友だちをイベ ントに誘うことができる。	数や曜日の言い方を理解している。	数、曜日の言い方、 How many?と複数形 Whatを含む疑問文	スピーキングテスト	H1-L3, L5, L8 /H2 -L7
自己紹介の原稿を書くことができる。		自己紹介に必要な自分が主語の文の構 造を理解している。	月の名前と順番を表 す言い方 単語、文の書き方	ライティングテスト	H1-L4/H2-L2
	友だちの説明書を読んでその標識が何 か理解できる。	命令文の文構造を理解している。	命令文	リーディングテスト	
場所の特徴を伝えることができる。		Whereを含む疑問文の文構造を理解し ている。	be動詞、一般動詞、 複数形 This is ~, Whereを 含む疑問文	ダイアログテスト	H1-L7/H2-L5
	何時に何をするか情報を正確にとら え、アドバイスすることができる。	時刻の聞き方や答え方を理解してい る。	What time ~?	リスニングテスト リテリングテスト	H2-L6
写真を見せながら紹介することができ る。		三人称単数現在形の文構造を理解して いる。	三人称単数現在形	ダイアログテスト	
	おすすめの本の紹介文を読み理解す ることができる。	Who, whenを含む疑問文の文構造を理 解している。	Who Whenを含む疑問 文	リーディングテスト	H2-L2
メモをもとに持ち主当てクイズを出 すことができる。		Which, Whoseを含む疑問文の文構造を 理解している。	Which? Whose? ~?	スピーキングテスト	
	ラジオ放送を聞き、その概要を捉え友 だちに伝えることができる。			リスニングテスト リテリングテスト	
	夢のロボットの取り扱い説明書を書 くことができる。	can, Howを含む疑問文の文構造を理 解している。	can, Howを含む疑問 文	ライティングテス ト	H2-L3
	場面に合わせたセリフを言うことが できる。		依頼する(Can you ~?), 許可する (Can I ~?)	スキット観察	
人物紹介の原稿を書くことができる。		代名詞・三単現の文構造を理解してい る。	代名詞、三人称単 数現在形	ライティングテスト	高知県学力定着状況調 査の出題範囲
動画や写真を見て実況中継するこ とができる。		現在進行形を用いた文構造を理解して いる。	現在進行形、can、 wh-疑問文	実況中継テスト	
	メールを読み、理解した内容に対 して返事を書くことができる。	一般動詞過去形の文構造を理解してい る。	一般動詞の過去形、 Whyを含む疑問文と その答え方	リーディングテス ト	
意味内容に合わせてセリフを言うこ とができる。			How much? Here you are. Can I help you? など	スキット観察	
	インタビューの答えを正確に聞き取 り、その内容をもとに紹介文を書くこ とができる。		疑問文とその答え方	ライティングテスト	
	「夢の1日」プランを書くことが できる。			プラン点検	
	50語程度の日記を書くことが できる。	一般動詞の過去形を理解している。	一般動詞の過去形 (不規則動詞)	ライティングテスト	
	物語の内容を絵を見ながらリテリン グすることができる。			リーディングテスト	

【例】 中学校 第2学年 外国語科(英語)年間指導計画(140時間)

月 ☆	時 数 ☆	単元名☆	指導事項				中心となる 言語活動	単元の目標☆	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度
			L	S	R	W			
4	3	Classroom English 英語を使ってみよう 辞書を読んでみよう Power-Up Listening1 天気予報	エ	イ			Classroom EnglishとDaily Conversation	○既習事項を使って友だちに質問する。 ○友だちからの質問内容を理解し、適切に答える。 ○相手意識をもって聞いたり話したりする。	相手意識をもって聞いたり答えたりしている。
	8	Program1 Did You Enjoy Your Vacation?			ウ		春休みの出来事についてのレポート を読みリテリングし合う	○レポートを読み理解したことをリテリングする。 ○辞書などを使って読む。 ○一般動詞、be動詞の過去形、過去進行形を用いた文構造を理解する。	辞書などを使って読んでいる。
5	3	Power Up Writing 1 日記② (英語のしくみ 1)				エ	ゴールデンウィークにしたことについて日記を書く	○日記を書く。 ○辞書などを使って書く。	辞書などを使って書いている。
	7	Program2 A Trip to Finland (英語のしくみ 2)		イ			旅行の計画を立ててプレゼンテーションする	○旅行計画のプレゼンテーションをする。 ○聞き手に分かりやすく発表する。 ○未来の表現を理解する。	聞き手に分かりやすく発表している。
	2	Power Up Speaking 1 電話①(買い物に誘う)	ウ				電話をしながら、メモを取り、予定表に書き込む	○電話での話を理解し、その内容を予定表に書き込む。 ○メモを取りながら積極的に聞いている。	メモを取りながら積極的に聞いている。
6	8	Program3 Charity Walk (英語のしくみ 2)				イ	イベントを企画し、HPに載せる募集要項の注意欄を書く	○イベント募集要項の注意事項を書く。 ○辞書などで調べながら書く。 ○助動詞 (must, have to)、接続詞 (that) を用いた文の構造を理解する。	辞書などで調べながら書いている。
	3	My Project 4 対話をつなげよう Power Up Speaking 2 誘う・依頼する・約束する		エ			インタビューになってインタビューする	○インタビューになってインタビューする。 ○繋ぎ言葉を使って話を続ける。	繋ぎ言葉を使って話を続けている。
	3	小学校5年生との交流授業 (3/3)		イ			小学生のインタビューに答えたり、小学生にインタビューしたりする	○小学生とインタビューし合う。 ○適切な発音や声量で話す。	適切な発音や声量で話している。
7	7	Program4 The pillow			ウ		物語を読んで、リテリングする	○物語を読んで理解した内容をリテリングする。 ○マッピングを使ってメモを取りながら読み取る。	マッピングを使ってメモを取りながら読み取っている。
9	8	Program5 Gulliver's Travels (英語のしくみ 3)				エ	自分の町についての紹介文を書く	○自分の町についての紹介文を書く。 ○辞書で調べながら書き続ける。 ○There is/are、接続詞ifを用いた文の構造を理解する。	辞書で調べながら書き続けている。
	2	Power Up Speaking 3 買い物②(ハンバーガーを注文する)		イ			ハンバーガーを注文するというシチュエーションでスキットをする	○自分で選んだものを注文する。 ○発音やイントネーションに気をつける。 ○買い物で用いる定型表現を理解する。	発音やイントネーションに気をつけて伝えている。
10 ・ 11	8	Program6 A Work Experience Program (英語のしくみ 3)				オ	職場体験のレポートを書く	○職場体験のレポートを書く。 ○書きたいことをマッピングでまとめる。 ○不定詞の意味用法を理解する。	書きたいことをマッピングでまとめている。
	3	Power Up Listening 2 ALTへのインタビュー		イ			ALTへのインタビューし、その聞き取った内容を基にALTのプロフィールを書く	○ALTへのインタビューし、その聞き取った内容を基にALTのプロフィールを書く。 ○メモを取りながら積極的に聞く。	メモを取りながら積極的に聞いている。
	3	Power Up Writing 2 ホストファミリーへのメール				ウ	オーストラリアからのメールを読み、返事を書く	○メールを読み、その内容に対して返事を書く。 ○書きたい内容を表やマッピングでまとめている。	書きたい内容を表やマッピングでまとめている。
11	8	Program7 If You Wish to See a Change				オ	セパンさんの話を読んで、セパンさんに自分の意見を伝える手紙を書く	○セパンさんの意見や活動を読み取り、自分の意見をもつ。 ○印象に残った部分に線を引く。 ○動名詞を用いた文構造とSVC(形容詞)の文構造を理解する。	印象に残った部分に線を引いている。
	2	Power Up Speaking 4 道案内①	エ				道案内を聞いてそれを友達に伝える	○道案内を聞いて、聞いた内容を友達に正確に伝える。 ○相手に聞き返すなど確認しながら聞く。 ○道案内で用いる定型表現を理解する。	相手に聞き返すなどして内容を確認しながら聞いている。
	2	Challenge 1 英語で理科 Science Quiz				イ	理科の問題についての答えを根拠をもとに説明する	○英文を読んで答えと根拠を見つける。 ○根拠と意思箇所を線で引く。	根拠と意思箇所に線を引いている。
12	3	My Project 5 将来の夢を語ろう (英語のしくみ 3)				オ	自分の夢についてスピーチする	○自分の夢についてスピーチする。 ○速さ、間の取り方、強弱等思いが伝わるようにスピーチする。 ○スピーチの構成を理解する。	速さ、間の取り方、強弱等思いが伝わるようにスピーチしている。
	8	Program8 A Shelter for Pet Animals				ウ	読んだことと、自分の経験を基に自分の考えを書く	○読んだことと経験を基に自分の考えを書く。 ○引用する内容を線で引いたり、自分の経験をマッピングしたりする。	引用する内容を線で引いたり、自分の経験をマッピングしたりしている。
	7	Program9 A Priest in a Mask				ウ	物語を読んで、リテリングする	○物語を読んで、その内容をリテリングする。 ○読んだ内容を表などにまとめる。 ○比較表現を用いた文構造を理解する。	読んだ内容を表などにまとめている。
1	2	Challenge 2 英語で数学 Math Quiz				イ	数学の問題を解き、答えの根拠を説明する	○英文を読んで答えと根拠を見つける。 ○根拠と意思箇所を線で引く。 ○副詞の比較表現を用いた文構造を理解する。	根拠と意思箇所に線を引いている。
	2	Power Up Speaking 5 買い物③(シャツを買う)		イ			自分の欲しいサイズや色を伝えて買い物をする	○自分の欲しいサイズや色を伝える。 ○繋ぎ言葉を使って話を続ける。	繋ぎ言葉を使って話を続けている。
	7	Program10 So Many Countries, So Many Customs Power Up Writing 3 自分の考えをまとめる (英語のしくみ 4)				ウ	友だちにインタビューしたことをまとめて友だち紹介の文を書く	○インタビューをまとめて友達紹介文を書く。 ○インタビューの内容をマッピングでまとめる。 ○比較表現を用いた文構造を理解する。	インタビューの内容をマッピングでまとめている。
2	7	Program11 Yui- To Share Is to Live (英語のしくみ 4)				エ	印象的な場所や景色を紹介する文を書く	○場所や景色を紹介する文を書く。 ○辞書を使ってわからない語を調べる。 ○受け身を用いた文構造を理解する。	辞書を使ってわからない語を調べている。
	2	Power Up Listening 3 旅行ガイドの説明 (英語のしくみ 4)				オ	旅行ガイドの説明を聞いてメモを取り、友だちに伝える	○ガイドの説明を聞いて、聞き取った内容を友達に伝える。 ○メモを取りながら説明を聞く。	メモを取りながら積極的に聞いている。
	4	My Project 6 賛成意見や反対意見を言おう。		イ			あるテーマについてミニディベートをする	○ミニディベートをする。 ○繋ぎ言葉を使って何とか意見を伝える。	繋ぎ言葉を使って何とか意見を伝えている。
3	8	Program12 Her Dream Came True				エ	マックを次の人に送る手紙を書くために読み取る	○英文の内容を読み取り、その内容にあった続きを考え書く。 ○わからない語があっても文脈を考えて読み続ける。	わからない語があっても文脈を考えて読み続けている。
10		定期テスト等	○		○	○	単元末のパフォーマンステスト等は、単元の時数に含まれる。		

開隆堂 Sunshine 2

単元の評価規準☆			言語材料	評価方法	関連事項 ・小学校、高校との関連 ・既習事項との関連 ・各教科等との関連
外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解			
既習事項を使って友達に質問することができる。	友だちからの質問内容を理解し、適切に答えることができる。		既習事項	インタビューテスト	H1-L1/H2-L3
	レポートを読み理解したことをリテリングすることができる。	一般動詞、be動詞の過去形、過去進行形を用いた文構造を理解している。	①一般動詞の過去形(不規則動詞) ②Be動詞の過去形(was, were) ③過去進行形	リテリングテスト	
ゴールデンウィークにしたことについて日記を書くことができる。			既習事項	ライティングテスト	H1-L4 H1-L8
旅行計画のプレゼンテーションができる。		未来の表現を理解している。	未来表現 ①I am going to ~. ②I will ~.	プレゼンテーション	H1-L3, L5, L8 /H2-L7
	電話での話を理解し、その内容を予定表に書き込むことができる。		既習事項	リスニングテスト	
イベント募集要項の注意事項を書くことができる。		助動詞 (must, have to)、接続詞 (that) を用いた文の構造を理解している。	①助動詞 must have to ~ ②接続詞 that I think (that) ~.	ライティングテスト	H1-L7/H2-L5
インタビューになってインタビューすることができる。			既習事項	インタビューテスト	
小学生とインタビューし合える。				活動の観察	
	物語を読んで理解した内容をリテリングすることができる。		既習事項	リーディングテスト	
自分の町についての紹介文を書くことができる。	There is/are、接続詞ifを用いた文の構造を理解している。		①There is[are] ~ ②接続詞if	ライティングテスト	
自分で選んだものを注文することができる。	買い物で用いる定型表現を理解している。		買い物で用いる定型表現	ダイアログテスト	H2-L3
職場体験のレポートを書くことができる。		不定詞の意味と用法を理解している。	不定詞 ①名詞的用法 ②副詞的用法 ③形容詞的用法	ライティングテスト	高1 Lesson1
	ALTへのインタビューし、その聞き取った内容を基にALTのプロフィールを書くことができる。		既習事項	リスニングテスト	
メールを読みその内容に対して返事を書くことができる。			メールの書き方	ライティングテスト	
	セパンさんの意見や活動を読み取り、自分の意見をもつことができる。	動名詞を用いた文構造とSVC(形容詞)の文構造を理解している。	①動名詞 ②look+形容詞 ③give+人+もの	リーディングテスト	高1 Lesson1
	道案内を聞いて、聞いた内容を友達に正確に伝えることができる。	道案内で用いる定型表現を理解している。	道案内で用いる定型表現	リスニングテスト リテリングテスト	
	英文を読んで答えと根拠を見つけることができる。		既習事項	リーディングテスト	
自分の夢についてスピーチすることができる。	スピーチの構成を理解している。		スピーチの構成	スピーチテスト	高知県学力定着状況調査の出題範囲
読んだことと経験を基に自分の考えを書くことができる。			既習事項	ライティングテスト	
	物語を読んでその内容をリテリングすることができる。	比較表現を用いた文構造を理解している。	形容詞の比較表現 ①比較級 ②最上級 ③原級	リテリングテスト	
	英文を読んで答えと根拠を見つけることができる。	副詞の比較表現を用いた文構造を理解している。	副詞の比較表現	リーディングテスト	
自分の欲しいサイズや色を伝えることができる。			既習事項	ダイアログテスト	
インタビューをまとめて友達紹介文を書くことができる。		比較表現を用いた文構造を理解している。	形容詞、副詞の比較表現 ①more, mostを伴う形容詞 ②better, bestの用法	ライティングテスト	
場所や景色を紹介する文を書くことができる。		受け身を用いた文構造を理解している。	受け身【be+過去分詞+(by)~】	ライティングテスト	高1 Lesson2
	ガイドの説明を聞いて、聞き取った内容を友達に伝えることができる。		既習事項	リテリングテスト	
ミニディベートをすることができる。			既習事項	ディベート	
	英文の内容を読み取り、その内容にあった続きを考え書くことができる。		既習事項	リーディングテスト	

【例】 中学校 第3学年 外国語科(英語)年間指導計画(140時間)

月 ☆	時 数 ☆	単元名☆	指導事項				中心となる 言語活動	単元の目標☆	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度
			L	S	R	W			
4	3	Classroom English 英語を使ってみよう 辞書を使いこなそう	エ	イ			Classroom English and Daily Conversation ○既習事項を使って友だちに質問する。 ○友だちからの質問を正確に理解し答える。 ○相手意識をもって聞いたり話したりする。	相手意識をもって聞いたり話したりしている。	
	8	Program1 How Does Your School Chime Sound? (英語のしくみ 1)				エ	2枚の絵を見て、何が起ったかを説明する ○2枚の絵を見て何が起ったかを説明する文を書く。 ○わからない語句を辞書で調べ。 ○現在完了を用いた文構造を理解する。	わからない語句を辞書で調べている。	
5	2	Power Up Speaking 1 旅行(機内)	エ				機内でのいろいろな状況を想定してスキットをする ○飛行機内のいろいろな状況を想定してスキットをする。 ○飛行機内で用いる定型表現を理解する。		
	8	Program2 Volcanoes in Japan (英語のしくみ 1)				エ	手紙を読み自分の経験を踏まえて返事を書く ○手紙の内容を正確に読み取り、自分の経験を踏まえ手紙の返事を書く。 ○表などにまとめながら積極的に読んでいる。 ○現在完了を用いた文構造を理解する。	表などにまとめながら積極的に読んでいる。	
6	2	Power Up Speaking 2 食事(レストラン)		イ			レストランで自分の希望のメニューを注文する ○レストランで自分の希望のメニューを注文する。 ○発音に気をつけて注文する。 ○料理の注文をするときの定型表現を理解する。	発音に気をつけて注文している。	
	7	Program3 The 5 Rs to Save the Earth (英語のしくみ 2)				オ	武史とリサの意見を理解し5Rsのうちの1つについて自分の考えを書く ○意見文を読み取り、その内容を基に5Rsの1つについて自分の考えを書く。 ○大切な部分に下線を引いて読む。 ○It ~for ~toの文構造を理解する。	大切な部分に下線を引いて読んでいる。	
6	2	Challenge 1 英語で料理				イ	自分の得意料理についてのレシピを書く ○自分の得意料理についてのレシピを書く。 ○本文の参考になる部分に線を引く。 ○調理の仕方を表す定型表現を理解する。	本文の参考になる部分に線を引いている。	
	2	Power Up Speaking3 道案内②(電車の乗りかえ)	エ				ある場所への行き方を聞いてメモを取り、他の人に伝える。 ○ある場所への行き方を聞き取り他の人に正確に伝える。 ○メモを取りながら積極的に聞く。 ○目的地までの行き方を尋ねる表現を理解する。	メモを取りながら積極的に聞いている。	
7	3	My Project 7 有名人にインタビューしよう (Power Up Listening1 音楽家へのインタビュー) (英語のしくみ 2)				ウ	有名人のインタビュー記事を読んで、ファンレターを書く ○有名人のインタビュー記事を読んで、ファンレターを書く。 ○インタビューで印象に残ったところに線を引く、ファンレターに引用する。	インタビューで印象に残ったところに線を引く、ファンレターに引用している。	
	7	Program 4 Faithful Elephants				ウ	モノログで書かれた物語を、セリフ付きの物語に書き換える ○モノログで書かれた物語の内容を理解し、セリフ付きの物語に書き換える。 ○登場人物等の感情や気持ちが現れている箇所に線を引く。	登場人物等の感情や気持ちが現れている箇所に線を引いている。	
9	2	Power Up Writing 1 ウェブストアへのメール				ウ	メールを読んで自分の要求を伝える返事を書く ○メールを読んで自分の要求を伝える返事を書く。 ○自分の書きたいことをメモする。	自分の書きたいことをメモしている。	
	7	Program5 Sushi-Go-Around in the World				ウ	日本食についての英文を読み、自分のお薦めの日本食をALTに伝える ○日本食についての英文を読み、お薦めの日本食をALTに伝える。 ○本文中で使えそうな表現に下線を引く。 ○SVOC、間接疑問文の文構造を理解する。	本文中で使えそうな表現に下線を引いている。	
10	2	Power Up Speaking 4 電話②(伝言を受ける)				ウ	電話での伝言をメモを取りながら聞き、伝える ○電話での伝言を聞き取り、その内容を伝える。 ○メモを取りながら積極的に聞く。	メモを取りながら積極的に聞いている。	
	7	Program6 Let's Talk about Things Japanese (Challenge 2 英語で茶道) (英語のしくみ 3)				オ	日本文化を紹介する ○日本文化について紹介文を書く。 ○辞書を使って積極的に書く。 ○現在分詞や過去分詞の後置修飾を用いた文の構造を理解する。	辞書を使って積極的に書いている。	
11	3	My Project 8 伝統文化を説明しよう				オ	高知県の伝統文化を紹介する ○高知県の伝統文化を紹介する。 ○写真や絵などを使って分かりやすく紹介する。	写真や絵などを使って分かりやすく紹介している。	
	7	Program7 What Is the Most Important Thing to You? (英語のしくみ 4)				オ	自分にとって一番大切なものについてスピーチする ○一番大切なものについてスピーチする。 ○言いたいことをマッピングでまとめる。 ○関係代名詞を用いた文構造を理解する。	言いたいことをマッピングでまとめている。	
12	2	Power Up Speaking 5 買い物④(靴を買う)				イ	靴や衣服などの買い物の場面をスキットで表現する ○店の客になりきってスキットする。 ○相手に伝わりやすい声量で話す。	相手に伝わりやすい声量で話している。	
	7	Program8 Clean Energy Sources (英語のしくみ 4)				イ	オリジナル英英辞書を作る ○人や物を説明する英文を書く。 ○既習表現を使うなど、工夫して説明する。 ○関係代名詞など後置修飾を用いた文構造を理解する。	既習表現を使うなど、工夫して説明している。	
12	3	Power Up Writing 2 ホームページで学校紹介				オ	「学校紹介」の文を書く ○「学校紹介」の文を書く。 ○マッピングを活用して書きたいことをまとめる。	マッピングを活用して書きたいことをまとめている。	
	3	小学校6年生との交流授業 (3/3)				イ	「学校紹介」のプレゼンテーションをする ○「学校紹介」のプレゼンテーションをする。 ○小学生に伝わるように声量や発音に気を付けている。	小学生に伝わるように声量や発音に気を付けている。	
1	3	Power Up Listening2 アナウンス				オ	駅、空港などでのアナウンスを聞いて友達に伝える ○アナウンスを聞いてその内容を正確に友達に伝える。 ○メモなどを取って積極的に聞く。	メモなどをもって積極的に聞いている。	
	9	Program9 Mother Teresa (Power Up Listening 3)				オ	伝記的な読み物を展開理解しながら読み、同じような構成で有名人の紹介文を書く ○読み物の構成を考えながら内容を読み取り、それと同じ構成の文を書く。 ○わからない語句があっても文脈などから考えて読み続ける。	わからない語句があっても文脈などから考えて読み続けている。	
2	9	My Project 9 自己PRしよう				オ	3年間の思い出や将来の夢などをスピーチするために原稿を書く ○「3年間の思い出」のスピーチ原稿を書く。 ○表やマッピングに考えをまとめる。	表やマッピングなどを使って考えをまとめている。	
	10	Review Reading Extensive Reading				オ	自分の考えをもちながら物語を読み取り、感想を言う ○自分の考えをもちながら物語を読み取り、感想を言う。 ○わからない語句があっても文脈などから考えて読み続ける。	わからない語句があっても文脈などから考えて読み続けている。	
13	定期テスト等					○	○	○	単元末のパフォーマンステスト等は、単元の時数に含まれる。

開隆堂 Sunshine 3

単元の評価規準☆			言語材料	評価方法	関連事項 ・小学校、高校との関連 ・既習事項との関連 ・各教科等との関連
外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解			
既習事項を使って友達に質問することができる。	友だちからの質問を正確に理解し答えることができる。		既習事項	インタビューテスト	
2枚の絵を見て何が起ったかを説明することができる。		現在完了を用いた文構造を理解している。	受け身(過去) 現在完了(完了/肯定) 現在完了(完了/疑問・否定)	ライティングテスト	高1 Lesson2
飛行機内のいろいろな状況を想定してスキットをすることができる。		飛行機内で用いる定型表現を理解している。	飛行機内で用いる定型表現	スキットテスト	H2-L.6
	手紙の内容を正確に読み取り、自分の経験を踏まえ、手紙の返事を書くことができる。	現在完了を用いた文構造を理解している。	現在完了(継続) 現在完了(経験) 現在完了(完了)	リーディングテスト	
レストランで自分の希望のメニューを注文することができる。		料理の注文をするときの定型表現を理解している。	料理の注文をするときの定型表現	ダイアログテスト	H1-L.9
	意見文を読み取り、その内容を基に5Rsの1つについて自分の考えを書くことができる。	It ~for ~toの文構造を理解している。	①It is~(for+人)to... ②know how to ③ask~to...	リーディングテスト	高1 Lesson1
自分の得意料理についてのレシピを書くことができる。		調理の仕方を表す定型表現を理解している。	食事の名称 調理の仕方を表す定型表現	ライティングテスト	
	ある場所への行き方を聞き取り他の人に正確に伝えることができる。	目的地までの行き方を尋ねる表現を理解している。	目的地までの行き方を尋ねる表現	リスニングテスト	H2-L.4
有名人のインタビュー記事を読んで、ファンレターを書くことができる。			既習事項	ライティングテスト	
	モノログで書かれた物語の内容を理解し、セリフ付きの物語に書き換えることができる。		既習事項	スキットテスト	
メールを読んで自分の要求を伝える返事を書くことができる。			既習事項	ライティングテスト	
日本食についての英文を読み、お薦めの日本食をALTに伝えることができる。		SVOC、間接疑問文の文構造を理解している。	SVOC、間接疑問文	スピーキングテスト	高1 Lesson5
	電話での伝言を聞き取り、その内容を伝えることができる。		既習事項	リスニングテスト	
日本文化についての紹介文を書くことができる。		現在分詞や過去分詞の後置修飾を用いた文の構造を理解している。	①現在分詞の後置修飾 ②過去分詞の後置修飾	ライティングテスト	高1 Lesson 2
高知県の伝統文化を紹介することができる。			既習事項	スピーキングテスト	
一番大切なものについてスピーチできる。		関係代名詞を用いた文構造を理解している。	関係代名詞(主格)	スピーチ	高1 Lesson3
店の客になりきってスキットができる。			既習事項	スキットテスト	
人や物を説明する英文を書くことができる。		関係代名詞など後置修飾を用いた文構造を理解している。	③関係代名詞(目的格)	ライティングテスト	高1 Lesson 3
「学校紹介」の文を書くことができる。			既習事項	ライティングテスト	
「学校紹介」のプレゼンテーションができる。				活動観察	
	アナウンスを聞いてその内容を正確に友達に伝えることができる。		既習事項	リテリングテスト	
	読み物の構成を考えながら内容を読み取り、それと同じ構成の文を書くことができる。		既習事項	リーディングテスト	
「3年間の思い出」のスピーチ原稿を書くことができる。			既習事項	ライティングテスト	
	自分の考えをもちながら物語を読み取り、感想を言うことができる。		既習事項	リーディングテスト	

【例】 高等学校 第1学年 外国語科(英語)年間指導計画(105時間)

月☆	時数☆	単元名☆	指導事項				中心となる言語活動	単元の目標☆	コミュニケーションへの関心・意欲・態度
			L	S	R	W			
4	7	【スタートアップ】 中学校の総復習(つなぎ教材) コミュニケーション活動	○	○	○	○	中学校で学んだことを活かしたインタラクティブな活動を行う。 (例) コミュニケーションストラテジーを学んだ上での自己紹介活動	○間違ふことを恐れず、積極的に英語で交流する。 ○コミュニケーションの基本的なストラテジーを理解する。 ○中学校段階までの既習の知識を活用し自分の意見を書く。 ○中学校段階までの既習事項を活用し英文を的確に読み取る。	間違ふことを恐れず、積極的に英語で交流している。
5	6	Lesson 1 Samurai and English		○			英文を読み、相手に分かりやすく自分の意見を述べる。	○相手に自分の意見や考えが分かるように話す。 ○聞き手に分かりやすく自分の意見を述べる。 ○不定詞に関する知識を身に付ける。	相手に自分の意見や考えが分かるように話している。
	6	Lesson 2 Christian the Lion			○		英文を読んで、経緯や概要を捉える。	○必要に応じて辞書等を活用して読む。 ○出来事の経緯を理解しながら、全体の概要を捉える。 ○現在完了、受動態に関する知識を身に付ける。	必要に応じて辞書等を活用して読む。
	1	Reading Skill 1				○	主語と述語動詞、センスグループなどの文構造を理解し、英文を速く読む。	○分からない語があっても、推測するなどして読み続ける。 ○主語や述語動詞、センスグループ等を押さえながら、英文の概要を捉える。 ○主語と述語動詞、センスグループなどの文構造を理解する。	分からない語があっても、推測するなどして読み続けている。
6	7	Lesson 3 How Asians and Westerners Think Differently		○		○	①日本人とアメリカ人に向けた2種類の広告を作成する。 ②2種類の広告の違いについて口頭で説明する。	○内容が伝わるように分かりやすく書いたり書き直したりする。 ○相手に伝わるように工夫して説明する。 ○日本人とアメリカ人に向けた2種類の広告を作成する。 ○2種類の広告の違いを説明する。 ○関係代名詞に関する知識を身に付ける。	①内容が伝わるように分かりやすく書いたり書き直したりしている。 ②相手に伝わるように既知の語句や表現を用いるなどして説明している。
	7	Lesson 4 Twice Bombed, Twice Survived	○			○	演説を聞いてその内容を理解し、平和について自分の意見を書く。	○演説を聞いて、自分の意見を自分の言葉で書く。 ○演説の内容を聞いて、その概要を捉える。 ○演説を聞いて、自分の意見を表現する。 ○助動詞+受動態、過去完了形に関する知識を身に付ける。	演説を聞いて、自分の意見を自分の言葉で書いている。
7	1	Reading Skill 2			○		意味のまとまりに注意しながら読む(フレーズ・リーディング)。	○意味のまとまりに注意しながら、英文を読み続ける。 ○意味のまとまりに注意しながら、英文を理解する。 ○フレーズリーディングを理解する。	意味のまとまりに注意しながら、英文を読み続けている。
	5	Further Reading Lupin Steals Japan?		○	○		比較的長い英文を読み、その概要や要点を捉え、リテリングする。	○うまく言えないことがあっても、積極的にリテリングする。 ○相手に分かりやすくリテリングする。 ○比較的長い英文を読み、その概要や要点を捉える。	うまく言えないことがあっても、積極的にリテリングしている。
	1	Listening Skill 1	○				英語の個々の母音や子音を聞き取る。	○単語の発音を的確に聞き取る。 ○単語の発音の音声的な特徴を理解する。	
9	7	Lesson 5 Bopsy		○		○	スピーチ原稿を書く。発表する。	○間違ふことを恐れず、積極的に自分の夢について話す。 ○自分の夢についてスピーチ原稿を書く。 ○自分の夢を発表する。 ○スピーチ原稿の構成や発表の仕方に関して理解する。	間違ふことを恐れず、積極的に自分の夢について話している。
	8	Lesson 6 Maria and the Stars of Nazca			○		重要な事実を整理しながら、英文を理解する。	○メモをとるなどして事実を整理しながら、英文を読み進める。 ○重要な事実を整理しながら、英文を読み取る。 ○関係代名詞の非制限用法に関する知識を身に付ける。	メモをとるなどして事実を整理しながら、英文を読み進めている。

啓林館 ELEMENT English Communication1

単元の評価規準☆			言語材料	評価方法	関連事項		
外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解			New Horizon	Sun Shine	Total
既習の知識を活用して、自分の意見を書くことができる。	既習の知識を活用して、文的に読み取ることができる。	コミュニケーションの基本的なストラテジーを理解している。		観察 ワークシート			
今後どのように英語を学んでいきたいかについて聞き手に分かりやすく意見を述べるができる。		不定詞に関する知識を身に付けている。	不定詞 動名詞	観察 ワークシート	【不定詞】 2年U3 2年U3 3年U4 【動名詞】 2年U6	【不定詞】 2年P6 3年P3 【動名詞】 2年P7	【不定詞】 2年L5 3年L3 【動名詞】 2年L6
	経緯を理解しながら、全体の概要を捉えることができる。	現在完了、受動態に関する知識を身に付けている。	現在完了 受動態	ワークシート 定期テスト	3年U1 3年U2 3年U3 【分詞】 3年U5	2年P11 3年P1 【分詞】 3年P6	3年L1 3年L2 【分詞】 3年L4
	主語や述語動詞、センスグループ等を押さえながら、英文の概要を捉えることができる。	主語と述語動詞、センスグループなどの文構造を理解している。		ワークシート 定期テスト			
①適切な時制、表現などの知識を活用して、2種類の広告を適切に書くことができる。 ②相手に分かりやすく説明することができる。		関係代名詞に関する知識を身に付けている。	関係代名詞	観察 ワークシート プレゼンテーション	3年U6	3年P7 3年P8	3年L5 3年L6
演説を聞いて、自分の意見を表現することができる。	演説を聞いて、その概要を捉えることができる。	助動詞+受動態に関する知識を身に付けている。	助動詞+受動態 過去完了形	ワークシート 定期テスト			
	英文を読んで、その概要を捉えることができる。	フレーズリーディングを理解している。	フレーズリーディング	ワークシート			
相手に分かりやすくリテリングすることができる。	比較的長い英文を読み、その概要や要点を捉えることができる。			観察 ワークシート 定期テスト			
	単語の発音を的確に聞き取る。	単語の発音の音声的な特徴を理解している。		ワークシート			
①自分の夢について、適切に書くことができる。 ②相手に伝わるように発表することができる。		スピーチ原稿の構成や発表の仕方に関して理解している。	使役動詞 関係代名詞what	スピーチ原稿 観察(スピーチ)	3年U1	3年P5	3年L2
	重要な事実を整理しながら、英文を読み取る。	関係代名詞の非制限用法に関する知識を身に付けている。	関係代名詞の非制限用法	ワークシート 定期テスト			

月 ☆	時 数 ☆	単元名 ☆	指導事項				中心となる 言語活動	単元の目標 ☆	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度
			L	S	R	W			
10	1	Reading Skill 3			○		パラグラフでのトピックセンテンスの役割について理解する。 ○英文を読んで、トピックセンテンスを掴む、全体の要旨を捉える。 ○段落におけるトピックセンテンスの働きについての知識を身に付ける。		
	9	Lesson 7 Biomimetics	○	○			情報や考えを交換し、お互いに質問したり、質問に答えたりする。 ○身の回りの生活に役立っている動植物について情報や考えを交換し、お互いに質問したり、質問に答えたりする。 ○話し合いや意見の交換を円滑に行うために必要な表現や方法に関する知識を身に付ける。	間違ふことを恐れず、積極的に意見を交換している。	
11	9	Lesson 8 The Boy Who Harnessed the Wind			○	○	英文を読んで、読み手に配慮しながら、自分の意見を簡潔に書く。 ○自分が伝えたいことについて、自分の意見を理由を付けて書く。 ○英文の概要を捉える。 ○仮定法過去、仮定法過去完了に関する知識を身に付ける。	相手に分かりやすように、自分の意見を積極的に書いている。	
	1	Listening Skill 2	○				弱く発音されたり、実際には発音されなかったりする音声変化を理解する。 ○音声的な特徴を的確に聞き取る。 ○音声的な特徴を理解する。		
12	5	Further Reading Once upon a Home upon a Home			○	○	登場人物の心情を捉えながら物語を読み、英語で感想を書く。 ○理解できない語があっても、推測するなどして、読み続ける。 ○物語の感想を簡潔に書く ○物語を読んで、登場人物の言動の理由等を理由を捉える。 ○文と文、段落と段落のつながりを示す語やフレーズを理解する。	理解できない語があっても、推測するなどして、読み続けている。	
1	9	Lesson9 Gulliver's Travels		○	○		登場人物の体験に即して物語の概要を捉え、リテリングをする。 ○うまく言えないことがあっても、積極的にリテリングする。 ○物語を自分の言葉で相手に分かりやすく伝える。 ○登場人物の体験に即して物語を読み、その概要を捉える。	うまく言えないことがあっても、積極的にリテリングしている。	
	1	Listening Skills 3	○				子音の後に母音がつながる音変化について理解し、判別する。 ○連語などの音声的な特徴を理解し、的確に聞き取る。 ○連語などの音声的な特徴を理解する。		
2	9	Lesson 10 Playing the Enemy		○	○		歴史的問題に関する英文の概要を捉え、それについて自分の意見を言う。 ○うまく言えないことがあっても、既知の語句や表現を用いて自分の考えを表現する。 ○歴史的な英文を読み、自分の考えを話す。 ○歴史的経緯を理解しながら、全体の概要を捉える。 ○過去完了進行形、分詞構文に関する知識を身に付ける。	うまく言えないことがあっても、既知の語句や表現を用いて自分の考えを表現している。	
3	5	Further Reading 3 Artistic Exchange between Japan and the West			○		まとまりのある英文を読んで、その概要を捉え要約する。 ○理解できない語があっても、推測するなどして、読み続ける。 ○まとまりのある英文のキーセンテンスを見つけ、概要を捉える。 ○文と文、段落と段落のつながりを示す語やフレーズを理解する。	理解できない語があっても、推測するなどして、読み続けている。	

単元の評価規準 ☆			言語材料	評価方法	関連事項		
外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解			New Horizon	Sun Shine	Total
	英文を読んで、トピックセンテンスをつかみ、全体の要旨を捉えることができる。	段落におけるトピックセンテンスの働きについての知識を身に付けている。		ワークシート			
身の回りの生活に役立っている動植物について情報や考えを交換し、お互いに質問したり、質問に答えたりすることができる。		話し合いや意見の交換を円滑に行うために必要な表現や方法についての知識を身に付けている。	現在完了進行形	観察 ワークシート 定期テスト			
自分が伝えたいことについて、自分の意見を理由を付けて書くことができる。	英文の概要を捉えることができる。	仮定法過去、仮定法過去完了に関する知識を身に付けている。	仮定法過去 仮定法過去完了	ワークシート 定期テスト	1年U3	1年P3	1年L1
	音声的な特徴を的確に聞き取ることができる。	音声的な特徴を理解している。		定期テスト			
物語の感想を簡潔に書くことができる。	物語を読んで、登場人物の言動の理由等を捉えることができる。	文と文、段落と段落のつながりを示す語やフレーズを理解している。		ワークシート			
物語を自分の言葉で相手に分かりやすく伝えることができる。	物語を読んで、登場人物の体験に即して概要を捉えることができる。	seem toに関する知識を身に付けている。	seem to do	観察 プレゼンテーション			
	連語などの音声的な特徴を理解し、的確に聞き取ることができる。	連語などの音声的な特徴を理解している。		インタビューテスト			
歴史的な英文を読み、自分の考えを話すことができる。	歴史的経緯を理解しながら、全体の概要を捉えることができる。	過去完了進行形、分詞構文に関する知識を身に付けている。	過去完了進行形 分詞構文 進行形の受動態	観察 ワークシート 定期テスト			
	まとまりのある英文のキーセンテンスを見つけ、概要をつかむことができる。	文と文、段落と段落のつながりを示す語やフレーズを理解している。		ワークシート			

【例】 高等学校 第2学年 外国語科(英語)年間指導計画(140時間)

月☆	時数☆	単元名☆	指導事項				中心となる言語活動	単元の目標☆	コミュニケーションへの関心・意欲・態度
			L	S	R	W			
4	6	【スタートアップ】 speaking活動 Reading Skills 1～5		○	○		○既習の知識を活用しペアで即興スピーチを行う。 ○文構成やパラグラフについての知識を活用し英文の概要を捉える。	○既習の知識を活用しペアで即興スピーチを行う。 ○英文を読みその概要を捉える。 ○文構成やパラグラフに関する知識を身に付ける。	既習の知識を活用しペアで積極的に即興スピーチを行っている。
	6	Lesson 1 Beyond Words		○	○		英文を読み、その概要について捉え、そのテーマについて自分の言葉で論理的に説明する。	○うまく言えないことがあっても、英文の概要を自分の言葉で伝える。 ○自分の意見を、聞き手に分かりやすいように論理的に英文の概要を説明する。 ○英文を読み、その概要を捉える。 ○プレゼンテーションの仕方について理解する。 ○付帯状況に関する知識を身に付ける。	うまく言えないことがあっても、英文の概要を自分の言葉で伝えている。
5	6	Lesson 2 Stay Hungry, Stay Foolish							
	6	Communication Strategy 1	○	○		○スピーチを聞いて、事実や意見を捉え、自分の意見を述べる。 ○興味のある人物についてのスピーチを作成し、発表する。	○聞き取れない単語があったとしても、内容を推測しながら聞き続ける。 ○表現を工夫しながら、相手に内容を伝える。 ○文と文とのつながりを意識しながら論理的に文を書く。 ○相手に内容が伝わるように発表する。 ○効果的なスピーチの表現を身に付ける。 ○正しい語順や語法を用いて文を構成する知識を身に付けている。 ○文と文とのつながりを示す語やフレーズを理解している。	①聞き取れない単語があったとしても、内容を推測しながら聞き続けている。 ②表現を工夫しながら、相手に内容を伝えている。	
6	8	Lesson 3 Unwanted Bicycles in Need		○	○		社会問題について、自分の意見を理由を付けて述べる。	○社会問題について、既知の語句などを用いて、自分の考えを積極的に話す。 ○社会問題について、相手に分かりやすいように、根拠を示しながら、自分の考えを話す。 ○社会問題に関する英文の論点を捉える。 ○動名詞の意味上主語を理解している。	社会問題について、既知の語句などを用いて、自分の考えを積極的に話している。
	8	Lesson 4 Life in a Jar			○		英文を読んで、文中に未知の語句があったとしても、前後関係や文脈を考えて、その概要や要点を捉える。	○理解できない語句があっても、推測しながら読み続ける。 ○前後関係などから推測して、概要や要点を捉える。 ○完了形の受動態やさまざまな分詞構文に関する知識を身に付ける。	理解できない語句があっても、推測しながら読み続けている。
7	1	Listening Skill 5	○				外来語と英語の発音の違いを判別し、聞き取る。	○外来語と英語の発音の違いについて理解する。	
	6	Further Reading 1 Two Brainteasers			○		まとまりのある英文を読んで、その概要を捉える。	○理解できない語があっても、推測するなどして、読み続ける。 ○物語を読んで、その概要を捉える。 ○文と文、段落と段落のつながりを示す語やフレーズを理解する。	理解できない語があっても、推測するなどして、読み続けている。
	1	Listening Skill 6	○				小数、分数、日時、年号、電話番号、金額など日常に関わる数字を聞き取る。	○英語で読まれる数字について、的確に聞き取る。 ○日常生活に関わる数字を英語で表す方法について理解する。	
9	9	Lesson 5 The Da Vinci Codex			○		内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読み、情報をまとめる。	○理解できない語があっても、推測するなどして読み続ける。 ○英文を読んで、その情報を表にまとめる。 ○関係副詞の非限定用法と独立分詞構文に関する知識を身に付ける。	理解できない語があっても推測するなどして、読み続けている。
	9	Lesson 6 The Solar System's Biggest Junkyard		○	○		宇宙ゴミ問題について意見を交換し、解決方法についてまとめる。	○互いに協力しながら質問したり意見を交換したりする。 ○宇宙ゴミ問題について自分の意見を、相手の意見を考慮しながら表現する。 ○宇宙ゴミ問題の英文を読み、平易なデータを読み取り、その英文の概要を捉える。 ○ディスカッションの仕方について理解する。 ○二重否定、部分否定、関係副詞のthatに関する知識を身に付ける。	互いに協力しながら質問したり意見を交換したりしている。

啓林館 ELEMENT English Communication 2

単元の評価規準☆			言語材料	評価方法
外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解		
	英文を読み、その概要を捉えることができる。	文構成やパラグラフに関する知識を身に付けている。		観察 ワークシート
自分の意見を、聞き手に分かりやすいように論理的に英文の概要を説明することができる。	英文を読み、その概要を捉えることができる。	①プレゼンテーションの仕方について理解している。 ②付帯状況に関する知識を身に付けている。	付帯状況	観察 ワークシート プレゼンテーション 定期テスト
①文と文とのつながりを意識しながら論理的に文を書くことができる。 ②相手に内容が伝わるように発表することができる。		①効果的なスピーチ表現を身に付けている。 ②正しい語順や語法を用いて文を構成する知識を身に付けている。 ③文と文とのつながりを示す語やフレーズを理解している。		スピーチ原稿 観察(スピーチ) 定期テスト
社会問題について、相手に分かりやすいように、根拠を示しながら、自分の考えを話すことができる。	社会問題に関する英文を読み、その論点を捉えることができる。	動名詞の意味上主語を理解している。	動名詞の意味上主語	ワークシート リスニングテスト 定期テスト
	前後関係などから推測して、概要や要点を捉えることができる。	完了形の受動態やさまざまな分詞構文に関する知識を身に付けている。	完了形の受動態 さまざまな分詞構文	ワークシート 定期テスト
		外来語と英語の発音の違いについて理解している。		ワークシート
	物語を読んで、その概要を捉えることができる。	文と文、段落と段落のつながりを示す語やフレーズを理解している。		ワークシート
	英語で読まれる数字について、的確に聞き取ることができる。	日常生活に関わる数字を英語で表す方法について理解している。		観察 ワークシート
	英文を読んで、その情報を表にまとめることができる。	関係副詞の非限定用法と独立分詞構文に関する知識を身に付けている。	関係副詞の非限定用法 独立分詞構文	ワークシート 定期テスト
宇宙ゴミ問題について自分の意見を、相手の意見を考慮しながら表現することができる。	宇宙ゴミ問題の英文を読み、平易なデータを読み取り、その英文の概要を捉えることができる。	①ディスカッションの仕方について理解している。 ②二重否定、部分否定、関係副詞のthatに関する知識を身に付けている。	二重否定 部分否定 関係副詞のthat	観察 ディスカッション(グループ) 定期テスト

月☆	時数☆	単元名☆	指導事項				中心となる言語活動	単元の目標☆	コミュニケーションへの関心・意欲・態度
			L	S	R	W			
10	10	Lesson 7 iPS Cells			○	○	科学的 (iPS細胞) 内容についての英文を読み、その概要をまとめて表現する。	○必要に応じて辞書などを活用して読む。 ○読み手や目的に配慮しながら本文の概要を簡潔に書く。 ○英文の流れを捉えながら読む。 ○不定詞の意味上の主語、ifを省略した仮定法、同格のthatに関する知識を身に付ける。	必要に応じて辞書などを活用して読んでいる。
	10	Lesson 8 Selective Breeding				○	時事問題について、積極的に相手の反論を聞き、自分の意見を伝えている。 ○論題にそって、論理的に自分の意見を書く。 ○相手の反論を聞いて、自分の意見を論理的に説明する。 ○読んだ内容についての賛否が述べることができるように批判的に読む。 ○相手を説得する表現・知識を身に付ける。	時事問題について、積極的に相手の反論を聞き、自分の意見を伝えている。	
	7	Communication Strategy 2	○	○	○	○	時事問題について立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するための意見を述べ合う。(ディベート)	○相手の反論を聞いて、自分の意見を論理的に説明する。 ○読んだ内容についての賛否が述べることができるように批判的に読む。 ○相手を説得する表現・知識を身に付ける。 ○仮定法の慣用表現、完了形の動名詞、強調構文に関する知識を身に付ける。	時事問題について、積極的に相手の反論を聞き、自分の意見を伝えている。
11	7	Further Reading 2 The Little Prince and the Fox				○	物語を読み、書き手が伝えたいことを捉え、感想を書く。	○理解できない語があっても、推測するなどして、読み続ける。 ○物語の感想を簡潔に書く。 ○物語を読んで、書き手が伝えたいことなどを的確に捉える。 ○文と文、段落と段落のつながりを示す語やフレーズを理解する。	理解できない語があっても、推測するなどして、読み続けている。
12	11	Lesson 9 Documentary Photography				○	英文を読み、複数の段落からなる要約文を書く。	○読み手に分かりやすい要約文になるように書いたり書き直したりする。 ○英文の概要を論理的に一貫性のある英文を書く。 ○英文を読んで、的確に概要を捉える。 ○無生物主語、倒置、whatを用いた強調に関する知識を身に付ける。	読み手に分かりやすい要約文になるように書いたり書き直したりしている。
1	1	Listening Skill 7	○				イントネーションによって意味の異なる英語を理解する。	○イントネーションの特徴を理解し、的確に英語を聞き取る。 ○イントネーションの違いで意味が変わることを理解する。	
2	11	Lesson 10 Water Crisis					時事問題について、積極的に相手の意見(反論)を聞き、自分の意見を伝える。	○時事問題について、積極的に相手を読み、自分の意見を伝えている。 ○論題にそって、論理的に自分の意見を書く。 ○相手の反論を聞いて、自分の意見を論理的に説明する。 ○読んだ内容についての賛否が述べることができるように批判的に読む。 ○相手の反論を的確に聞き取る。 ○相手を説得する表現・知識を身に付ける。 ○未来完了と複合関係詞に関する知識を身に付ける。	時事問題について、積極的に相手の反論を聞き、自分の意見を伝えている。
	7	Communication Strategy 3	○	○	○	○	時事問題について、積極的に相手の意見(反論)を聞き、自分の意見を伝える。	○相手の反論を聞いて、自分の意見を論理的に説明する。 ○読んだ内容についての賛否が述べることができるように批判的に読む。 ○相手の反論を的確に聞き取る。 ○相手を説得する表現・知識を身に付ける。 ○未来完了と複合関係詞に関する知識を身に付ける。	時事問題について、積極的に相手の反論を聞き、自分の意見を伝えている。
3	7	Further Reading 3 Pyramids				○	まとまりのある英文を読んで、その要旨を捉え、表にまとめる。	○理解できない語があっても、推測するなどして、読み続ける。 ○説明文の重要な部分をとらえながら全体の要旨を捉える。 ○文と文、段落と段落のつながりを示す語やフレーズを理解する。	理解できない語があっても、推測するなどして、読み続けている。
	1	Listening Skill 5	○				モノローグを聞いて、話の要点を正確に聞き取る。	○メモを取りながら、モノローグを聞いて、積極的に聞いている。 ○モノローグを聞き取ることができる。 ○要点をつかむ聞き取りの方略を理解する。	メモを取りながら、モノローグを聞いて、積極的に聞いている。
	8	Pleasure Reading A Retrieved Reformation				○	登場人物の心情に即しながら物語文を読み内容を理解する。	○理解できない語があっても、推測するなどして、読み続ける。 ○物語を読んで、登場人物の言動やその言動の理由等を捉える。 ○文と文、段落と段落のつながりを示す語やフレーズを理解する。	理解できない語があっても、推測するなどして、読み続けている。

単元の評価規準☆			言語材料	評価方法
外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解		
読み手や目的に配慮しながら簡潔に本文の概要を書くことができる。	英文の流れを捉えながら読むことができる。	不定詞の意味上の主語、ifを省略した仮定法、同格のthatに関する知識を身に付けている。	不定詞の意味上の主語ifを省略した仮定法同格のthat	ワークシート 定期テスト
①論題にそって、論理的に自分の意見を書くことができる。 ②相手の反論を聞いて、自分の意見を論理的に説明することができる。	読んだ内容についての賛否が述べることができるように批判的に読むことができる。	①相手を説得する表現・知識を身に付けている。 ②仮定法の慣用表現、完了形の動名詞、強調構文に関する知識を身に付けている。	仮定法の慣用表現完了形の動名詞強調構文	観察 ディベート
物語の感想を簡潔に書くことができる。	物語を読んで、書き手が伝えたいことなどを的確に捉えることができる。	文と文、段落と段落のつながりを示す語やフレーズを理解している。		ワークシート
英文の概要を論理的に一貫性のある英文を書くことができる。	英文を読んで、的確に概要を捉えることができる。	無生物主語、倒置、whatを用いた強調に関する知識を身に付けている。	無生物主語倒置whatを用いた強調	ワークシート 定期テスト
	イントネーションの特徴を理解し、的確に英語を聞き取ることができる。	イントネーションの違いで意味が変わることを理解している。		リスニングテスト
①論題にそって、論理的に自分の意見を書くことができる。 ②相手の反論を聞いて、自分の意見を論理的に説明することができる。	①読んだ内容についての賛否が述べることができるように批判的に読むことができる。 ②相手の反論を聞いて、自分の意見を論理的に聞き取ることができる。	①相手を説得する表現・知識を身に付けている。 ②仮定法の慣用表現、完了形の動名詞、強調構文に関する知識を身に付けている。	仮定法の慣用表現完了形の動名詞強調構文	観察 ワークシート 定期テスト ディベート
	説明文の重要な部分をつまみながら全体の要旨を捉えることができる。	文と文、段落と段落のつながりを示す語やフレーズを理解している。		ワークシート
	モノローグを聞き取ることができる。	要点を捉え、聞き取りの方略を理解している。		リスニングテスト
	物語を読んで、登場人物の言動やその言動の理由等を捉えることができる。	文と文、段落と段落のつながりを示す語やフレーズを理解している。		観察 ワークシート プレゼンテーション

高知県英語教育推進のためのガイドライン検討委員

長崎 政浩	高知工科大学 教授	◆委員長
西岡 祝子	香南市教育研究所 所長	◆副委員長
片田 一義	高知県立岡豊高等学校 校長	
松尾 寿一	南国市立日章小学校 校長	
竹崎 優子	高知市立旭中学校 教頭	
市原 佐知	中土佐町立久礼小学校 教諭	
川口 多喜美	高知県立高知西高等学校 教諭	

<監修>

直山 木綿子	文部科学省初等中等教育局国際教育課 教科調査官
--------	-------------------------

高知県英語教育推進のためのガイドライン ～これからの小中高を通じた英語教育の改善・充実のために～

平成27年3月

発行 高知県教育委員会

編集 高知県教育委員会事務局小中学校課

TEL (088) 821-4638

FAX (088) 821-4926

URL <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310301/>

